

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 恵泉会

- 目 次 -

① 恵泉会法人本部	1	～	8	ページ
② 障害者支援施設若草園	9	～	13	ページ
③ 障害者支援施設若生園	14	～	19	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	20	～	24	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	25	～	32	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	33	～	37	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	38	～	42	ページ
⑧ 就労継続支援B型さくらワークス	43	～	45	ページ
⑨ 多機能サポートセンターこじか	46	～	53	ページ
⑩ 南方保育所	54	～	57	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	58	～	61	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	62	～	65	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	66	～	72	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	73	～	77	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	78	～	81	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	82	～	85	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	86	～	90	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	91	～	95	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	96	～	100	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	101	～	106	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	107	～	111	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	112	～	116	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	117	～	119	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	120	～	124	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	125	～	128	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	129	～	132	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	133	～	136	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	137	～	138	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	139	～	142	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	143	～	146	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	147	～	150	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	151	～	154	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	155	～	157	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	158	～	160	ページ
【事故報告関係】				
㉟ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告	161			ページ

令和4年度 恵泉会法人本部 事業報告

【 概 要 】

1. 基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

2. 利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者には選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

- (1) 各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。
- (2) 各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、令和3年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。
- (3) 情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌(1回)を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット(財務諸表等電子開示システム)とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。
- (4) サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。
- (5) 松風園、東和、ゆりの郷において、新たなナースコールシステムを導入し、ベッドセンサーやマットセンサーとの連動、タブレットを用いた夜間見守り強化など、利用者サービスの向上につなげました。

3. 経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

- (1) 令和4年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。
- (2) 日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。
- (3) LPガス、灯油、重油、ガソリン等の燃料価格の高騰に伴い、宮城県の「障害福祉施設原油価格・物価高騰対策事業補助金」、「宮城県高齢者施設エネルギー価格高騰対策事業補助金」を申請し、補助金を財源として経費の負担軽減を図りました。
- (4) 令和3年度に引き続き、インターネット回線を用いたIP電話を複数の施設・事業所で導入し、各拠点間の通話を内線化することで、電話料の削減を図りました。

4. 職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ10回開催しました。

5. 職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

6. 地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

- 1) 講師等派遣事業の実施
- 2) 社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
※オレンジカフェ(認知症カフェ)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。

7. 恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和4年度は6名が研修を修了しました。

8. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化リスクが高いといわれている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等においては、感染者が発生すると重大な事態となるおそれがあります。

このため、恵泉会では、職員それぞれが新型コロナウイルス感染症について正しい理解を持ち、国や自治体からの通知・通達に基づき、適切な感染症対策を実施しました。

- (1) 感染の疑いについてより早期に把握できるよう、施設長・管理者が中心となり、利用者及び職員について毎日の検温を実施するなど、健康状態の把握に努めました。
- (2) 感染経路の遮断という観点から、業者との物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行いました。また、緊急やむを得ない場合を除き面会を制限する等の対応を行い、各施設において、パソコンやタブレットを用いたオンライン面会ができる環境を構築しました。
- (3) 利用者や職員が新型コロナウイルス感染症を発症した施設・事業所においては、「宮城県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金」、「宮城県障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業費補助金」を活用し、サービスを継続して提供するために必要となるかかり増し経費等の財源としました。

9. 恵泉会創立50周年記念事業の準備等

令和5年5月21日、恵泉会が法人創立50周年を迎えることから、令和5年度において記念式典や記念誌発行などの50周年記念事業を実施するため、恵泉会法人創立50周年事業検討会議を立ち上げ、会議を重ねて準備を進めました。

【行事・研修・会議・委員会等】

1. 行事

(1) 会務

年 月 日	内 容
R4.04.01	辞令交付式
R4.05.17	恵泉会体育館トイレ改修工事完成検査(恵泉会体育館)
R4.06.02	令和3年度決算に関する法人監事・監査法人打合せ(ウェブ会議)
R4.06.18	恵泉会介護職員初任者研修開講式(迫風園)受講者6名
R4.06.23	登米市法務局人権擁護委員との打合せ
R4.07.06	南風園真空ヒーター入替工事完成検査(南風園)
R4.07.07	就職ガイダンス(蔵ジাম)
R4.07.20	恵泉会創立50周年記念誌印刷業者選定に係るプレゼンテーション
R4.07.22	仙台育英学園高等学校東和蛸雪校舎開講記念式典(東和蛸雪校舎)
R4.07.29	辞令交付式
R4.08.24	令和4年度定年退職者再雇用説明会(対象9名)
R4.08.31	辞令交付式
R4.09.16	恵泉会永年勤続者表彰式 30年勤続表彰5名・20年勤続表彰11名
R4.09.30	辞令交付式
R4.10.30	恵泉会介護職員初任者研修修了式(迫風園)修了者6名
R4.10.31	辞令交付式
R4.11.25	光風園リフト式入浴装置納品検査(光風園)
R4.12.06	優良運転者等表彰伝達式(佐沼警察署)

R4.12.26	光風園給湯改修・地下タンク廃止工事完成検査(光風園)
R4.12.28	仕事納め 辞令交付式
R5.01.04	仕事始め
R5.01.31	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構による障害者雇用納付金等に関する訪問調査 パルめぐみ空調改修工事完成検査(パルめぐみ)
R5.02.15	辞令交付式
R5.02.17	辞令交付式
R5.02.27	辞令交付式
R5.03.06	令和5年4月1日付け採用内定者入職説明会(対象者8名)
R5.03.20	登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎) 登米市委託事業(支援ハウス)見積合わせ(登米市南方庁舎)
R5.03.23	登米市障害者相談支援事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)
R5.03.28	登米市子ども・子育て会議(登米市南方庁舎)
R5.03.31	辞令交付式

※恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 採用・登用関係

年 月 日	内 容
R4.08.31	令和5年4月1日付け職員採用一次試験(看護職員・保育士・介護職員・事務員)〈書類審査〉受験者13名
R4.09.12	令和5年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員・保育士・介護職員・事務員)〈筆記試験・人物審査〉受験者11名
R4.12.23	令和5年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員)〈書類審査〉受験者1名
R5.01.10	令和5年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R5.01.19	令和5年4月1日付け職員採用試験(介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R5.03.06	令和5年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R5.03.08	令和5年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R5.03.15	令和5年4月1日付け職員採用試験(介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 (講 演 者)	参 加 者
R4.04.22	人事考課者研修(新任研修)	理事長 常務理事 参事	対象職員5名
R4.08.03	新任職員研修	理事長 常務理事 統括施設長 施設長	対象職員15名
R4.09.08	経営・管理職研修 「財務会計・管理会計研修会」	あすの監査法人 公認会計士	対象職員16名
R4.09.26	第43回恵泉会職員研修大会 職員発表撮影会 ※職員発表はインターネット環境を活用し、 録画映像を各拠点に配信	新型コロナウイルス 感染症対策のため、 講演の部は中止	—
R4.04.22	人事考課者研修(現任研修)	常務理事 参事 経営企画メンバー	対象職員13名
R4.11.14	職員フォローアップ研修 (ウェブ研修)	理事長	対象職員31名
R4.11.14		統括施設長	
R4.12.08	経営・管理職研修 「財務会計・管理会計研修会」	あすの監査法人 公認会計士	対象職員14名
随時	ケアマネジャー試験対策講習会 全13回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ43名
随時	介護福祉士試験対策講習会 全16回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ40名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.06.07	宮城県社会福祉法人経営者協議会理事会	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R4.06.07	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	登米市	参事
R4.06.28	宮城県社会福祉法人経営者協議会定期総会	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R4.07.27	宮城県社会福祉法人経営者協議会理事会・都道府県経営協セミナー	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R4.11.24	ハラスメント防止研修会	福利厚生センターソウェルクラブ	ウェブ会議	副主任
R4.11.28～ R4.11.29	監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	ウェブ会議	監事2名
R4.12.08	福祉サービスの苦情解決に関する研修会(第三者委員対象)	宮城県社会福祉協議会	ウェブ会議	第三者委員2名

3. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 数	参 加 者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	10回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・法人本部

(2) 理事会

開 催 日	内 容
R4.04.18	第1回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第1号)について審議 報告事項 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R4.06.10	第2回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和3年度 恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議 監査報告 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 社会福祉法人恵泉会利用者預り金管理規程の一部改正について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 寄付金の報告について
R4.07.13	第3回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第2号)について審議 業績手当の支給について審議
R4.08.23	第4回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R4.09.14	第5回 (出席者:理事6名/6名 監事1名/2名) 決議事項 業績手当の支給について審議
R4.10.14	第6回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第3号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員育児休業等に関する規程の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員介護休業等に関する規程の全部改正について審議

R4.11.25	第7回 (出席者:理事6名/6名 監事1名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第4号)について審議 報告事項 中間監査の報告について 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R4.12.13	第8回 (出席者:理事5名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第5号)について審議 業績手当の支給について審議 報告事項 寄付金の報告について
R5.02.22	第9回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R5.03.08	第10回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和5年度 恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議 恵泉会各施設・事業所給食業務委託の更新(随意契約)について審議
R5.03.13	第11回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 業績手当の支給について審議 施設長の任免及び配置換えについて審議
R5.03.27	第12回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会収支補正予算(第6号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 役員賠償責任保険契約について審議 第三者委員の選任について審議

(3) 評議員会

開催日	内 容
R4.06.27	定時評議員会 (出席者:評議員7名/8名 理事6名/6名 監事2名/2名) 報告事項 令和3年度恵泉会事業報告について 令和3年度恵泉会会計決算(計算書類及び財産目録)について 令和3年度宮城県指導監査の指摘事項及び改善状況について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	内 容
無	

(5) 監査会

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【令和3年度決算監査】		
R4.05.11	迫風園・翠風荘	恵泉会監事
R4.05.12	南風園・南寿荘	〃
R4.05.13	光風園・ゆりの郷	〃
R4.05.16	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R4.05.17	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R4.05.19	松風園・百楽荘	〃
R4.05.20	ほたるの郷 こじか	〃
R4.05.23	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと	〃
R4.05.24	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R4.05.26	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R4.05.27	キッズつぼみ 法人本部・取りまとめ	〃
【令和4年度中間監査】		
R4.11.16～ R4.11.17	全施設・事業所(書面監査)	恵泉会監事

(6) 会計監査人監査

開催日	内 容	実施拠点区分	会 計 監 査 人
R4.9.7～ R4.9.9	令和4年度監査計画打合せ 令和4年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士
R4.12.7～ R4.12.9	令和4年度会計監査人監査(第2回)	〃	〃
R5.03.31	令和4年度会計監査人監査(第3回)	ウェブ会議	〃

(7) 内部監査

開催日	内 容	実施拠点区分	内 部 監 査 人
無			

(8) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
無		

(9) 各種工事等打合せ

開催日	内 容	場 所	出 席 者
【恵泉会体育館トイレ改修工事】			
R4.04.19	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【南風園真空ヒーター入替工事】			
R4.06.08	工事打合せ	南風園	常務理事 総括主任
【光風園給湯改修・地下タンク廃止工事】			
R4.11.10	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【パルめぐみ空調改修工事】			
R4.12.16	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 参事 総括主任

(10) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R4.10.07	車輛事故防止会議	ウェブ会議	常務理事・参事 各デイサービスセンター 施設長・管理者
随時	障害事業施設長等会議(全9回)	在宅サービス支援棟	参事・障害サービス事業 施設長・法人本部総括主任
随時	経営企画会議(全2回)	在宅サービス支援棟	常務理事・グループホーム 施設長・光風園施設 長・松風園施設長・東和 高齢者福祉施設施設長・ 恵泉会介護支援センター 施設長・法人本部職員2 名
随時	恵泉会法人創立50周年事業検討会議 (全12回)	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事・参事・ グループホーム施設長・ 光風園施設長・迫風園施 設長・恵泉会地域生活支 援センター職員

4. 委員会開催状況

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R4.05.23	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・若草園統括施設長 グループホーム施設長
R4.05.31	第1回地震防災対策委員会	ウェブ会議	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R4.06.03	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R4.06.15	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 若草園統括施設長・松風園施設長 南風園施設長・ほたるの郷施設長
R4.07.01	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 委員12名・法人本部2名
R4.08.18	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 グループホーム施設長 委員14名・法人本部2名
R4.10.06	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員2名 法人本部2名 委員16名(ウェブ出席)
R5.01.24	第2回地震防災対策委員会	ウェブ会議	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R5.02.13	第2回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名

5. 各種サービス評価実施状況

実施日	実 施 施 設	評 価 員 等
【令和4年度施設サービス評価】		
R4.11.29	萩風園・菊風荘	恵泉会第三者委員
R4.12.01	恵泉会グループホーム・遠山荘	〃
R4.12.06	光風園・ゆりの郷	〃
R4.12.08	パルめぐみ	〃
R4.12.15	さくらワークス	〃
R4.12.19	こじか	〃
R4.12.20	キッズつぼみ	〃
R4.12.22	迫風園・翠風荘	〃
R5.01.26	南風園・南寿荘	〃
R5.02.02	若草園・若葉園	〃
R5.02.07	ほたるの郷・若生園	〃
R5.02.09	ほんわか・南方保育所	〃
R5.02.16	東和・東和デイサービス	〃

令和4年度 障害者支援施設若草園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4) 開 設 年 月 日 平成23年 4月 1日
5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
生活介護・施設入所	60 名
短期入所	4 名
計	64 名

【 基 本 方 針 】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人がその人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携・協働し、法令遵守もと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、健全な運営に努めるようにしました。また、地域で生活している障害(児)者や家族の福祉ニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会に応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

【 重 点 項 目 】

- 1.<高齢と障害が重く医療的ケアのニーズが高い利用者支援>
 - ・高齢等による身体機能低下が進み、介護度が高まるとともに、病状の進行などにより、年々医療支援対象者が多くなっています。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り即しながら支援し、生活の質を高めるようにしました。
 - ・利用者の平均年齢59才、65才以上の方も約3分の1と高齢化が進んでいます。また、障害のため一般の方々より若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病を原因としたリスクが高く、早い段階からの認知症や老化に伴う体力の低下、疾病になることも考えられます。常に身体・行動変化の確認・記録を行い、家族・専門職員・医療機関との連携を密にしました。さらに認知症ケアや個別ケア等の支援には機能訓練や運動を通して、高齢化、機能低下している利用者に対し個別に応じた支援を行い、安全で安心な生活を送れるようにしました。
- 2.<地域での連携及び交流>
 - ・地域で生活されている障害(児)者の方々やそのご家族に対して、生活支援上のセーフティーネットの役割(短期入所・日中一時支援等)を果たすよう努力しました。
 - ・地域住民や地域の学校及び事業所等との交流活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大当により、十分に実施できませんでした。
- 3.<安心・安全なサービスの提供>
 - ・新型コロナウイルス感染症に対する予防対応(ワクチン接種等)や感染対策(消毒や換気、抗原検査等)を徹底、安心して生活できる環境を整えました。また、感染の発生時においてもBCP(業務継続計画)に従い、利用者に対して必要なサービスを継続的に提供できるようにしました。
 - ・職員間で権利擁護委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、また、身体拘束に関して再教育にて正しく認識し、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認を繰り返し行い周知徹底を図りました。さらに、接遇の再確認を行うとともに、行動障害に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護に積極的に取り組みました。
 - ・火災、土砂災害、不審者の侵入等万が一に備え、施設整備を進めるとともに、常に点検・整備し、危機管理意識を高めるための研修や教育に努めました。必要に応じて、警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に努めました。非常災害発生時においてもBCP(業務継続計画)に従い、利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。
- 4.<職員間の連携及び協働>
 - ・障害(児)者支援ワーキンググループ会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。また、オンラインによる共同行事(プチフェスティバル)を計画し実施しました。また、共通の権利擁護マニュアルも作成し、研修に活用しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 21,625 名(施設入所支援) 15,389 名(生活介護)
2. 年間稼働率 98.74 %(施設入所支援) 95.35 %(生活介護)
(目標稼働率 98.00 % 96.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 区分 4.66 (施設入所支援) 区分 4.68 (生活介護)
4. 月別利用状況

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	120	124	90	93	93	90	93	90	93	62	28	31	1,007
区分4	779	799	810	837	836	810	837	810	837	888	770	837	9,850
区分5	510	527	510	527	524	510	527	510	527	527	532	589	6,320
区分6	386	386	390	403	403	390	379	360	361	341	308	341	4,448
計	1,795	1,836	1,800	1,860	1,856	1,800	1,836	1,770	1,818	1,818	1,638	1,798	21,625

生活介護事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	88	92	66	92	86	78	88	75	70	46	20	23	824
区分4	513	549	534	559	567	540	562	548	585	619	493	552	6,621
区分5	374	391	374	391	390	374	391	374	391	391	380	437	4,658
区分6	285	288	286	302	299	286	281	264	269	253	220	253	3,286
計	1,260	1,320	1,260	1,344	1,342	1,278	1,322	1,261	1,315	1,309	1,113	1,265	15,389

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
月末入所者数	60	60	60	60	60	60	60	59	59	60	60	59	-1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
令和4年4月12日 令和4年4月18日	お花見	若草園食堂・地域交流スペースにて、男性と女性の二回に分けてお花見を実施。両日とも良い天気にも恵まれ、春の陽気を十分に楽しめたようです。	利用者 58名 職員 8名
令和4年5月25日	端午の節句	男性はユニット・女性は食堂棟に集合し屋外で実施。フォークダンスや手遊び、風船バレーなどしました。良い気分転換になったようです。	利用者 55名 職員 8名
令和4年5月31日	若生園若草園交流会	体育館に移動しリレー形式のゲームをし交流を図っています。久々の交流会で、双方の利用者、職員ともに楽しめました。	利用者 10名 職員 6名
令和4年6月17日	レクリエーション大会	久しぶりの若草園全体行事を恵泉会体育館にて実施。ご利用者の気分転換や機能維持が図られたと思われまます。	利用者 55名 職員 8名
令和4年7月21日	カラオケ大会	女性が地域交流スペース、男性が活動ルームにて、カラオケ大会を実施。外出機会が少ないので、園内でのイベントを楽しんでいただきました。	利用者 57名 職員 8名
令和4年8月17日 令和4年8月19日	夏祭り	五感を通して夏祭りの雰囲気を感じ、楽しい時間を過ごしていただきました。	利用者 118名 職員 13名
令和4年8月18日	夏祭り(交流会)	体育館において、若生園のご利用者と一緒に、盆踊りを実施し、交流を深めました。	利用者 58名 職員 9名
令和4年10月18日	ハロウィン	ハロウィンという季節行事を通じて、季節を感じ楽しい時間を過ごしました。	利用者 59名 職員 8名
令和4年11月11日	秋を喜ぶ会	日中活動で栽培したさつま芋で焼き芋を作り、その味覚を楽しみ、季節を感じていただいた。	利用者 58名 職員 12名
令和5年12月12日	けいせんかいフェスティバル	恵泉会内の障害分野の事業所が合同で、オンラインにてフェスティバルを実施。今年度は各施設の発表の他、合同のゲーム等も行われ、とても盛り上がりまました。	利用者 59名 職員 15名

令和4年12月20日	クリスマス忘年会	男子でコロナ感染の為、未実施。女子も各ユニットで実施。トナカイ役の職員が各ユニットをまわり、プレゼントを配布しました。	利用者 29名 職員 3名
令和5年1月12日	新年会	新年を健康で迎えられたことに感謝し、各ユニットごとに会食をしながら、楽しく過ごしました。	利用者 58名 職員 8名
令和5年2月3日	節分・年祝い	節分に豆まきを実施するとともに、年祝いの方、還暦を迎える方々を利用者と職員でお祝いしました。	利用者 56名 職員 11名
令和5年3月3日	ひなまつり	ひなまつりということで歌やひなまつりにちなんだクイズ、茶話会を通して季節感を感じていただきながら楽しく過ごしました。	利用者 54名 職員 9名

【短期入所事業サービス、他】

- 年間延べ利用人員 676 名
- 年間稼働率 46.30 %
(目標稼働率 43.00 %) (延べ利用者数)
- 年間平均障害程度区分 3.96
- 月別利用状況【短期入所事業】(年間延べ利用人員 676 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	3	7	7	0	0	0	0	0	5	0	4	26
区分3	9	15	18	39	35	28	35	17	6	10	7	16	235
区分4	9	15	13	24	20	12	22	13	12	15	24	10	189
区分5	18	16	16	16	12	16	16	19	8	8	21	25	191
区分6	7	2	8	6	8	0	0	0	4	0	0	0	35
計	43	51	62	92	75	56	73	49	30	38	52	55	676

- その他の障害福祉サービス

月別利用状況【日中一時支援事業】(年間延べ利用人員 98 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市	1	1	0	2	3	2	2	2	1	1	1	1	17
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	8	5	9	6	7	7	8	7	4	5	7	8	81
計	9	6	9	8	10	9	10	9	5	6	8	9	98

【利用者サービスの向上】

- 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
令和4年4月15日	コンプライアンス(権利擁護/虐待防止)について	統括施設長	職員11名
令和4年4月25日	コンプライアンス(権利擁護/虐待防止)について	統括施設長	職員12名
令和4年5月19日	接遇研修(身体拘束等の適正化)	統括施設長	職員8名
令和4年6月8日	食中毒の予防について	管理栄養士	職員5名
令和4年6月9日	食中毒の予防について	管理栄養士	職員3名
令和4年6月16日	介護基礎研修(食事介助)	生活支援員	職員8名
令和4年7月14日	感染症対策(ガウンテクニック)	准看護師	職員8名
令和4年8月2日	救命救急講習	消防職員	職員7名
令和4年8月3日	恵泉会新任職員研修	理事長、常務他	職員2名
令和4年8月29日	車輛(リフト車)の使用方法について	生活支援員	職員4名
令和4年9月8日	恵泉会経営・管理職研修	統括施設長	職員1名
令和4年9月12日	新型コロナウイルス感染症発生時の対応について	准看護師	職員23名
令和4年10月20日	コンプライアンス(人事考課規程他)について	統括施設長	職員10名
令和4年11月14日	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長/統括施設長	職員1名
令和4年11月18日	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長/統括施設長	職員1名
令和4年12月8日	恵泉会管理職研修	公認会計士	職員1名
令和4年12月9日	介護基礎研修(口腔ケア)	サビ管	職員9名
令和5年2月16日	記録の書き方(リスク管理/身体拘束廃止の視点)	統括施設長	職員9名
令和5年2月27日	意思決定支援(権利擁護)について	サビ管	職員9名
令和5年3月9日	感染症対策(ノロウイルス)	看護師	職員8名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
令和4年6月16日	令和4年度東北地区知的障害者福祉協会定時総会	東北地区知的障害者福祉協会	Zoom	統括施設長
令和4年6月17日	令和4年度 集団指導	宮城県	法人本部	統括施設長
令和4年9月7日	職場の業務改善支援セミナー	宮城県	オンライン	統括施設長
令和4年10月12日	本人活動支援委員会報告	宮城県知的障害者福祉協会	オンライン	主任
令和4年11月22日	令和4年度 感染症予防オンラインセミナー	宮城県社会福祉協議会	オンライン	准看護師
令和5年1月27日	東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会	東北地区知的障害者福祉協会	オンライン	統括施設長
令和5年1月31日	令和4年度業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	統括施設長
令和5年2月28日	障害の理解啓発セミナー	宮城県	オンライン	サビ管
令和5年3月17日	令和4年度 集団指導	宮城県	法人本部	主任

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	月1回	施設長・管理者・事務員・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	月1回	施設長・管理者・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	月1回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
ケア会議 (随時開催)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・サビ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援 ワーキング部会 (月1回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理責任者 各担当職員
入所調整会議 (随時)	次期入所予定者(施設入所者)の実態調査後の入所可否を決定。	若草園	統括施設長・管理者・サビ管・看護師・管理栄養士・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策を検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ゼロ」の取り組みや検討。	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生のメカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。マニュアルの見直し。	随時	看護師・管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
防災・防犯委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	随時	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
各月	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・主任
各月	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
各月	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
隔月	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
随時	入所調整委員会	若草園	統括施設長・管理者・サビ管・看護師・管理栄養士・生活支援員
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	統括施設長・主任

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
令和4年6月6日	迫支援学校高等部3年～6/17まで	施設実習	2名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
		計	0名	0名

【今後の取り組み】

1. <一般原則の遵守>

運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守します。

- ①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画(個別支援計画)を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適正かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供します。
- ②利用者の意思及び人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
- ③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じます。

2. <安心・安全なサービスの提供>

- ①非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法を定めた計画(施設防災計画)を策定し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP(業務継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。
- ②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP(業務継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。
- ③権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の為の研修も同様に実施します。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題(職場環境や働き方等)について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践していきます。

3. <適切な介護>

- ①高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めます。また、職員の負担軽減や、ご利用者の安全確保の観点から介護ロボット(見守り)を導入し活用していきます。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成します。

4. <連携及び協働>

- ①恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行(介護保険等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討します。
- ②「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるように努めなければなりません。よって、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
- ③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。

令和4年度 障害者支援施設若生園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字西綱木24番地
若生園居住棟:宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所支援	4 名
計	54 名

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者(児)や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

【 重 点 項 目 】

- 《利用者満足度の向上》
 - ・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うる おいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活を創り、利用者様に常に寄り添い、利用者様の満足度へ繋がります。
 - ・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケート等)を定期的実施し、利用者満足度の向上に努めます。
 - ・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立支援向上や残存機能の維持や一人一人の感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
- 《利用者の尊重と権利擁護》
 - ・利用者個々の意向を尊重しながら、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書を作成、質の高いサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送ることが出来るよう支援します。
 - ・関係機関と連携を図りながら、安心・安全なサービスを利用していただけよう事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者様の人権擁護に努めます。
- 《重度・高齢化課題解決》
 - ・重度・高齢化が進んでいる現状をふまえ、利用者様一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)を、ご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、利用者様にとってよりよい福祉サービスを提供できるよう努めます。
- 《地域との連携と交流》
 - ・地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流や実習・ボランティアの受け入れなどをおし、地域に根ざした施設運営を目指します。
 - ・地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
- 《感染症や災害対策の強化》
 - ・利用者様・職員ともに感染予防を徹底することで感染拡大を防止し、利用者様の安心・安全 確保に努め、各種サービスが継続的に提供できるよう目指します。
 - ・自然災害時における利用者様の安全確保のために『防災計画書』『避難確保計画書～土砂災害～』に沿って対策・訓練を実施し、利用者様・職員ともに防災意識を喚起する機会を設定し、利用者様 の安全確保に努めます。
- 《職員の資質・専門性の向上》
 - ・OJT・OFF-JTの研修体制を実践し、職員の人材育成とスキルアップを図ります。
 - ・専門職としてのスキルアップを図り、他職種協働のもと、重度高齢化への介護支援体制を整えます。

【 利 用 状 況 】

- | | | | | |
|-------------|----------|---------|----------|--------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 17,741 名 | (施設入所)、 | 12,975 名 | (生活介護) |
| 2. 年間稼働率 | 97.21 % | (施設入所)、 | 96.47 % | (生活介護) |
| (目標稼働率) | 98.00 % | (施設入所)、 | 98.00 % | (生活介護) |
| 3. 年間平均障害程度 | 4.76 | | 4.76 | |
| 4. 月別利用状況 | | | | |

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	150	155	150	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,277
区分4	514	558	540	565	613	600	620	602	651	651	578	637	7,129
区分5	330	341	294	341	341	330	342	330	341	341	306	322	3,959
区分6	446	434	450	465	465	450	465	450	454	457	406	434	5,376
計	1,440	1,488	1,434	1,464	1,512	1,470	1,520	1,472	1,539	1,542	1,374	1,486	17,741

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	110	115	110	69	69	66	69	66	69	69	60	69	941
区分4	380	417	402	419	445	431	451	432	472	471	401	452	5,173
区分5	242	253	212	253	253	242	253	242	253	253	216	241	2,913
区分6	322	322	330	345	345	330	345	330	326	340	291	322	3,948
計	1,054	1,107	1,054	1,086	1,112	1,069	1,118	1,070	1,120	1,133	968	1,084	12,975

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4
退所者数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3
月末入所者数	49	49	49	49	50	50	49	50	50	50	49	49	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事他

実施日	行事名	内 容	参加者数
令和4年4月21日	お花見会	利用者の皆様と一緒に、居住棟ベランダにてカラオケを楽しみながら桜を眺め、お花見気分を味わいながら楽しいひとときを過ごされました。	利用者 48名 職員 8名
令和4年5月31日	若草・若生合同交流会 『若草園VS若生園 職員の顔覚えてるか』	若生園・若草園にて利用者・職員の交流を深めるために、体育館でモップレース(職員の似顔絵合わせ)交流会を実施しました。コロナ禍でなかなか日頃会えない、利用者・職員共に久しぶりの対面に喜びの笑顔が沢山見られ、ゲームを通じて交流を深めています。	利用者 12名 職員 7名
令和4年6月28日	WKE夏の歌謡祭	WKE夏の歌謡祭と題して、利用者と職員と一緒にカラオケ・余興等を一緒に披露し、楽しいひとときを過ごして頂いている。また、審査員より各参加者へ賞を授与されました。	利用者 36名 職員 10名
令和4年7月7日	七夕会	居住棟のエントランスホールにて、『天の川星釣りゲーム』を企画し、星を獲得し、点数で順位を競い、七夕の雰囲気ゲームにて楽しんで頂きました。また、各利用者より短冊に願い事を書いていただき、園内に飾り頂きました。	利用者 47名 職員 6名
令和4年8月18日	若草・若生合同夏祭り 『盆踊り2022. 夏』	体育館を会場に、合同の行事を企画し、若生園・若草園の利用者・職員の交流を深めています。夏のイベントとして、昔実施していた夏祭り企画を小規模で、盆踊りや夏の出店や太鼓企画等、夏の催し物を楽しまれています。	利用者 12名 職員 7名
令和4年 9月10日【8月コロナ発生により施設内の飾りのみ】	お月見会	施設内でコロナ感染者発生により、9/10十五夜にお月見会は、中止となりました。	利用者 職員
令和4年10月25日	ハロウィン	男女合同でハイウイン行事を開催し、今回は、日中活動で制作した野菜の絵柄入り紙コップとハンマーを使用した『収穫祭ゲーム』を実施し楽しんでます。また、希望される利用者や職員が仮装してハロウィン行事を楽しみました。	利用者 51名 職員 14名

【施設内コロナ発生にて 当日不参加】 令和4年12月12日	恵泉会プチフェスティバル	12/12に法人内で『けいせんかいフェスティバル2022～みんなでたりしむハッピーフェイス～』と題して開催されるが、若生園は、施設内コロナ感染のため、参加せず、後日録画されたものを視聴する。また、若生園としては、利用者・職員により『きつねダンス』を事前に動画で収録し、参加となる。利用者・職員共にいっしょに楽しまれて動画作成に当たっていました。	利用者 50名 職員 14名
【8月コロナ発生により、延期】 令和4年11月24日	線香花火会 焼き芋会	夏の行事であったが、コロナ関連にて延期となり、11/24実施しています。歓声も聞かれて、よい気分転換となっています。 若生園の日中活動で利用者様が、春に育てたサツマイモを収穫し、焼き芋会を開催しました。居住棟駐車場にて、実施し、熱々の焼き芋をいただき、満喫されていました。	利用者 49名 職員 13名 利用者 49名 職員 13名
【企画していたが、施設内コロナ発生により中止】	クリスマス忘年会	11月中旬より、居住等ユニット内をクリスマスツリーやイルミネーションで飾り、雰囲気を楽しんでいただきました。また、12/15に開催予定であったクリスマス会は、コロナ発生により中止となりました。	利用者 50名 職員 8名
令和5年1月1日～1月4日	年末年始イベント ・初詣(若生神社にて) ・職員似顔絵かるた ・福笑い・書き初め	予定では、大晦日に『若生園紅白歌合戦』を開催予定でしたが、コロナ感染対策により、1月1日の新年明けより、企画内容を変更し、各ユニットごとで、利用者様に年末年始の特別感を味わっていただきました。	利用者 51名 職員 7名
令和5年1月19日	新年会&レクリエーション大会	4ユニットに別れ、新年の抱負を語り合い、レクリエーション大会と合同企画とし、皆さんで新年を健康でむかえられることに感謝し、新年会を実施しています。また、昼食には、チキン寿司や茶碗蒸し等の行事食も提供され、利用者様みなさん満喫しています。また、今年も引き続き、無病息災を願って、若草神社の神主様に居住棟にて、利用者・職員ともに祈祷していただきました。	利用者 48名 職員 12名
令和5年2月2日	節分豆まき	職員が変装した鬼へ新聞紙で作った豆をぶつけて、外へ追い払いました。年男・年女、厄年の利用者は、居住棟正面玄関で鬼と一緒に記念撮影をしています。また、還暦・年男・年女の利用者様をご披露し、お祝いをしています。	利用者 51名 職員 9名
令和5年3月2日	ひなまつり会	桃の節句、ひなまつり会を男女各1ユニットへ集まり、間違い探しゲームや製作した御内裏様とお雛様の写真撮影用パネルを利用したの記念写真を撮影し、ひな祭りゼリーをいただきながら、雰囲気を味わって楽しんでいます	利用者 48名 職員 13名

【宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会企画行事】

令和4年11月15日	デジタル旅行会	宮城県内障害系事業所とwebで繋ぎ、宮城県内の有名な観光名所の映像を見ながら旅行気分を演出。出身地の映像が流れると喜ぶ利用者もあり、1時間30分という短い時間であったが、参加された利用者達はつかの間の旅行気分を味わった。	利用者 17名 職員 2名
令和5年2月22日	のど自慢大会	のど自慢大会参加にあたり、1名の利用者歌唱による「Tomorrow never knows」のMV風動画を作成し、県内十数カ所の障害系事業所へ配信。好評を博した。他事業所利用者によるカラオケ動画も視聴し、一緒に口ずさむなど楽しんだ。	利用者 23名 職員 10名

【短期入所者・日中一時サービス】

- 年間延べ利用人員 471 名
- 年間稼働率 32.26 %
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害 3.61
- 利用状況 (短期入所) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	11	0	0	0	0	0	0	6	31	28	31	107
区分3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
区分4	26	26	26	28	9	3	34	29	41	25	22	31	300
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	5	0	4	7	0	0	0	6	2	24
計	26	37	26	33	9	7	41	31	47	56	56	64	433

- (1) 短期入所 (年間延べ利用人員) 433 名 (稼働率) 29.66 %
(2) 日中一時支援事業 (年間延べ利用人員) 38 名 (稼働率) 5.21 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
令和4年4月5日	防災機器の取り扱い講習会	迫防災	職員7名
令和4年4月11日	服薬管理とバイタル測定、急変緊急時の対応について	看護師	職員3名
令和4年4月11日	小遣い管理と処理についての研修	サービス管理責任者	職員3名
令和4年4月15日 令和4年4月20日 令和4年4月22日 令和4年4月28日	権利擁護研修	統括施設長	職員21名
令和4年5月26日 令和4年5月27日 令和4年5月30日	ガウンテクニック・バイタルサインについての研修(新型コロナ感染症対策・脱着訓練)	看護師	職員16名
令和4年6月29日	食中毒研修	管理栄養士	利用者46名
令和4年6月30日	〃	管理栄養士	職員7名
令和4年7月20日	褥瘡について	看護師	職員7名
令和4年8月2日	救急救命講習会(心肺蘇生とAED使用講習・(骨折・けがの応急処置・熱中症の予防と対処法)	登米市消防職員	職員7名
令和4年8月15日	介護基礎研修(車いす上での安楽な座位について)①	株あかね福祉からの動画視聴	職員5名
令和4年9月30日	介護基礎研修(車いす上での安楽な座位について)②	株あかね福祉からの動画視聴	職員4名
令和4年10月18日 ～10月24日	権利擁護研修(身体拘束・虐待防止)	サービス管理責任者	職員21名
令和4年11月2日 令和4年11月8日 令和4年11月15日	コンプライアンス研修(人事考課規程他)	統括施設長	職員21名
令和5年2月20日 令和5年2月21日	感染症・感染対策研修	看護師	職員12名
令和5年2月13日 令和5年2月14日 令和5年2月19日	事故報告書を書く目的、書き方のポイント(リスクマネジメント研修)	生活支援員	職員9名
<法人内研修>			
令和4年10月14日	恵泉会研修大会 オンライン発信	オンライン	全職員
令和4年11月14日	恵泉会職員フォローアップ研修	統括施設長	生活支援員
令和4年11月18日	恵泉会職員フォローアップ研修	統括施設長	生活支援員
令和4年12月8日 コロナ不参加で後日、資料で確認	経営者研修及び管理職研修	あすの監査法人	管理者
令和5年3月6日	ワーキング部会交換研修会(障害福祉サービス事業所・恵泉会グループホームへ)	恵泉会グループホームにて研修	主任

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
令和4年5月19日	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(基本のき)	登米市他	登米市南方庁舎	生活支援員
令和4年7月21日	サービス管理責任者等更新研修	宮城県・県社協	オンライン研修	サービス管理責任者
令和4年7月22日	サービス管理責任者等更新研修	宮城県・県社協	オンライン研修	生活支援員兼サビ管
令和4年11月16日	障害者福祉職員研修	宮城県・県社協	オンライン研修	生活支援員
令和5年1月19日	精神障害者地域移行支援事業関係者研修会	宮城県・東部福祉事務所	登米市南方庁舎	生活支援員兼サビ管
令和5年1月31日	業務改善研修	県社協他	オンライン研修	生活支援員兼サビ管
令和5年1月30日	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待防止関係)	登米市他	登米市南方庁舎	管理者
〃	〃 (虐待防止と強度行動障害関係)	登米市他	登米市南方庁舎	生活支援員兼サビ管
令和5年2月22日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社協	オンライン研修	生活支援員

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	施設運営全般に関する協議	毎月第3火曜日	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	毎月第2火曜日	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	随時	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	毎月第4木曜日	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
連絡会議	管理職・専門職でよりよい施設運営や福祉サービスの向上に向けて協議する。	若生園	管理職・専門職
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案等(年2回)	恵泉会法人本部	防火管理者(落合管理者)
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議します。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・サビ管・栄養士・准看護師・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年6回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上分析・サービス評価の自己評価、集計、報告等	年7回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る	年8回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み・研修等	年8回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡予防対策、研修や訓練企画等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備点検等	年5回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
令和4年5月31日	恵泉会地震防災対策委員会	オンライン会議	防火管理者
令和4年4月28日	障害児者支援ワーキング第1回	法人本部	主任
令和4年8月9日	障害児者支援ワーキング第5回	若草園	主任
令和4年9月21日	障害児者支援ワーキング第6回	こじか園	主任
令和4年10月14日	障害児者支援ワーキング第7回	こじか園	主任
令和5年1月24日	恵泉会地震防災対策委員会	オンライン会議	防火管理者
令和5年2月15日	障害児者支援ワーキング第9回	こじか園	主任
令和5年3月15日	障害児者支援ワーキング第10回	こじか園	主任

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
令和4年9月26日～10月7日	仙台こども専門学校・保育科	保育実習	2名	20名
	計		2名	20名

【今後の取り組み】

1. 〈一般原則の遵守〉

運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守します。

・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画(個別支援計画)を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供します。

2. 〈利用者満足度の向上とサービス向上〉

・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活が送れるよう支援します。
・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケートや意向調査等)を実施し、事業計画へ反映し、利用者の満足度の向上やサービス向上に努めます。
・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立支援向上や残存機能の維持や一人一人の感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
・利用者様の意思及び人格を尊重し常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。

3. 〈安心・安全なサービスの提供〉

・非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法を定めた計画(施設防災計画)を策定し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。
・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→委員会において、指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。新しい事、想定外の事に対応できる人材を育成します。
・権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待の防止の為の研修も同様に実施します。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題(職場環境や働き方等)について検討するとともに、利用者様の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護についても指針やマニュアルを整備し実践していきます。

4. 〈適切な介護の提供〉

・高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めます。また、職員の負担軽減や、ご利用者の安全確保の観点から介護ロボット(見守り)を導入し活用していきます。報告/分析/評価/学習をする組織文化を醸成します。
・高齢化(利用者50名中、60歳以上の利用者様が、内25名)や重度化が進んでいる現状をふまえ、利用者一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、ご利用者様にとってよりよい福祉サービスを提供出来るよう努めます。

5. 〈連携及び協働〉

・恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご利用者本人の状態にあったサービス提供やサービス移行(介護保険等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討します。
・「皆で幸せになる」という最大ポテンシャルの考え方が社会福祉だとすれば、地域住民、社会福祉を目的とする事業所は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適切なサービス提供を受けられるように努めなければなりません。よって、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。

令和4年度 生活介護事業所パルめぐみ 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地 | 登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成17年4月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 35 名 |

令和4年4月は契約者数58名でスタート、年間の動向は、6名が生活介護利用契約、6名が生活介護契約解除となりました。

利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均34名の利用となるなど、昨年度の36.3名を下回った形となりました。感染症の影響で利用控えする利用者も多くみられたことが数字として表れた中で、新規契約は6名となりましたが、契約解除となる利用者も同様の値となり、増減は±0といった状況でした。

日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み(主に土曜日)のときに利用するという状況が続いており、1日当たり2.4人の利用と、昨年度の2.4人と同等の形となりました。

日中活動においては、感染症対策をしっかり行った上で外出や行事を実施しました。臨機応変に内容を工夫しながら、職員一丸となって「意思決定支援」を実現しようと取り組みました。

【 重 点 項 目 】

1. 生活介護

入浴および排泄を必要とされる利用者個々の状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々の希望に応じて食事をできるようにと提供時間に幅を持たせています。また、感染症対策として1つのテーブルに多人数にならないよう調整しました。強度行動障害の利用者には、専門的に学習した職員を中心に個別化した支援の強化を行うことで、対象者が過ごしやすい環境作りを行いました。

2. 健康管理

ICTによりバイタルの管理を行いました。健康状態に不安がある方については、1ヵ月毎の表やグラフで状態の把握に努めました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。新型コロナウイルスに関しては、送迎時の検温・手指消毒、乗車後の車両消毒、日中2回以上の検温、サービス提供後の施設内消毒など、マニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

3. 機能訓練・療法的活動支援

昨年度から1日2回の体操を継続して行ってきたこと、機能維持のためできるだけリハビリ体操を行いました。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、音楽を通じて心身のリフレッシュを図ることができました。

4. 活動機会の提供

創作活動では、季節の壁紙作りを主とし、前年度から始めたアルバム作りも継続しています。園芸では季節の花以外にも、ミニトマトなどプランターで作ることができる野菜を植えました。趣味活動では毎年参加していた障害者による書道・写真コンテストに出展し、一定の成果を収めることができました。

昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、季節の移り変わりを感じる事ができています。毎年恒例のお花見以外にも、夏にはすいか割り、秋には芋煮、りんご狩りなどを実施しました。社会資源の活用として、社会見学は大人数を避けるため3回に分けて実施し、仙台うみの杜水族館・大崎生涯学習センターを見学しました。

今年度から恵泉会体育館を行事の際に利用しています。新たな活動の場を利用者に提供できるよう工夫して行事を企画しました。利用者主体の活動を実現するため、活動の際には一人ひとりが選択できるような複数の内容を準備するにしました。利用者の自己決定を尊重し、活動機会を提供しました。

5. その他

今年度は迫支援学校の体験実習やボランティアの受け入れをしました。

12月には障害福祉サービスに関わる全8拠点合同で「恵泉会フェスティバル2022」をオンラインで実施。前回より質の高いオンライン企画に、サービスの種類に関係なく多くの利用者が参加することができました。

清掃活動では希望する利用者を募り、長沼フートピア公園や大嶽山などの社会資源のゴミ拾いや落ち葉拾いを行いました。

毎年12月に行っているトーンチャイム演奏会は、中止となっています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,494 名
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 97.0 % (生活介護)
4. 年間平均障害支援区分 4.10

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	218	239	269	224	223	215	209	131	189	217	200	216	2,550
区分4	432	416	449	489	490	474	464	326	371	370	347	438	5,066
区分5	160	154	166	157	181	176	196	143	180	194	189	217	2,113
区分6	78	65	68	67	62	64	63	52	61	64	57	64	765
計	888	874	952	937	956	929	932	652	801	845	793	935	10,494

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	6
契約終了者数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	6
月末契約者数	56	57	59	59	59	59	59	59	59	59	59	58	±0

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行 事 名	内 容	参加者数
R3.4.8,12,13	さくらをみようの会	平岡沼ふれあい公園、長沼フートピア公園、遠山の里、水の里ホールのといった登米市の桜の名所を巡ってきました。初日は桜を開花を楽しみに、団子とともに全国の桜の名所をDVDで観て季節を感じていただきました。	利用者 85名 職員 15名
R4.05.25	BBQ	恵泉会体育館を使用して軽運動とBBQを行いました。炭で焼いたお肉は格別の味わいでした。	利用者 44名 職員 10名
R4.6.9,13,20,29	外食	4日間でピストロ匠、鉄兵衛、味処小竹の3か所に行ってきました。昨年度は出前のみだったので、直接足を運んで味わうお店の雰囲気皆さん大喜びでした。	利用者 38名 職員 12名
R4.06.23	運動会	恵泉会体育館を使用して行いました。マリオチームとワリオチームに分かれ、障害物競走や玉入れ競争といった定番のものから、プレゼント絵合わせ競争といった新しい種目まで取り入れて競い合いました。	利用者 36名 職員 11名
R4.7.13,14,20	社会見学	仙台うみの杜水族館と大崎生涯学習センターへ社会見学に行ってきました。3班に分かれ、水族館とプラネタリウムをそれぞれ見てきました。	利用者 41名 職員 17名
R4.08.10	夏イベント	職員の「よさこいよっちょれ」で始まり、すいか割り、ヨーヨー釣り、屋台を楽しみました。お祭りさながらの雰囲気に夏を大いに感じる内容となっています。	利用者 46名 職員 12名
R4.09.07	陶芸教室	陶芸家の笠先生をお招きし、行いました。湯のみや皿、小物入れなど、世界で1つの作品を各々作り上げていました。	利用者 48名 職員 10名
R4.10.05	フードマラソン&芋煮	恵泉会体育館を使用して行いました。あいにくの悪天候によりフードマラソンは中止となりましたが、体育館内で「リアル野球盤」や「芋煮」を楽しみました。	利用者 44名 職員 11名
R4.11.02	セルフエステ体験	ハンドクリームを作ってハンドマッサージをしました。ツルツル・すべすべな肌に変身。多くの方が驚いていました。入浴ではアロマの香りとうるおい成分でリラックスしています。	利用者 42名 職員 10名
R4.12.12	恵泉会フェスティバル2022	障害福祉サービス事業所によるオンラインイベント。「みんなで楽しむハッピーフェス」をサブテーマとし、昨年度に続き全8拠点でステージ発表や抽選会で盛り上がりました。パルめぐみは「ダンス」と「書道」をライブ映像とPVで発表。ライブならではの迫力に会場は大盛り上がりでした。	利用者 37名 職員 12名
R5.12.23	クリスマス会	輪投げやボール入れのレクリエーションに加え、イルミネーションで華やかな雰囲気を演出しました。恒例の赤いサンタに加え、黒いサンタも登場しました。	利用者 37名 職員 11名
R5.01.05	ちゃんこ鍋&カラオケDAY	内容は少し変更を加えたものの、新年会さながらの盛り上がりを見せたカラオケ大会。ちゃんこ鍋は職員が想いを込めて作りました。	利用者 37名 職員 12名

R5.02.03	節分会	年男・年女を中心に、豆をまいて鬼を退治しました。「鬼ターゲットゴルフ」では2チームに分かれて点数を競い合いました。	利用者 40名 職員 8名
R5.03.03	ひな祭り会	ひなまつりをイメージした3種のカラーでどら焼きを作りました。また、お内裏様とお雛様に扮して写真撮影をしています。	利用者 39名 職員 7名

【その他の利用者サービス】 日中一時支援事業

1. 年間延べ利用人員 732 名 (利用上限 10 名)
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 23.69 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	78	47	70	65	56	64	77	43	43	51	61	65	720
	栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	南三陸町	1	2	0	1	0	0	2	2	0	1	1	1	11
	計	79	49	70	66	56	64	79	45	44	52	62	66	732
	稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	309
	利用者/日	3.0	1.9	2.7	2.4	2.2	2.5	2.9	1.8	1.8	2.2	2.6	2.4	2.4

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 (講 演 者)	参 加 者
R4.4.15	権利擁護研修	統括施設長	職員 利用者
R4.5.19	新任職員研修	管理者	生活支援員
R4.05.24	意思決定支援・合理的配慮研修	サービス管理責任者	職員
R4.06.10	食中毒対策研修	看護師	職員 利用者
R4.07.07	熱中症対策研修	看護師	職員 利用者
R4.8.3	法人内新任職員研修	法人本部	生活支援員
R4.9.29	強度行動障害研修	サービス管理責任者	職員
R4.9.30	感染症予防研修	看護師	職員 利用者
R4.10.5	コンプライアンス研修	管理者	職員
R4.10.20	防犯教室	佐沼警察署	職員 利用者
R4.12.7	接遇研修	サービス管理責任者	職員
R5.2.3	安全運転研修	サービス管理責任者	職員
R5.2.14	精神障害者地域移行支援事業者研修(伝達研修)	看護師	職員
R5.3.10	腰痛予防研修	看護師	職員
R5.3.23	リスクマネジメント研修	サービス管理責任者	職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	開 催 地	参 加 者
R4.07.21	サービス管理責任者更新研修	オンライン	サービス管理責任者
R4.08.30	サービス管理責任者実践研修①	オンライン	サービス管理責任者
R4.08.31	サービス管理責任者実践研修②	オンライン	サービス管理責任者
R5.01.19	精神障害者地域移行支援事業者研修会	登米市役所南方庁舎	看護師
R5.01.30	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会①	登米市役所南方庁舎	サービス管理責任者
R5.01.30	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会②	登米市役所南方庁舎	生活支援員

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	随時	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R4.04.19	K.F様担当者会議	パルめぐみ	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R4.04.27	R.O様担当者会議	レポス	本人 家族 パルめぐみ 地域生活支援センター レポス
R4.05.09	K.K様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R4.05.09	T.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R4.06.01	H.O様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R4.06.22	M.I様担当者会議	パルめぐみ	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R4.07.15	M.K様担当者会議	GH	本人 GH わらいの館 パルめぐみ
R4.07.15	T.A様担当者会議	GH	本人 GH わらいの館 パルめぐみ
R4.08.17	T.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 地域生活支援センター パルめぐみ
R4.09.09	迫支援学校実習打ち合わせ	パルめぐみ	迫支援学校 パルめぐみ
R4.09.29	迫支援学校実習打ち合わせ(H.I様)	パルめぐみ	迫支援学校 パルめぐみ
R4.10.12	M.T様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R4.10.14	迫支援学校実習打ち合わせ(H.I様)	パルめぐみ	本人 家族 迫支援学校 パルめぐみ
R4.11.10	M.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R4.01.07	迫支援学校実習打ち合わせ(H.I様)	パルめぐみ	迫支援学校 パルめぐみ
R4.01.31	迫支援学校個別移行支援会議(H.I様)	迫支援学校	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ等

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に向けた取り組み	随時	サビ管・生活支援員
感染症・食中毒予防対策検討委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	サビ管・生活支援員
虐待防止対策委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	随時	管理者・サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	随時	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
防災対策委員会	防災訓練・避難訓練の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	随時	管理者・サビ管・事務員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R4.12.28	登米総合産業高等学校様	ボランティア	1名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R4.10.13,14	迫支援学校様	産業現場等における実習	1名	2名
計			1名	2名

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった支援方法を模索しながら、環境作りを丁寧に行うことで地域の社会資源としてより多くの方々に利用してもらえるよう努めていきます。

また、通所を通して基本的な生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。ICTによるデータ管理を行うことにより、利用者個々のデータ抽出が容易になったため、より素早いアプローチを目指していきます。

感染症対策として、マスクや消毒といった基本的な部分は維持しつつも、TPOに応じた対応を意識して取り組んでいきます。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和5年度も継続します。

また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、継続的にリハビリ体操等行っていきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士等に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

4. 活動機会の提供

外出など屋外での活動機会の提供に注力し、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、利用者一人ひとりがその人にあった楽しみ方ができるよう自己決定支援を意識していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

5. その他

良質なサービス提供を維持するため、アンケート調査やサービス評価の内容を重視していきます。関係機関や地域、家族との連携を大切にし、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子を「パルめぐみブログ」や定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

令和4年度 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所在地 登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年10月1日(障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定)
5. 利用定員 106名 (※R5. 4. 1現在、内、2名は体験利用枠)
(ホーム数) 19ホーム:25住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態	夜間支援有無
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有	あり
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借	
かりんホームⅡ(サテライト型)	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字錦	一戸建て	賃貸借	
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借	
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅡ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
くりの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借	
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅢ(サテライト型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	

令和3年度より、コロナ禍でも「みんながつながる」行事を企画しようと、恵泉会障害児者支援共通スローガン『いっしょに』～あなたによりそう「けいせんかい」～のもと、障害児者施設のスタッフが一丸となり、オンラインでのお祭り行事「恵泉会フェスティバル」を開催しております。令和4年度もその流れを踏襲し、障害児者ワーキングのメンバーが中心となり、職員全員が同じ目標に向かって、思いやりのある喜ばれる支援の継続を目標に、将来に向けた事業課題や職員としての資質向上のための取り組みを強化しました。その中で、お祭り行事実施のためにリーダー候補職員を各拠点から選出し実行委員会を組織したことや、フェスティバルでの新たな取り組みの実施、事業所間での交換研修など、感染症予防を講じながら、未来の恵泉会につながる取り組みを意識した事業所間での協力体制を構築しております。

新型コロナウイルスに関しては、令和4年11月～令和5年1月にかけて、登米市内および恵泉会法人内においてオミクロン株の影響による流行が見られました。当事業所においては、幸いに重症化した利用者様はいなかったものの、8ホーム延べ20名の利用者様の感染が確認され、業務継続計画(BCP)に則して職員体制を編成し、備蓄してある衛生用品・感染対策用品等をフルに活用しながら、各ホーム単位で感染を抑え込むことに注力しております。新型コロナウイルスは、令和5年5月8日より5類感染症へと移行が予定されておりますので、既存のBCPについては、それに伴い事業所内の専門委員会で丁寧に見直し作業を行い、新しい行動パターンに合わせた業務整理と備蓄体制等に改訂していきます。

また、利用者様の重度・高齢化対策の推進として、改めて法人内介護保険事業所との連携を強化し、重度障害者支援体制構築では、職員の専門研修受講を強力に進めました。併せて、虐待防止・身体拘束適正化などの取り組みについても、虐待防止・権利擁護委員会を組織させ、職員はもちろんのこと、委託世話人に対しても利用者様に対する権利侵害や虐待と感じられるような言動・対応の是正、そして排除について高いレベルで要求し、日々の改善につなげております。

恵泉会グループホーム拠点を中心となった新たな取り組みとしては、地域貢献事業として、恵泉会体育館の活用復活に合わせて、障害のある方もそうでない方も同じルールの下で一緒にチームで仲間として活動する、「ユニファイドスポーツ」の推進に着手しました。令和4年6月には「恵泉会サッカークラブ」を旗揚げし、現在は障害者アスリート11名、健常者サポーター8名の合計19名で月2回～3回の活動を継続しております。

【 重 点 項 目 】

1. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢
 - (1) 利用者の皆様の人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
 - (2) 利用者の皆様を全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
 - (3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
 - (4) 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
 - (5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者様の年齢や特性に合った住環境を整備すること

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業
 - (1) 利用者様の重度高齢化への対策強化
 - ①夜間支援対象枠をR3年度の31名から38名に拡大
 - ②重度障害者支援体制に係る加算の取得を開始
 - ③強度行動障害に関する研修の推進と受け入れ態勢の強化(※研修修了職員8名)
 - ④老朽化した「さつきホーム」を廃止し、空き居室を整理することで支援効率を改善
 - (2) 利用者様の特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備、女性利用者の獲得
 - ①医療的なケアが必要になった方や加齢に伴い住環境の変更が必要な方に対して、ホーム替えを依頼
 - ②病気や加齢に伴い、グループホームでの生活が困難となった方に対して、法人内施設での受け入れを連携
 - ③新規入居者は2名の獲得があったが、重度化や病状悪化に伴う退所ケースの数がそれを上回った
 - (3) 10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案
 - ①令和4年度に恵泉会内の障害者支援施設へ移行した者(1名)
 - ②介護保険サービスの利用者(14名)
 - 菊風荘(デイサービス)利用 3名→6名
 - 東和高齢者福祉施設(デイサービス)利用 2名→4名
 - 迫風園(ショートステイ)および翠風荘(デイサービス)利用 1名
 - 南寿荘(デイサービス)利用 2名
 - 他法人ショートステイ利用 0名→1名
 - 福祉用具貸与サービス利用 6名(※他サービスとの重複あり)
 - ③利用サービス等の変更・見直し
 - 一般就労から福祉就労へサービス変更(1名) 一般就労から生活介護へサービス変更(1名)
 - 福祉就労から生活介護へサービス変更(8名) 介護保険サービスへの新規移行及び併用開始(5名)
 - 他法人から法人内サービスへの移行者(5名)
 - ④はせやま相談支援事業所への契約変更者(2名)
 - (4) IoT機器やICTの活用による業務効率の改善
 - ①タブレット端末を用いて、重度障害者支援加算に係る記録方法を電子化
 - ②Wi-Fi環境を用いて、オンライン研修の受講を多数実施
 - ③健康チェックアプリを用いて、職員の毎日の健康状態およびアルコールチェック記録を電子管理
 - (5) 相談支援事業の目標予算の達成と法人内拠点事業所との連携強化
 - ①新型コロナウイルスの流行状況を把握しながら、訪問による支援加算を可能な限り算定できるよう対応
 - ②対象者の希望をもとに、法人内事業所と連携し、スムーズな移行・受け入れ・契約を支援

3. 感染症対策および非常災害対策ならびに障害者の権利擁護の推進について
 - (1) 感染症対策用BCP(業務継続計画)の改訂・・・令和4年4月1日
 - (2) 自然災害用BCP(業務継続計画)の改訂・・・令和4年4月1日
 - (3) 令和4年7月の大雨災害時におけるBCPに則した行動対応
 - (4) 障害児者施設共通の権利擁護・虐待防止マニュアルを策定・・・令和4年5月1日
→法人内共通研修や事業所内研修、委託世話人向け研修等を企画・実施

【 利 用 状 況 】

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 年間延べ利用人数 | 37,630 名 |
| 2. 年間稼働日数 | 365 日 |
| 3. 年間稼働率 | 95.5 % |
| 4. 年間平均障害支援区分 | 3.45 |
| 5. 月別利用状況 | |

(1) 共同生活援助

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分2	469	465	450	475	485	479	496	481	496	496	448	525	5,765
区分3	1,100	1,153	1,140	1,178	1,147	1,110	1,147	1,084	1,116	1,090	980	961	13,206
区分4	1,241	1,263	1,228	1,285	1,288	1,247	1,255	1,222	1,216	1,246	1,128	1,345	14,964
区分5	189	186	180	185	209	208	246	257	272	268	245	272	2,717
区分6	60	62	60	62	62	60	62	60	33	33	28	31	613
計	3,089	3,160	3,088	3,216	3,222	3,134	3,237	3,134	3,164	3,164	2,857	3,165	37,630
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
稼働率	95.3%	94.4%	95.3%	96.1%	96.2%	96.7%	96.7%	96.7%	94.5%	94.5%	94.5%	94.5%	95.5%

(2) 計画相談支援(※サービス提供時モニタリング加算を含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	17	5	8	14	4	4	6	4	6	6	11	10	95
モニタリング	31	36	48	59	53	67	47	55	38	35	66	84	619
合計	48	41	56	73	57	71	53	59	44	41	77	94	714

6. 契約の状況

(1) 共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
月末契約者数	104	104	104	104	105	105	105	105	105	104	104	104	±0

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
契約終了者数	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	6
月末契約者数	184	184	184	185	184	184	183	182	182	182	182	180	-4

【利用者サービスの状況】

1. 入居者支援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	15	18	16	19	12	18	15	0	0	8	12	14	147
電話	39	48	49	41	52	48	39	39	44	51	46	59	555
訪問	64	58	61	48	52	59	67	50	57	61	49	73	699
計	118	124	126	108	116	125	121	89	101	120	107	146	1,401

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神)佐藤医院	9	8	8	8	8	9	8	10	10	7	7	8	100
精神)三峰病院	3	13	12	2	0	1	5	3	13	9	5	5	71
精神)石越病院	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	26
登米市民病院	4	4	6	13	7	5	5	7	10	5	2	5	73
登米市立米谷病院	5	4	3	12	11	4	5	6	6	5	2	6	69
上杉皮膚科医院	10	14	23	20	22	12	18	11	11	5	14	15	175
その他(大崎市民病院他)	88	71	78	89	81	80	109	100	92	70	61	71	990
計	121	116	132	146	131	115	152	139	144	103	93	112	1,504

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	112	94	114	133	122	108	135	129	118	88	83	104	1,340
市外	9	22	18	13	9	7	17	10	26	15	10	8	164
計	121	116	132	146	131	115	152	139	144	103	93	112	1,504

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	76	84	71	79	74	76	83	59	72	78	68	70	890

(4) 余暇支援

実施月	行事名	内 容	参加者数
4月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 9回 参加 13名
	運動支援	体育館や公園等を利用しての運動支援	回数 2回 参加 10名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(クッキングなど)	回数 1回 参加 8名
5月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 10回 参加 14名
	運動支援	障害者スポーツ大会参加(ボーリング、フライングディスク)	回数 2回 参加 12名
6月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 13回 参加 41名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 14名
7月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 11回 参加 31名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 1回 参加 6名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 12名
8月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 8回 参加 9名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 7名
9月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 9回 参加 11名
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(墓参りなど)	回数 4回 参加 6名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 2回 参加 24名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 3回 参加 20名
10月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 7回 参加 14名
	希望旅行(外泊)	コロナ対策を実施しての個別の1泊旅行(ディズニーランド)	回数 1回 参加 4名
	スポーツ観戦	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(野球・サッカー観戦)	回数 2回 参加 19名
	レクリエーション大会	コロナ対策を実施しての行事支援	回数 1回 参加 17名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 4回 参加 23名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 16名
11月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 2回 参加 4名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 7回 参加 40名

12月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 4回 参加 4名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 6回 参加 32名
1月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 6回 参加 10名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 7名
2月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 11回 参加 16名
	コンサート外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(音楽コンサート)	回数 1回 参加 10名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 1回 参加 3名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 14名
3月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買物、外食など)	回数 11回 参加 16名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 1回 参加 3名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 2回 参加 14名
実 施 回 数		152 回	延 べ 参 加 者 数 504 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	12	12	15	14	9	18	17	9	10	7	15	14	152

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 (講 演 者)	参 加 者
R4.04.01	転入職員OJT①	グループホーム職員	職員3名
R4.04.01	世話人OJT	グループホーム職員	世話人2名
R4.04.04	転入職員OJT②	施設長	職員2名
R4.04.04	世話人OJT	グループホーム職員	世話人1名
R4.04.05	転入職員OJT③	施設長	職員1名
R4.04.15	虐待防止統一研修 webにて	統括施設長	職員11名
R4.05.26	世話人OJT	グループホーム職員	世話人1名
R4.06.06	ミニ研修:グループホームの経営についての研修	施設長	職員14名
R4.06.15	コンプライアンス研修	施設長	職員12名
R4.06.17	コンプライアンス研修	施設長	職員6名
R4.06.20	コンプライアンス研修	施設長	職員5名
R4.07.04	ミニ研修:夏場の水分補給研修	施設長	職員14名
R4.08.01	ミニ研修:脳の構造から見える人の心と行動	施設長	職員11名
R4.08.10	世話人OJT	グループホーム職員	世話人1名
R4.10.03	ミニ研修:課題のある方への理解と支援	施設長	職員13名
R4.10.21	人事考課者研修	施設長	職員3名
R4.10.24	人事考課者研修	施設長	職員1名
R4.10.28	伝達研修:依存症関連について	グループホーム職員	世話人8名
R4.11.02	採用OJT	グループホーム職員	職員1名
R4.11.04	障害者総合支援法の一部改正案の研修	施設長	職員12名
R5.01.27	伝達研修:リスクマネジメント研修	グループホーム職員	職員10名
R5.03.06	「しあわせ+笑顔」研修	施設長	職員12名
R5.03.06	伝達研修:虐待防止研修	グループホーム職員	職員12名

【内部研修 実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	1	4	1	2	0	4	2	0	1	0	2	23

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参加者
R4.05.10	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.05.15	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.05.22		教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.06.23	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.06.30		教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.07.22	サビ管・児発管更新研修	県社協	web	職員2名
R4.08.03	恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R4.08.05	新型コロナウイルス感染症対策研修会	宮城県	web	職員1名
R4.08.08	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.08.19	発達障害者支援セミナーinみやぎ	発達支援センターえくぼ	web	職員1名
R4.08.27	スペシャルオリンピックス研修	スペシャルオリンピックス日本	web	職員1名
R4.09.02	社会福祉施設中堅・監督職員研修	県社協	web	職員1名
R4.09.07	人材確保のための職場改善支援等業務研修会	宮城県	web	職員1名
R4.09.08	経営・管理職研修 第1G財務会計・管理会計	恵泉会	法人本部	職員1名
R4.10.19	依存症関連問題研修	県精神保健福祉センター	web	職員1名
R4.10.25	安全運転管理者講習	公安委員会	登米市	職員1名
R4.11.04	登米市障害福祉支援者サポート事業	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.11.07	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	県社協	仙台市	職員1名
R4.11.14	恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	web	職員1名
R4.11.16	障害福祉施設職員研修	県社協	web	職員1名
R4.11.18	恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	web	職員1名
R4.12.15	サービス管理責任者等基礎研修 (動画視聴3日、演習1日)	県社協	web	職員1名
R4.12.21		県社協	web	職員1名
R5.01.19	「向精神薬の特徴と使用の際の留意点」	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.01.27	障害者虐待防止研修	県社協	web	職員1名
R5.01.30	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.02.03	「ゆい」研修事業	恵泉会	迫公民館	職員2名
R5.02.04	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.02.24	「発達障害者への支援と連携について」	発達支援センターえくぼ	南方庁舎	職員2名
R5.03.10	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R5.03.17	県集団指導	宮城県	web	職員1名

【外部研修 参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	3	1	1	5	3	4	4	1	3	3	2	30

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事計画, 支援課題, 事務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	グループホーム・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画、モニタリング、支援方針 等	毎月1回	利用者、担当職員 他
世話人会議	情報共有, 事業方針, 業務連絡, ミニ研修 等	隔月1回	各ホーム世話人, 担当職員

(2) その他の会議・委員会

会議名	内 容	開催日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	随 時	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するカンファレンス	随 時	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	随 時	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	随 時	担当職員, 関係機関
事業所間連携会議	感染症対策および対応状況等の共有	随 時	担当職員, 他事業所
経営企画チーム	人事考課制度等の経営課題に関する打合せ	全5回	施設長
創立50周年事業関連打合せ	恵泉会創立50周年に関する事業等の検討	全53回	施設長
障害児者施設長会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全9回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	全10回	施設長, 担当職員
恵泉会地震防災対策委員会	災害に備えた防災体制の確立	全2回	防災委員
恵泉会フェスティバル実行委員会	障害系の事業所での合同フェス実施検討	全6回	フェスティバル実行委員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・準備・調整・打合せ	全4回	施設長, 担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
虐待防止・権利擁護委員会	事故や虐待、権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順, 余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
防災安全委員会	災害や非常時に備えた計画の整備, 訓練実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数										
R4.04.19	新規入居希望者	見学(やまびこホーム)	1名										
R4.06.15	新規入居希望者	見学(ラベンダーホーム)	1名										
R4.06.23	新規入居希望者	見学(さつきホーム)	3名										
R4.09.13	迫支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(わたの実, かきの実)	18名										
R4.10.19	気仙沼支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(わかばホーム)	4名										
R4.10.26	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(さつきホーム)	2名										
R5.01.31	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(やまびこ、かりん、すみれホーム)	3名										
R5.03.16	通所事業所職員他	見学(かごだんホームⅡ)	3名										
R5.03.25	宿直業務希望者	見学, 事業説明(宝江・わたの実エリア)	1名										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	1		2			1	2			1		2	9

(2) 体験ステイ, 体験入居(介護給付費対応)

年月日	対 象 者	内 容	人 数
R4.07.08	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.09	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.14	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.15	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.19	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.20	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.21	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.22	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.23	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.24	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名
R4.07.25	新規入居希望者	体験入居(ラベンダーホーム)	1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数				11									11

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン(令和4年度～令和6年度)

『いっしょに』 ～ あなたによりそう「けいせんかい」 ～

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

- ① 利用者の皆様の人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
- ② 利用者の皆様を全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
- ③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
- ④ 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
- ⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者様の年齢や特性に合った住環境を整備すること

3. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取り組み

- ① 利用者様の重度高齢化への対策強化と感染症予防に関する取り組みの継続・強化
 - 夜間支援体制の強化やフレイル予防対策として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図る
 - これまでの経験を基に、BCP(業務継続計画)に沿った十分量の感染症対策用品を確保し、職員は研修と訓練を重ねながら、利用者様の安全確保と感染の拡大防止に引き続き努める
 - 新型コロナウイルスの5類感染症への移行後は、国・県からの指示に従い対応する
- ② 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化
 - 指導監督職とサービス管理責任者から構成する権利擁護・虐待防止委員会の活動を継続強化し、全ての利用者様が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供する
- ③ 利用者様の特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備、新規利用者の獲得
 - 少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業・他法人との連携強化
- ④ 利用者様やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先との連携
 - ご本人・ご家族と共に心身の状態を確認・見極めながら、安心した生活を支援できるよう、ケア会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討していく
 - 恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携の深化を図る
- ⑤ IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進
 - 加算算定や医療提供状況については、パソコンまたはタブレット端末での入力を基本とする
- ⑥ 相談支援事業の目標予算の達成と法人内および関係機関との連携強化
 - マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談援助体制の関係強化に努め、収入基盤を安定させる
 - 施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係機関との連携や市町村の担当保健師との情報共有に注力する
- ⑦ 利用者様の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案
 - 趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者様の想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践していく
 - ユニファイドスポーツ(障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム)を通じた心身の健全育成を推進する
- ⑧ 経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けた取り組み
 - 収支目標達成のため、空床整理と業務委託費支出の見直しを図る
 - 重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践する

*** 共同生活援助事業の役割について ***

- ◇ グループホームの役割は、その人のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。言い換えれば、利用者様一人ひとりと一緒に、『地域をつくる』仕事だと考え、業務に従事します。
- ◇ グループホームは、利用者様一人ひとりの家であり、生活する住まいの場です。決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではないことを理解します。
- ◇ 利用者様は「困った人」ではなく「困っている人」という認識を持ち、構造化された環境で、医療と連携し、日常生活や精神状態に支障を来すような強く過度な刺激を与えないよう、一貫した対応を常としていきます。
- ◇ 利用者様に対する権利擁護や虐待防止の観点から、本人の「意思決定」のための支援を大切にします。意思決定の支援に当たっては、「意思表出支援」と「意思形成支援」を中心プロセスとしてアプローチします。

令和4年度 恵泉会地域生活支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年10月1日
5. 利 用 定 員 なし（利用者の障害種別は問わない）

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,677 名

○登米市障害者相談支援事業	}	3,093 名	
○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業			
○宮城県障害児等療育支援事業			
○指定特定相談支援事業(計画相談支援)			3,045 名
○障害者就業・生活支援事業			1,539 名

2. 年間稼働日数 298 日

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援事業	247	246	247	241	262	273	292	266	247	285	240	247	3,093
指定特定相談支援事業	203	214	269	296	287	279	288	264	250	251	209	235	3,045
障害者就業・生活支援事業	90	112	128	116	115	125	157	126	152	140	144	134	1,539
計	540	572	644	653	664	677	737	656	649	676	593	616	7,677

4. 登録の状況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	2	1	0	2	2	4	0	1	2	2	0	1	17
月末登録者数	424	425	425	427	429	433	433	434	436	438	438	439	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	1	2	4	1	2	1	5	5	1	2	5	29
登録抹消者数	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	8
月末登録者数	306	306	307	311	312	314	314	319	324	325	325	330	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業/宮城県障害児等療育支援事業

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
175	93	27	545	0	39	148	2,066

指定特定相談支援事業(計画相談支援)

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
532	111	60	1,032	8	102	545	655

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

宮城県障害児等療育支援事業

相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等	相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等
136	11	20	28	81	1	4	4

障害者就業・生活支援事業

職場実習	就職者	定着支援
22	23	331

【利用者サービスの状況】

1. 日常サービス

(1) 療育相談・家族への支援

実施日	項目	内 容	参加者数
R4.04.17	はあとタイム	理学療法士・相談支援専門員等による療育相談	13名
R4.05.15	〃	〃	11名
R4.07.24	〃	〃	14名
R4.08.21	〃	〃	11名
R4.09.25	〃	理学療法士・言語聴覚士等による療育相談	11名
R4.10.16	〃	〃	10名
R4.11.20	〃	〃	6名
R4.12.20	〃	〃	12名
R5.01.22	〃	〃	5名
R5.02.19	〃	〃	11名
R5.03.12	〃	〃	7名
実 施 回 数		11回	延べ参加者数
			111名

実施日	項目	内 容	参加者数
R4.09.13	ペアレント・プログラム	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム①	3名
R4.10.25	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム②	3名
R4.11.01	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム③	3名
R4.11.15	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム④	4名
R4.12.01	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム⑤	3名
R4.11.17	家族同士のピアサポート	ペアレント・メンター事業を活用した「集まるん」	3名
実 施 回 数		6回	延べ参加者数
			19名

(2) 療育行事・余暇活動支援・在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実施日	項目	内 容	参加者数
R4.05.29	オープンはあとアクション・たいあつぷ	みんなでカラダを動かそう！	8名
R4.10.30	〃	ヨガで心も体もリフレッシュ	8名
R5.02.26	〃	とめ・くりはらマンドリンクラブ 春待ちコンサート	28名
R5.03.08	ピアサポート活動	一般就労を目指すあなたへ	7名
実 施 回 数		4回	延べ参加者数
			51名

(3) 技術支援・ネットワーク形成・研修会開催等(主な事業)

実施日	項目	内 容	参加者数
R4.04.26	マネジャー配置事業	石越地区保健活動推進員会議・研修(講師)	35名
R4.05.19	相談支援事業	障害福祉サービス事業所職員等研修「基本のき」	22名
R4.05.24	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム事前研修	5名
R4.05.26	就業支援ネットワーク形成	第1回就労関係事業所連絡会	19名
R4.05.31	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修①	5名
R4.06.07	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修②	5名
R4.06.14	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修③	5名
R4.06.21	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修④	5名
R4.06.28	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修⑤	5名
R4.07.05	マネジャー配置事業	こじか職員研修・ペアレントプログラム実施者養成研修⑥	5名
R4.07.25	就業・生活支援事業	日本職業リハビリテーション学会宮城大会ワークショップⅢ(討論者)	11名
R4.08.01	相談支援、就業・生活支援事業	迫支援学校個別進路相談会(8/2,3,4,5)	14名
R4.08.25	マネジャー配置事業	ペアレント・プログラム研修会(栗原)	30名
R4.09.02	相談支援、就業・生活支援事業	迫支援学校授業協力「ゆい」説明(講師)	18名
R4.09.22	マネジャー配置・療育支援事業	こじか療育支援	2名
R4.10.21	マネジャー配置・療育支援事業	第2回保育担当者及び児童館等指導員研修会(講師等)	23名
R4.10.31	就業支援ネットワーク形成	第2回就労関係事業所連絡会	16名
R4.11.04	相談支援事業	登米市障がい福祉支援者サポート事業研修「アセスメント技術を高める」	15名
R4.11.05	マネジャー配置・療育支援事業	支援者研修会「F-wordsを基に子どもたちへの支援を再考～」	17名
R4.11.09	就業・生活支援事業	女川高等学園進路指導充実事業事例発表会(講師)	5名
R4.11.24	マネジャー配置・療育支援事業	キッズつばみ職員研修(講師)	4名

R4.12.16	就業支援ネットワーク形成	第3回就労関係事業所連絡会	16名	
R4.12.22	相談支援事業	障がい者家族セミナー「疲労と心の健康の関係性」	19名	
R5.01.23	マネジャー配置事業	発達障害支援者圏域別研修会(栗原地域)	21名	
R5.01.24	マネジャー配置事業	栗原市放課後等児童クラブ支援員研修会①	40名	
R5.01.26	就業・生活支援事業	企業が行う雇用管理の視点から就労支援を考えるシンポジウムin宮城(ファシリテーター)	70名	
R5.01.30	マネジャー配置事業	栗原市放課後等児童クラブ支援員研修会②	40名	
R5.01.30	相談支援事業	障害福祉サービス事業所職員等研修「虐待防止研修」①	24名	
R5.01.30	相談支援事業	障害福祉サービス事業所職員等研修「虐待防止研修」②	28名	
R5.01.31	マネジャー配置・療育支援事業	運動特化型放課後等デイサービスJump職員研修	11名	
R5.01.31	相談支援、就業・生活支援事業	迫支援学校個別移行支援会議(2/1,2/2,2/8,2/10)	12名	
R5.02.03	「ゆい」研修事業	「ともにすすむ・ともにほたらく」	31名	
R5.02.06	相談支援・マネジャー配置事業	発達障害児家族支援研修「保護者との関係作り」	20名	
R5.02.09	マネジャー配置事業	宮城県障害児等療育支援事業研修会(栗原圏域)	30名	
R5.02.16	相談支援事業	認定NPO法人さわおとの森支援者養成研修(講師)同日2回	30名	
R5.02.24	相談支援・マネジャー配置事業	登米市障がい福祉支援者サポート事業研修「発達障害者の支援と連携」	14名	
R5.03.13	マネジャー配置・療育支援事業	発達障害支援者研修in登米「PARS-TRを活用して～」	15名	
R5.03.13	就業支援ネットワーク形成	第4回就労関係事業所連絡会	18名	
実 施 回 数		38回	延 べ 参 加 者 数	705名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	説明者・進行役・講師	参 加 者
R4.05.25	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	主任相談支援専門員(スーパバイザー)	相談業務担当職員
R4.06.01	自然災害発生時における業務継続計画	社会福祉士兼相談支援専門員	〃
R4.06.15	新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画	相談支援専門員	〃
R5.01.25	法令順守(コンプライアンス)に関する研修	管理者	〃
R5.03.01	障害者虐待防止の組織的な取り組みについて	相談支援専門員	〃

(2) 外部研修(主な研修)

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.06.21	障害支援区分認定調査員研修	宮城県保健福祉部	オンライン	職員1名
R4.06.21	精神保健福祉基礎講座Ⅰ	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R4.07.06	宮城県障害者相談支援従事者初任者研修～7/15	宮城県他	オンライン	職員1名
R4.07.16	上記研修全5日間(7/17,9/10,10/29,10/30)	宮城県他	宮城県庁	職員1名
R4.07.27	ひきこもり等支援関係者研修	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R4.08.03	精神保健福祉基礎講座Ⅱ	宮城県他	オンライン	職員1名
R4.08.05	新型コロナウイルス感染症対策研修会	宮城県保健福祉部	オンライン	職員1名
R4.08.19	発達障害者支援セミナーinみやぎ	えくぼ	オンライン	職員1名
R4.08.27	日本職業リハビリテーション学会第49回宮城大会8/28	開催実行委員会	オンライン	職員1名
R4.09.29	第22回地域生活支援セミナーinおきたま	山形労働局等	オンライン	職員1名
R4.10.14	第17回コノコノセミナー	コノコノ	大河原町	職員1名
R4.10.19	依存症関連問題研修	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R4.10.19	発達障害支援者圏域別研修会(気仙沼)	マザーズホーム	気仙沼市	職員1名
R4.10.24	技術支援研修会①	宮城県子ども総合センター	名取市	職員1名
R4.10.28	登米市ヤングケアラー支援者研修会	登米市(子育て支援課)	登米市	職員1名
R4.11.05	北海道・東北ブロック相談支援研修宮城県大会	MSK35	オンデマンド	職員1名
R4.11.17	精神障害者雇用推進セミナー	県、労働局等	気仙沼市	職員1名
R4.11.18	精神障害者雇用推進セミナー	県、労働局等	石巻市	職員1名
R4.11.25	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム研修会	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R4.11.26	相談支援専門コース別研修(意思決定支援)	MSK35	仙台市	職員1名
R4.11.29	ナカボツ就業支援担当研修(～12.1)	障害者職業総合センター	オンライン	職員1名
R4.12.02	医療的ケア児等コーディネーター養成研修(全4日間)	宮城県他	仙台市	職員1名
R5.01.19	精神障害者地域移行支援事業関係者研修会	宮城県東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
R5.01.25	「えくぼ」研修会「成人期支援に期待～」	えくぼ	オンライン	職員2名
R5.02.07	ナカボツ就業支援担当研修	障害者職業総合センター	オンライン	職員1名
R5.02.09	トラウマインフォームドケア研修会	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名

R5.02.10	アメニティーフォーラム26(2/11,12)	開催実行委員会	滋賀県大津市	職員2名
R5.02.16	技術支援研修会②	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員2名
R5.02.17	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	ちるふあ他	仙台市	職員1名
R5.02.20	宮城県ペアプロスキルアップ研修及び取り組み報告会	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員2名
R5.02.24	定着支援地域連携モデルに係る調査事業報告セミナー	全国就業支援ネットワーク	オンライン	職員1名
R5.02.28	地域リハビリテーション 障害の理解啓発セミナー	宮城県リハビリテーション支援センター	オンライン	職員1名
R5.03.07	全障協東北ブロック障害者雇用セミナー	全国障害者雇用事業所協会	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	毎月	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	7/12,3/23	相談支援事業担当職員
登米GSV	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	毎月	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月	相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	隔週	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月	相談業務担当職員
地域支援マネジャー新規ケース検討会	子ども総合センターとの新規ケース検討(登米・栗原圏域別)	毎月	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合センターとの定期連絡会(登米)	3か月に1回	地域支援マネジャー
地域支援マネジャー定期連絡会	子ども総合センターとの定期連絡会(栗原)	2か月に1回	地域支援マネジャー

(2) その他の会議(主な会議)

開催日	内容	場所	出席者
R4.04.14	宮城就業支援ネットワーク事務局会議(第1回)	オンライン(リモート)	職員1名
R4.06.03	宮城就業支援ネットワーク事務局会議(第2回)	オンライン(リモート)	職員1名
R4.07.27	登米市自立支援協議会全体会議	登米市南方庁舎大会議室	職員2名
R4.10.07	就業・生活支援センター情報等共有会議	南三陸歌津公民館	職員2名
R4.10.11	登米市自立協課題検討部会(地域生活支援拠点①)	登米市南方庁舎	職員2名
R4.10.13	就業・生活支援センター情報等共有会議	大崎市図書館	職員2名
R4.10.17	就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会議	オンライン	職員1名
R4.11.15	課題検討部会(地域生活支援拠点②)以降計7回	登米市南方庁舎	職員2名
R4.12.19	登米市自立協課題検討部会(にも包括①)	登米市南方庁舎	職員1名
R5.01.24	登米市自立協課題検討部会(にも包括②)	登米市南方庁舎	職員1名
R5.02.10	就業・生活支援センター都道府県連絡会議	仙台市(第4合同庁舎)	職員2名
R5.02.16	宮城県自立支援協議会相談支援事業所部会	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
R5.02.20	登米市自立協課題検討部会(にも包括③)	登米市南方庁舎	職員1名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R4.07.08	宮城県立小牛田高等学園2年生・教諭	「ゆい」見学・センターの機能説明	5名
R4.09.13	宮城県立迫支援学校高等部3年生・教諭・保護者	「ゆい」見学・センターの機能説明	21名
R4.01.17	宮城県立迫支援学校高等部3年生	センター見学・センターの機能説明	5名

【事業に伴う成果】

(1) 登米市障害者相談支援事業

- ・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっている。
- ・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通じた関わりも可能となっている。
- ・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっている。

(2) 宮城県発達障害者地域支援マネージャー配置事業

- ・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして令和元年度から新規事業化した取り組みについて、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネージャーとして配置している。
- ・県内の現状を踏まえ、課題や方向性を県に提言し、システム構築の一助となっている。
- ・登米エリアだけでなく、栗原エリアの発達障害支援体制も補完し、研修事業を充実させる取り組みを図っている。
- ・宮城県からの依頼により、各圏域においても、ペアレントプログラムに取り組めるよう、養成研修講師として協力している。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の発達障害支援機関に広く認知されている。
- ・栗原エリアの発達障害支援体制の充実に向けた取り組みのなかで、学校側と協議する場に加わり、教育との連携を図っている。

(3) 宮城県障害児等療育支援事業

- ・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、発達の状況に合わせた適切な助言を行っている。
- ・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害(未診断を含む。)特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっている。
- ・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげられている。

(4) 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

- ・「ゆい」登録者のうち、今年度は23名(実人数)が就職に結びついている。
- ・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっている。
- ・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年4回開催し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っている。
- ・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っている。また、労働局の指針により、卒業年次在学時からの利用登録が可能になり(令和3年度以降)、就職をめざす学生との関わりが深まり、卒業後の切れ目のない支援につながっている。

令和4年度 多機能型事業所若葉園 事業報告

【施設概要】

1. 所在地	宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16
2. 設置主体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日	平成21年 4月 1日
5. 利用定員	40名（就労移行支援6名、就労継続支援B型34名）

【基本方針の実施状況】

1. 就労移行支援

一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指すとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、現場実習などを取り入れ希望や適正にあった支援をおこないましたが、令和4年度は1名の就職者でした。

2. 就労継続支援B型

個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図りました。

3. 就労定着支援

就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指よう支援し、離職者が0名という実績となりました。

【重点項目に対する評価、成果】

1. 個別支援の充実

サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施いたしました。定期的にモニタリングを行いながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図れるよう取り組みました。

2. 工賃の向上

各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めるながら実施しましたが、社会情勢の影響を受け、特に光熱費や原料・資材の高騰によりこれまでにない経費の増加があり、グリーン工房においては事業開始後最高の売上高となったが純収益は厳しいものがあった。工賃においても、月々の目標金額は順調に支払われたが、一時金の金額については大幅に減額となりました。

3. 就労支援体制のさらなる充実

関係機関と連携しながら、実施してきたが昨年同様コロナ禍の中、職場実習や企業合同説明会等が中止となり、就労移行支援事業における就職者が1名がでした。令和5年度においては一人でも多くの利用者が就職出来るよう支援していきたい。

4. 就労定着に向けた専門的な支援

平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業であるが、令和4年度も定着支援の効果と思われる定着率が100%になっており、今後も就職者の定着に向けて支援していきます。就労定着支援事業の指定を受け実績を増すことで、就労移行支援を希望する利用者さんが増えていることは事実であるように思われます。

5. 虐待防止等

打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業 定員 34名

1. 年間延べ利用人員 8,238 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 99.71 % (目標稼働率 : 106%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	140	131	150	139	153	137	133	113	131	133	132	147	1,639
区分3	191	195	225	204	210	173	170	133	155	154	151	181	2,142
区分4	209	198	233	210	220	205	186	133	169	168	175	200	2,306
区分5	19	19	21	19	22	19	20	20	19	19	19	22	238
未申請	144	147	146	144	140	146	174	165	154	173	181	199	1,913
合計	703	690	775	716	745	680	683	564	628	647	658	749	8,238

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
契約解除者数	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
月末契約者数	41	41	41	40	40	39	39	38	39	39	39	40	-1

就労移行支援事業 定員 6名

1. 年間延べ利用人員 1,405 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 96.36 % (目標稼働率 : 100%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	38	35	40	31	39	39	39	32	37	29	36	43	438
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	83	79	86	82	82	82	85	81	71	71	79	86	967
合計	121	114	126	113	121	121	124	113	108	100	115	129	1,405

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
契約解除者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
月末契約者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	+1

若葉園(全事業合計) 定員 40名

1. 年間延べ利用人員 9,643 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 99.21 % (目標稼働率 : 100%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	140	131	150	139	153	137	133	113	131	133	132	147	1,639
区分3	229	230	265	235	249	212	209	165	192	183	187	224	2,580
区分4	209	198	233	210	220	205	186	133	169	168	175	200	2,306
区分5	19	19	21	19	22	19	20	20	19	19	19	22	238
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	227	226	232	226	222	228	259	246	225	244	260	285	2,880
合計	824	804	901	829	866	801	807	677	736	747	773	878	9,643

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	6	11
契約解除者数	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	6
月末契約者数	47	47	47	46	46	45	45	44	45	45	46	47	+5

就労定着支援事業

- 年間延べ利用人員 74 名
- 年間稼働日数 12 日以上
- 年間稼働率 100.00 % (目標稼働率 : 100%)
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	74

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午前	午後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	816,570	789,830	878,925	821,070	855,175	788,925	789,060	663,310	718,355	737,560	762,685	879,425	988,312	10,489,202
1人平均月額	20,938	19,746	22,537	20,527	21,379	20,761	20,232	17,927	18,904	19,934	20,071	23,143	24,708	22,567

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	151,755	143,455	157,245	142,820	150,605	152,310	156,080	143,605	136,595	125,730	144,665	131,895	140,452	1,877,212
1人平均月額	25,293	23,909	26,208	23,803	25,101	25,385	26,013	23,934	22,766	20,955	20,666	18,842	28,090	25,914

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内容	講師(講演者)	参加者
R4.04.25	権利擁護研修	統括施設長	7名
R4.05.24	作業日誌と個人記録の記載方法	サービス管理責任者	8名
R4.07.28	意思決定支援と合理的配慮	管理者・サービス管理責任者	10名
R4.10.27	コンプライアンス研修	統括施設長	5名
R4.12.28	リスクアセスメント・安全教育研修	管理者	10名
R5.02.06	権利擁護・虐待防止研修	統括施設長	14名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.07.21	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市(Web)	職員1名
R4.10.31	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R4.11.14	インボイス制度説明会	佐沼税務署	登米市	職員2名
R4.12.22	サービス管理責任者基礎研修	県社協	仙台市(Web)	職員1名
R5.01.30	登米市障害サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.03.02	刈払機作業従事者安全衛生教育	コマツ教習所	名取市	職員1名
R5.03.13	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	随 時	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随 時	若葉園職員5名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関することを検討	随 時	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	随 時	若葉園職員6名
防 災 委 員 会	消防計画に基づき防災について検討	随 時	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R4.06.30	迫支援学校中学部生徒・教員・家族	事業所見学	33名
R4.07.06	迫支援学校高等部2年生徒・教員・家族	事業所見学	13名
R5.08.01	気仙沼支援学校高等部生徒・教員・家族	事業所見学	4名
R4.08.31	東北大学学生ほか	事業所見学	2名
R4.10.06	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R4.10.25	登米総産高福祉科2年生徒・教員	事業所見学	12名
R5.02.17	利用希望者ほか	事業所見学	2名
計			68名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R4.06.06	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	4名	40名
R4.10.13	迫支援学校高等部(9日間)	産業現場実習	4名	36名
R4.10.19	気仙沼支援学校高等部(10日間)	現場実習	1名	10名
R4.10.24	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
R4.12.12	船岡支援学校高等部(5日間)	現場実習	1名	5名
R5.02.17	気仙沼支援学校高等部(10日間)	現場実習	1名	10名
R5.03.06	宮城県迫桜高校生徒(3日間)	インターン	1名	3名
計			13名	109名

【 今後の取り組み 】

1. 個別支援の充実
 - ・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。
2. 工賃の向上
 - ・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
 - ・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
 - ・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
 - ・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
 - ・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。
3. 就労支援体制のさらなる充実
 - ・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
 - ・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。
4. 虐待防止等
 - ・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。
 - ・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認をくり返します。
5. 新規事業の検討
 - ・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

令和4年度 就労継続支援B型さくらワークス 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年1月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 30 名 |

【 基 本 方 針 】

恵泉会 障害児者支援共通スローガン(令和4年度～令和6年度)

『いっしょに』 ～ あなたによりそう「けいせんかい」 ～

平成30年度からスタートした、障害児者のための「支援ワーキング」も、今年度で5年目を迎えることとなりました。これまで、恵泉会の障害児者支援に関わる全ての事業所、全ての職員が、“恵泉会を利用する利用者様のためのサービスを追求する”ことを目的に取り組み、これからもその想いをつないでいく活動を継続しています。

昨年度は新型コロナウイルスや非常災害、利用者様の権利擁護等の推進を課題として、各種BCP(業務継続計画)やマニュアルの作成、運営規程の見直し等を進めながら、コロナ禍でも「みんながつながる」行事を企画しようと一丸となり、オンラインでのお祭り行事「恵泉会プチフェスティバル2022」を開催しました。

今年度も障害児者支援事業所が共通のスローガンとマスコットのもと、職員全員で同じ目標に向かって、思いやりのある喜ばれる支援の継続を目的に、将来に向けた事業課題や職員としての資質向上のための取り組みを強化しています。

事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令及び恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の基本的な人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指しました。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力してまいりました。

①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えることで、希望する 日中活動を保障するよう努めています。

②利用者の社会的自立を目指しましたが、就労移行、雇用に向けた支援については対象者がありませんでした。

③グループホームの支援と連携しています。

【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)。

生活支援(健康管理、相談支援、余暇支援)を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援している。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めている。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高める。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めている。

①自 立 支 援 … 生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつながられるよう努力している。

②主体性の尊重 … 利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援している。

③就 労 支 援 … 利用者の雇用及び就労移行事業へのステップアップに向けた支援を行っている。

④地域生活の充実 … 地域との連携を強めた活動を展開している。

⑤家 族 支 援 … 利用者自身はもとより、総合的な支援体制を整えるには、家族の協力が大切です。家族の安定が利用者の生活を支える基盤となることから支援に対する理解を深めてもらうため、状況報告や情報提供を細やかに行っています。

1. 受託加工

- | | |
|-------------|------------------|
| ・ 給湯器解体・仕分け | ◇5月いっぱい作業終了している。 |
| ・ グッズ製作 | ◇1月より開始 |

2. 受託事業
 軽作業(除草・草刈等) 56件
 登米市軽度生活援助作業 25件
3. 法人内受託作業
 恵泉会本部 園庭・駐車所除草(5回) パルめぐみ 園庭・駐車所除草(5回)
 萩風園 園庭周囲草刈り(3回) 南寿荘 周辺草刈り(1回)
 光風園 支障木枝打ち、周辺草刈(2回) ゆりの郷 周辺草刈(3回)
 ほんわか 畑耕運(1回)
 こじか 園庭除草、周囲草刈り(3回)
 恵泉会体育館 草刈り(3回)
 若草園 洗濯、園庭及び周辺草刈り(3回) 芝刈り(4回)
 若生園 洗濯、園庭及び周辺草刈り、除草(2回)庭木の剪定(1回)、園庭側溝清掃(1回)
 ◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行く。
4. 法人内販売(微酸性電解水生成・販売)
 恵泉会本部、若生園

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,180 名
 2. 年間稼働日数 243 日
 3. 年間稼働率 84.77 %
 4. 年間平均区分 3.16
 5. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	119	108	119	114	118	113	113	78	99	105	107	123	1,316
区分3	209	198	227	205	208	215	213	134	185	188	186	213	2,381
区分4	214	205	215	195	208	193	198	113	183	187	180	191	2,282
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	542	511	561	514	534	521	524	325	467	480	473	527	5,979
非該当	17	17	19	18	17	17	15	14	14	16	17	20	201
計	17	17	19	18	17	17	15	14	14	16	17	20	201
合計	559	528	580	532	551	538	539	339	481	496	490	547	6,180

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約終了者数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4
月末契約者数	29	29	28	28	28	28	28	28	27	27	26	25	- 4

【 利用者サービスの状況 】

1. 週間予定

曜日	午前	午後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	364,490	336,765	367,775	333,730	348,560	342,980	334,090	209,860	308,065	321,840	316,470	347,280	1,718,214	5,650,119
1人平均月額	12,569	11,613	13,135	11,919	12,449	12,249	11,932	7,495	11,410	11,920	11,721	13,357	66,085	207,853
													1人あたり	17,321

【利用者サービスの向上】

1. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会議名	内容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	グループホーム職員・相談支援担当・サービス管理責任者

2. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
権利擁護委員会	利用者様の権利擁護と、身体拘束や虐待防止について検討	3ヶ月に1回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	随時	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随時	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	随時	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	随時	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R5.03.07	社会福祉法人 恵泉会	職員交換研修	1名	1名
	計		1名	1名

【今後の取り組み】

- 地域生活において重要な就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康・相談援助・職場規律)を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループホームとの連携、家族との相互理解を深めている。
- 個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行く。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付ける。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図っている。

1. 受託加工事業について、(株)リハーツ東北の(給湯器解体作業)を中心に行ってまいりましたが、コロナウィルスの影響で業績が下がり、また、会社の方針と合わなくなってしまったことから5月いっぱい終了となっている。現在新しい作業を開拓中です。
2. 受託事業について、軽作業(一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等)の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、登米市の軽度生活援助事業を法人として受託し、東和地区を限定とした利用者の地域ニーズも加味しながら継続し、さらに岩手県アーク牧場の作業委託を受け(除草・運搬等)1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していく。
3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、南寿荘、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組む。
4. 法人内販売について、微酸性生成電解水を販売しています。法人内施設(恵泉会事務局支援棟1階、若生園)の利用実績と収益に結びつける。コロナウィルスへの効果は期待できないが、他の感染症や衛生処理に効果的であるという実績を持って今後も販売する。

令和4年度 多機能サポートセンターこじか 事業報告

【 施設概要 】

1. 所在地	登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設置主体	登米市
3. 経営主体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日	平成23年 4月 1日 (指定管理開始)
5. 利用定員	指定障害児通所支援事業 ・児童発達支援(未就学児) 10名 ・放課後等デイサービス(就学児) 10名 ・保育所等訪問支援 定員区分なし 指定障害者生活介護事業「レポス」 ・指定生活介護 10名 指定障害児相談支援事業(児童サポートセンター「バンビ」) ・指定障害児相談支援 定員区分なし ・指定特定相談支援(計画相談) 定員区分なし 登米市および石巻市地域生活支援事業 ・障害児日中一時支援事業 20名(障害児通所支援契約者を主とする)

旧こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度から指定管理施設として、質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。その後、登米市や計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びる状況となりました。

そして令和3年3月をもち登米市の指定管理施設から外れ、4月より運営主体が恵泉会へ移行となり、新たに生活介護事業所「レポス」を開設して「多機能サポートセンターこじか」と名称を改めてリニューアルしました。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練や生活介護の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、「恵泉会地域生活支援センター」との合同企画行事である、家族・支援者向けセミナー(通称：ペアレントプログラム)の開催も行いました。

【 重点項目 】

1. ㊦ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

◇モニタリング件数	・・・	児童発達支援	52件	、	放課後等デイサービス	86件
(継続障害児支援利用援助)		保育所等訪問	56件	、	障害児相談支援	61件
◇個別支援計画作成数	・・・	児童発達支援	44件	、	放課後等デイサービス	85件
(障害児支援利用計画)		保育所等訪問	63件	、	障害児相談支援	52件
◇サポート検討(会議)	・・・	児童発達支援	55件	、	放課後等デイサービス	86件
(ケアカンファレンス)		保育所等訪問	13件	、	障害児相談支援	56件
◇職員向けアンケート(運営・サービス・行事分野)・・・	達成度評価(11月実施)					

2. ㊧ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

◇個別活動	・・・	生活訓練, 自立課題, 学習補習, 作業訓練, 機能訓練
◇小集団活動	・・・	粗大運動, 音楽療法, 園芸活動, からだづくり(運動訓練)
◇全体活動	・・・	はじまりの会, かえりの会, リズム活動, 各種行事
◇自主研修	・・・	実施回数 10回, 参加児童 63名

3. ③ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー（こじ豆）の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場（通称：こじカフェ）を設定し、定期開催させていただきました。

- ◇参加交流行事・・・療育参観、親子遠足など
実施回数…10回（家族等参加延べ人数 150名）
- ◇こじカフェ・・・実施回数…9回 営業日に実施（延べ44名利用）
- ◇家族・訪問先アンケート（運営・サービス・行事分野）…12月（家族）、2月（訪問先）実施、満足度評価

【 利 用 状 況 】

≪ 多機能型事業, 障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員 6,693 名 (多機能型事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス+生活介護
2. 年間稼働日数 242 日 (児童発達支援)
254 日 (放課後等デイサービス)
242 日 (保育所等訪問支援)
242 日 (障害児相談支援/バンビ)
308 日 (生活介護/レボス)
3. 年間稼働率 103.10 % (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス
(90.17) % (児童発達支援) 定員 10 名
(115.43) % (放課後等デイサービス) 定員 10 名
15.9 件 (保育所等訪問支援 月平均訪問件数)
9.6 件 (障害児相談支援/バンビ 月平均提出件数)
0.6 件 (障害児相談支援/バンビ 月平均提出件数)
(51.27) % (生活介護/レボス) 定員 10 名

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	171	183	207	193	160	175	161	148	166	189	184	245	2,182
放課後等デイサービス	241	256	257	237	232	249	207	242	239	238	240	294	2,932
保育所等訪問支援	8	12	20	15	6	17	19	18	17	21	17	21	191
障害児相談支援	10	13	13	11	10	4	11	9	9	6	8	11	115
障害者相談支援	2	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	7
生活介護	109	117	119	124	144	139	137	135	134	132	135	154	1,579
計	541	581	617	580	552	586	535	552	565	587	585	725	7,006

5. 契約の状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (児童発達支援)	18	3	1					1			1	1	1	26
契約者数 (放課後等デイ)	45	2											3	50
契約者数 (保育所等訪問)	22	2	2		1		1	2				1	1	32
契約者数 (レボス)	11					1				1			4	17
契約者数 (相談支援)	53												6	59
契約終了者数 (児童発達支援)													6	6
契約終了者数 (放課後等デイ)			1										2	3
契約終了者数 (保育所等訪問)							1				1	1		3
契約終了者数 (レボス)						1							1	2
契約終了者数 (相談支援)					1						1	1		3
月末契約者数	149	156	158	158	158	158	158	161	161	162	161	161	167	167

【サービスの状況】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.4.15	お花見外出	長沼フートピア公園へ行き、散策等しながら春の季節を楽しみます。(※悪天候により、お花見ドライブがメインとなりました。)	児童 6名 職員 2名
R4.5.13	療育説明会 保護者向け研修会	今年度の児童発達支援事業について療育・サービスの説明を行って共通理解を図り、保護者が就学に向けて見通しを持ち、準備を進められるようにしました。	児童家族 15名 職員 6名
R4.6.3 R4.6.17	親子遠足	うみの杜水族館にていろいろな体験をしながら、みんなで楽しく過ごしました。また保護者と職員で交流を図り、共に外出時の児童支援について考えることで、様々な社会体験へのきっかけ作りにもなりました。	家族 30名 児童 20名 職員 9名
R4.7.7	七夕会	七夕飾りの製作や行事について、紙芝居や短冊作り、職員によるコンサート(余興)を通して、七夕の雰囲気味わいながら楽しく参加していました。	児童 9名 職員 6名
R4.9.1 R4.9.2	夏祭り ※療育活動内で実施する。	地域の幼稚園や保育所で経験するような「お祭り」行事を体験させたいという保護者の希望を汲み取り、2日間企画したが、コロナ蔓延の兆候が見られたため、親子参加については中止としている。その代わりとし療育活動の中で、ゲームコーナーなど職員で行ってお祭り体験をしてもらい、夏祭り記念品(お土産)だけ渡しました。	家族 0名 児童 18名 職員 13名
R4.11/25,29,30	療育参観	利用児童のご家族に児童の園での様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図る。またこじかでの療育について理解を深めてもらいました。	児童 19名 家族 17名 職員 13名
R4.12.12	第3回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同で実施したWEB方式での「恵泉会フェスティバル」に参加、普段の活動状況など映像で紹介しました。(ホール)	児童 6名 職員 10名
R4.12.16	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けや、サンタからプレゼントをもらいクリスマスの雰囲気を味わいました。	児童 6名 職員 6名
R5.02.03	豆まき会	節分の由来や歌に触れる。各自製作した鬼のお面をかぶり鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児童 12名 職員 8名
R5.03.03	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行う。また職員の余興で利用児に喜んでもらいました。	児童 7名 職員 6名
R5.03.04	卒園セレモニー	1年間のまとめの行事として実施。思い出DVDの上映、記念品の贈呈、学習成果の発表をしました。(感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催)	児童 5名 職員 10名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.5.3	社会研修① (シャークミュージアム/氷の水族館)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児童 4名 職員 3名
R4.7.7	七夕会	七夕の行事に関心を持ち、七夕にちなんだ紙芝居や飾りをみて楽しみました。	児童 11名 職員 7名
R4.7.18	社会研修② (石ノ森漫画館)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児童 3名 職員 2名
R4.7.26	社会研修③ (※コロナ感染増加のため、市内ドライブへ)	〃	児童 4名 職員 3名
R4.7.29	社会研修④ (※コロナ感染増加のため、市内ドライブへ)	〃	児童 4名 職員 3名
R4.8.9	社会研修⑤ (※コロナ感染増加のため、市内ドライブへ)	〃	児童 2名 職員 2名
R4.8.11	社会研修⑥ (※コロナ感染増加のため、市内ドライブへ)	〃	児童 3名 職員 2名
R4.9.19	社会研修⑦ (気仙沼市シャークミュージアム、氷の水族館)	〃	児童 4名 職員 2名
R4.9.23	社会研修⑧ (栗原市くり電ミュージアム)	〃	児童 5名 職員 2名
R4.11.14	りんご収穫体験 (上沼 千葉りんご農園)	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、友達と一緒に喜びを共有しました。	児童 9名 職員 6名
R4.12.23	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けをいっしょに行い、DVDを上映して1年間の振り返りを行う。またレポス利用者とも合同で行事を実施しました。	児童 12名 職員 7名
R5.02.03	豆まき会	豆まきの意味や由来について、紙芝居を用いて学ぶ時間を作り、鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児童 11名 職員 8名

R5.03.03	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行いました。	児童 15名 職員 6名
R5.03.23	卒園生を送る会	1年間のまとめの行事として実施。思い出DVDの上映、記念品の贈呈、学習成果の発表をしました。(感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催)	児童 14名 職員 10名

③ レポス

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.4.18	お花見外出	平筒沼ふれあい公園へ行き、散策等しながら春の季節を楽しみました。(※お客様が多数だった為、お花見ドライブがメインとなりました。)	利用者 6名 職員 4名
R4.7.12	アイス外出	東和町「森の茶や」へ行きアイスを食べ、三滝堂公園を散策等しながら夏の季節を楽しみました。	利用者 5名 職員 3名
R4.12.12	第3回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同で実施したWEB方式での「恵泉会フェスティバル」に参加、普段の活動状況など映像で紹介しました。(ホール)	利用者 9名 職員 2名
R4.12.23	クリスマス会	活動時にクリスマスツリーを松ぼっくりで作成、行事は放デイ利用児といっしょに、DVDを上映して1年間の振り返りを行いました。	利用者 7名 職員 3名
R4.12.27	社会研修 (石ノ森章太郎記念館)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	利用者 6名 職員 3名
R5.01.09	初詣外出	中田町上沼「八幡神社」へ行き、境内周辺を散策しながら、1年の無病息災などを願い、初詣しました。	利用者 5名 職員 3名
R5.02.03	豆まき会	豆まきの意味や由来について、紙芝居を用いて学ぶ時間を作り、鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を楽しみました。	利用者 5名 職員 3名
R5.03.03	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行う。	利用者 7名 職員 3名

【その他の児童サービス】

《 登米市日中一時支援事業 》

1. 年間延べ利用人員 1,526 名
2. 年間稼働日数 305 日
3. 年間稼働率 25.02 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
日 中 一 時	4時間未満	117	50	32	125	218	78	65	74	87	112	68	186	1,212
	4～6時間	3	3	1	0	2	6	4	7	2	8	0	8	44
	6～8時間	25	22	21	28	21	24	23	12	19	18	20	18	251
	8時間以上	0	1	1	0	1	3	1	3	2	2	3	2	19
	送迎	71	39	30	68	118	35	35	26	41	47	28	88	626
合 計(送迎含まず)	145	76	55	153	242	111	93	96	110	140	91	214	1,526	

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修(こじか主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.20	コンプライアンス研修	施設長	こじか職員 13名
R4.05.31	こじかペアレント・プログラム① 職員向け	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.06.07	こじかペアレント・プログラム② //	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.06.14	こじかペアレント・プログラム③ //	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.06.21	こじかペアレント・プログラム④ //	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.06.28	こじかペアレント・プログラム⑤ //	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.07.05	こじかペアレント・プログラム⑥ //	地域生活支援C職員、こじか職員	こじか職員 3名
R4.09.13	こじかペアレント・プログラム① 保護者向け	地域生活支援C職員、こじか職員	保護者等 2名
R4.10.25	こじかペアレント・プログラム② //	地域生活支援C職員、こじか職員	保護者等 2名
R4.11.01	こじかペアレント・プログラム③ //	地域生活支援C職員、こじか職員	保護者等 3名
R4.11.15	こじかペアレント・プログラム④ //	地域生活支援C職員、こじか職員	保護者等 3名
R4.12.01	こじかペアレント・プログラム⑤ //	地域生活支援C職員、こじか職員	保護者等 1名
R4.12.20	虐待防止について	施設長	こじか職員 6名
R4.12.27	虐待防止について	施設長	こじか職員 15名
R5.01.17	交通安全ルール理解度について	施設長	こじか職員 16名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.4.15	障害福祉サービス部門権利擁護研修	統括施設長	職員2名
R4.4.22	人事考課研修	常務理事、他	職員1名
R4.8.3	恵泉会職員 新任職員研修	理事長、他	職員1名
R4.09.26	第43回 恵泉会職員研修大会(web)		職員19名
R4.11/14・18	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長、他	職員4名
R4.12.08	恵泉会経営・管理職研修	理事長、他	職員1名

(3) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.5.19	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員2名
R4.9.7	第2回 職場の業務改善支援セミナー	宮城県保健福祉部	WEB方式	職員1名
R4.10.07	第20回 療育支援研修会	宮城県立こども病院	WEB方式	職員1名
R4.10.25	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R4.11.04	障がい福祉支援者サポート事業		WEB方式	職員1名
R4.11.07	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R4.11.22	感染症予防WEB研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R4.11/30,12/12,22	宮城県児童発達支援管理責任者等基礎研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R5.01.19	精神障害者地域移行支援事業関係者研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.01.30	登米市障害福祉従事者等人材育成研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R5.01.31	北海道・東北ブロック障害者相談支援事業研修宮城県大会	宮城・仙台障害者相談支援従事者協会	WEB方式	職員1名
R5.02.06	発達障害児家族支援研修会	宮城県保健福祉部	登米市	職員1名
R5.2/15,16	宮城県社会福祉施設職員新任研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R5.02.20	宮城県ペアレントプログラムスキルアップ研修及び取り組み報告会	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R5.02.20	宮城県ペアレントプログラムアドバンス研修		名取市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	月間予定、事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	随時	全職員対象

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
年 7 回	相談支援事業者 事例検討会	南方支所	相談支援専門員
R4.05.13	南方保育所 連携会議	迫保健センター	児発管,担当職員
R4.05.27	北上こども園 連携会議	北上こども園	児発管
R4.06.29	北上こども園 連携会議	北上こども園	児発管
R4.07.15	迫支援学校 連携会議(館山先生、菊地先生 来所)	こじか	児発管,担当職員
R4.07.28	豊里小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
R4.09.06	虹いろこども園 連携会議	虹いろこども園	児発管
R4.12.09	北上こども園 連携会議	北上こども園	児発管
R5.02.09	中田中学校区連絡会	加賀野小学校	児発管,担当職員
R5.02.17	虹いろこども園 連携会議	虹いろこども園	児発管
R5.03.02	南方保育所 連携会議	迫保健センター	児発管,担当職員
随 時	新田中学校 連携会議	新田中学校	児発管,担当職員
随 時	中田保育所 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	石越小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	米岡小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	浅水小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	上沼小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	佐沼小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	東郷小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	加賀野小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	南方小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員
随 時	西郷小学校 連携会議	こじか 他	児発管,担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, サービス提供時におけるリスクの評価・検討	年12回	管理者, 委員, 関係職員
サービス向上・研修委員会	施設サービス向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	随時	管理者, 委員, 関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年11回	管理者, 委員, 関係職員
虐待防止委員会	身体拘束に関する廃止の取り組み、人権侵害や虐待等の予防対策の検討、検証	年3回	管理者, 委員, 関係職員

(2) その他の委員会

- 障害児者支援ワーキング部会
- 事務部会
- 看護師部会
- 栄養士部会
- 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R4.04.06	迫支援学校教諭(高橋氏)	施設見学	1名
R4.04.25	迫支援学校教諭(安藤氏)	実習打合せ	1名
R4.05.12	仙台白百合女子大学教授(八木氏)	実習生巡回指導	1名
R4.05.13	迫支援学校教諭(高橋氏)	療育説明会参加(講話講師)	1名
R4.05.24	迫支援学校教諭(佐々木氏、村上氏)	実習打合せ	2名
R4.05.26	相談支援事業所ふきのとう(行本氏)	レボス利用者様子伺い	1名
R4.06.01	仙台青葉学院大学教授(鈴木氏)	実習生巡回指導	1名
R4.06.06	迫支援学校教諭(佐々木氏、河野氏)	レボス実習生巡回指導	2名
R4.06.07	迫支援学校校長(佐藤氏)	レボス実習生巡回指導	1名
R4.06.08	迫支援学校教諭(河野氏)	レボス実習生巡回指導	1名
R4.06.10	「中田幼稚園」先生方(高橋氏、千葉氏)	利用児童様子見学	2名
R4.06.10	アウトリーチ事業関係者	ハンドベル披露打合せ	3名
R4.06.13	小山田保育士	施設視察	1名
R4.06.13	迫支援学校教諭(村上氏)	レボス実習生巡回指導	1名
R4.06.14	尚綱学院大学教授(小松氏)	実習生巡回指導	1名
R4.06.22~24	さくらワークス	園庭除草作業	6名
R4.06.21	星保健師	利用児童様子見学	1名
R4.06.23	相談支援事業所ふきのとう(行本氏)	レボス利用者様子伺い	1名
R4.06.27	迫支援学校教諭(安藤氏)	レボス実習生巡回指導	1名
R4.07.20	菅原保健師	利用児童様子見学	1名
R4.07.26	豊里こども園(佐々木氏)	児童情報共有	1名
R4.07.28	宮内保健師、児童施設希望のご家族	児童情報共有	3名
R4.08.01	相談支援事業所ふきのとう(行本氏)	レボス利用者様子伺い	1名
R4.08.03	迫支援学校教諭	情報交換会	4名
R4.08.04	迫支援学校教諭	情報交換会	4名
R4.08.23	レボス希望利用者の母親	施設見学	1名
R4.08.23~26	さくらワークス	園庭除草作業	6名
R4.09.01	レボス希望利用者の母親	施設見学	1名
R4.09.05	レボス希望利用者の義姉、担当保健師(佐藤氏)	施設見学	2名
R4.09.06	視覚支援学校	利用児童様子見学	2名
R4.09.06	石越にじいろこども園職員	利用児童様子見学	1名
R4.09.07	聖和短期大学教授(宮本氏)	実習生巡回指導	1名
R4.09.08	事業所「ゆめや」職員(遠藤氏、他2名)	施設見学	3名
R4.09.09	迫支援学校教諭(安藤氏)	実習打合せ	1名

R4.09.23	ハンドベル出演者	アウトリーチ「フローラルベルリンガー」コンサート	14名
R4.09.22~24	さくらワークス	園庭除草作業	1名
R4.09.29	迫支援学校教諭(村上氏)	実習打合せ	1名
R4.09.30	迫支援学校教諭(佐々木氏)	実習打合せ	1名
R4.10.05	仙台法務局登米支局長(工藤氏、他)	研修打ち合わせ	2名
R4.10.05	登米人権擁護委員(林氏、堀田氏)	研修打ち合わせ	2名
R4.10.13	迫支援学校教諭(河野氏)	レポス実習生巡回指導	1名
R4.10.14	迫支援学校教諭(河野氏)	レポス実習生巡回指導	1名
R4.10.17	迫支援学校教諭(岩淵氏)	レポス実習生巡回指導	1名
R4.10.24	安達保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R4.10.27	登米人権擁護委員(林氏、堀田氏)	研修打ち合わせ	2名
R4.11.04	迫支援学校教諭(安藤氏)	今後の実習調整	1名
R4.11.28	J商事(パーリ遊ボランティア事業)	菓子箱贈呈	2名
R4.12.08	児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R4.12.13	佐藤保健師、レポス利用希望者、ご家族	施設見学	3名
R4.12.14	児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R4.12.15	シェアワークスくりはら	お歳暮鉢花贈呈	1名
R4.12.20	西郷小コーディネーター	情報交換会	1名
R4.12.21	児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R4.12.27	熊谷保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	4名
R5.01.13	河野保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R5.01.16	長嶋保健師	利用児童様子見学	1名
R5.01.24	阿部保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R5.02.02	さくらワークス	倉庫内廃棄物回収作業	2名
R5.02.02	J商事(パーリ遊ボランティア事業)	お菓子、ジュース等贈呈	2名
R5.02.03	さくらワークス	倉庫内廃棄物回収作業	2名
R5.02.10	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R5.02.14	社協中田渥美支所長、他(後藤氏)	まろにえの会交流イベント	2名
R5.02.14	パチンコ「ダイナム」店スタッフ	まろにえの会交流イベント	2名
R5.02.20	事業所「ジャンプ」関氏	利用児童様子見学	1名
R5.02.21	イオンカーブス佐沼店(もらい受けに赴く)	フードドライブ贈呈	2名
R5.02.21	迫支援学校教諭(石井氏)	利用児童様子見学	1名
R5.03.08	河野保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R5.03.24	菅原保健師	利用児童様子見学	1名
計			134名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R4.05.09	仙台白百合女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R4.05.23	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R4.06.06	尚綱学院大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R4.06.06	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(10日間) 生活介護体験	3名	13名
R4.08.15	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R4.08.15	仙台大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R4.08.29	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R4.09.12	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R4.09.26	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R5.02.06	石巻専修大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
計			16名	143名

【今後の取り組み】

1. 【令和5年度に向けて】

◎児童発達支援センターとしてこれまで通り『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、将来に向けた生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練の実践し、『医療的ケア児』の受け入れにも適切かつ安全に対応できるよう体制を整えます。更に今年度は中核的な療育支援拠点として、切れ目のない継続的な相談・支援(保育所等訪問他)の提供、障害児サービス事業所とのネットワークづくりと機能強化支援として研修事業等、関係機関と連携していきます。

◎生活介護事業所「レポス」では、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の声を受け止めながら、身体面・精神面・環境面等の状態に配慮し、個別支援計画に基づいて、生き活きたとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会的・対外的活動を多く取り入れ、利用者が主体的に生きる支援による生活の質の向上を目指します。

以上をふまえ、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う、多機能サポートセンターとして更なる発展を目指していきます。

2. 【児童発達支援センターとしての役割】

- ◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
- ◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
 - ① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
 - ② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言

3. 【施設機能の解放】

- ・保育士養成に係る現場実習の受入（令5年度受入予定…13名）
- ・学生の職場体験やキャリア教育、ボランティア受け入れに関する協力
- ・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
- ・「こじカフェ」の設置
保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催する
- ・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー(こじ豆)の実施
- ・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

令和4年度 南方保育所 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市南方町山成前1074-2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 昭和53年 4月 1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 70名 |

新型コロナウイルス感染症が流行してから今年で3年となり新しい生活様式に添いながら、感染対策に努めて参りました。日々、保育が継続できるように利用児童はもちろんの事そのご家族様の健康状態もしっかりと把握を行い、感染症拡大防止に努めました。感染症は日々変化をしていくので、市内の動向や社会の現状を把握し、職員や利用者ご家族様と共通理解をしながら保育を行う事ができました。

社会では、保育士の虐待が大きなニュースとして取り上げられており、当保育所では研修委員会が中心となって内部研修を実施し、自分たちの保育を振り返りながら話し合いの場を設ける事ができた事は職員の専門性の向上に繋がりました。また、これを今後も継続していく事で職員としっかりと共通理解しながら保育を行っていきたいと考えています。

今後も子ども達一人ひとりに寄り添いながら、その子に応じた保育を行い、子ども達にとって温かな、安心できる環境となれるように取り組んで参ります。

また、来年度は恵泉会50周年の記念すべき年です。今まで以上に地域福祉に根ざした保育が行えるように職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

【 重 点 項 目 】

1. 一人ひとりの発達状態を職員全員でしっかりと把握し、個別に対応する事ができました。子どもたちとの関わり方や安心して過ごせるような環境設定を行う事ができました。
2. 子どもたち一人ひとりが安心して過ごせるように子どものありのままの姿を受け止め、保育を進める事ができました。また、支援が必要な子には専門機関に相談しながら保護者様と情報共有し、その子にとってどの様な支援が必要なのかを考えて保育にあたる事ができました。
3. 保護者様とのコミュニケーションを大切にしながら、日々しっかりと連携を図り、子育てについていつでも相談を受けられるように対応しました。
4. コロナ禍ではありましたが、できるだけ外部研修に参加し、それを内部研修として実施する事で職員で共通理解を図り職員の資質向上に努める事ができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 15,957 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	54	75	92	110	91	100	97	105	98	113	127	118	1,180
1歳児	197	195	239	223	193	189	204	169	170	196	178	203	2,356
2歳児	230	211	248	231	205	198	188	169	159	201	180	218	2,438
3歳児	294	279	311	287	255	273	278	228	200	270	271	302	3,248
4歳児	323	293	354	317	274	249	268	277	196	276	290	320	3,437
5歳児	309	276	325	297	255	283	278	250	182	261	263	319	3,298
計	1,407	1,329	1,569	1,465	1,273	1,292	1,313	1,198	1,005	1,317	1,309	1,480	15,957

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	72	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	78
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	72	72	76	76	76	76	76	76	76	77	78	78	78

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R4.06.20～ R4.06.24	クラス別保育参観	感染症拡大防止の為、クラス別に保育参観を実施し、普段の保育所生活の様子を保護者様に見ていただいた	利用者	71名
			職員	18名
R4.06.28	翔裕園交流会	感染症拡大防止の為、リモートにて交流会を実施した。歌や踊りを披露し、リモートにてじゃんけん大会を楽しんだ	利用者	30名
			職員	6名
R4.06.29	食育について(三色食品群と食中毒について)	栄養士により栄養素について色分けされた絵を見ながらご指導いただく。また、手洗いの仕方や食中毒について学んだ	利用者	30名
			職員	4名
R4.07.29	おまつりごっこ	クラス毎に感染対策をしながら手作りのお店屋さんめぐりをし、おまつりごっこを楽しんだ	利用者	69名
			職員	17名
R4.09.28～ R4.09.30	運動会	感染症対策のため、3日間、2クラスずつ運動会を東郷公民館にて行った。保護者様は1家族1名参加いただき実施した	利用者	76名
			職員	17名
R4.09.15	敬老の日プレゼント配布	近隣の老人施設へ敬老の日にちなみ子どもたちの手作りプレゼントを配布した	利用者	0名
			職員	2名
R4.10.13	翔裕園交流会	翔裕園のお庭にて4・5歳児の子ども達がお遊戯を披露し、交流を図った	利用者	20名
			職員	4名
R4.10.18	クッキング(おにぎり)	感染対策を行い、栄養士の指導のもと自分で食べるおにぎり作りを行った	利用者	29名
			職員	4名
R4.11.04	西郷フェスティバル	西郷・東郷・中津山小学校進学児が西郷小学校の子ども達と触れ合いを持ち、小学校に期待感を持つように働きかけた	利用者	4名
			職員	2名
R4.11.21	保幼小交流会	南方小学校進学児が南方小学校の子ども達と触れ合いを持ち、小学校に期待感を持つように働きかけた	利用者	7名
			職員	2名
R5.01.18	登米産業高校様より椅子のプレゼントをいただく	授業で作った椅子を3脚いただく 保育所からも手作りプレゼントを渡し、交流を図った	利用者	14名
			職員	2名
R5.01.20	お遊戯会	3部構成でお遊戯会を実施 練習の成果を発揮しご家族様の前で堂々と発表する事ができた	利用者	75名
			職員	18名
R5.02.14	クッキング(チョコカップケーキ)	バレンタインデーにちなみチョコカップケーキに飾り付けし、午後のおやつで自分で作った物を食べた	利用者	29名
			職員	4名
R5.02.14	光風園様よりバレンタインプレゼントをいただく	コロナ禍であった為、職員がプレゼントを持参し、子ども達に手渡ししていただいた。保育所からも手作りプレゼントを渡し、交流を図った	利用者	14名
			職員	2名
R5.02.24	クッキング(クレープ)	午後のおやつ時、自分で食べるクレープにトッピングをし、おいしく食べる事ができた	利用者	14名
			職員	2名
R5.03.16	修了式・お別れ会	修了児をお祝いし、手作りのプレゼントを渡したり、パネルシアターを見たり楽しい時間を過ごした	利用者	59名
			職員	12名
R5.03.25	修了式	令和4年度修了児のお祝いの会を行った	利用者	15名
			職員	18名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.06.13～14	コンプライアンス研修	施設長	保育士 14名
R4.06.21	救命救急研修	登米市消防署西出張所	保育士 13名
R4.10.07	プライバシー、個人情報保護研修	施設長	保育士 6名
R5.01.25	人権擁護・虐待予防研修	仙台法務局登米支局	保育士 8名
R5.01.31	人権擁護のためのセルフチェックリスト	研修委員	全職員
R5.02.22	感染予防研修	登米市民病院	保育士 14名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.05.17	令和4年度保育所所長部会研修	宮城県保育協議会	オンライン	職員1名
R4.05.20	第1回保幼小連絡会(情報交換)	西郷小学校	西郷小学校	職員1名
R4.05.25	令和4年度登米地方保育所協議会総会	登米地方保育所協議会	登米市	職員2名
R4.06.03	特別支援教育研修会	登米市	登米市	職員1名
R4.06.03	第1回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R4.05.26~27	甲種防火管理新規講習	(一財)日本防火・防災協会	登米市	職員1名
R4.06.30	令和4年度第1回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R4.10.12	登米市議会教育民生常任委員会と登米地方保育所協議会との意見交換会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R4.10.18	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R4.10.18	中堅保育士研修	宮城県保育協議会	オンライン	職員1名
R4.10.20	登米地方保育所協議会1.2歳児部会	登米市	登米市	職員1名
R4.10.21	第2回保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R4.11.09	安全運転管理者等法定講習	宮城県公安委員会	利府町	職員1名
R4.11.14	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R4.11.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R4.11.18	保育施設トップセミナー	宮城県保育協議会	オンライン	職員1名
R4.11.18	令和4年度第2回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R4.11.21	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R4.11.30	令和4年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R5.01.25	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.01.26	第2回所長部会研修会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.02.07	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.02.08	登米市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	登米市	登米市	職員1名
R5.02.09	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.02.15	登米地方保育所協議会1.2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.02.17	令和4年度第3回役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R5.03.17	瀬峰保育所・幼稚園見学	自主研修	栗原市	職員2名
R5.03.23	白鳥水の里こども園見学	自主研修	登米市	職員2名
R5.03.28	食と森のこども園見学	自主研修	美里町	職員2名
R5.03.29	認定こども園りのくまさん見学	自主研修	登米市	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、保育士、委託業者

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
随 時	地域交流委員会、研修委員会	事務室	委員他
随 時	サービス向上委員会	事務室	委員他
随 時	事業計画検討委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R4.10.12~13	南方中学校	職場体験	4名
R4.10.25~27	登米総合産業高校	職場体験	5名

2. 実習受入状況

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R4.05.23～05.27	仙台こども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	5名
R4.06.20	仙台こども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	1名
R4.06.27～06.30	仙台こども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	4名
R4.07.01～07.02	仙台こども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	2名
R4.07.04～07.15	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R4.07.19～07.23	仙台こども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	5名
R4.07.25～08.12	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
R4.08.08～08.10	仙台こども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	3名
R4.08.15～08.26	東北福祉大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R4.08.29～09.09	東北福祉大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			10名	60名

【今後の取り組み】

(1) 子どもの最善の利益を考慮

子ども一人ひとりにとって何が大切なのか、どのような支援が必要なのかを最優先に考えた生活の場を提供します。

(2) 養護と教育を一体的に行う

家庭と緊密な連携を取り、子どもの命を守りながら、情緒の安定を図り(養護)、発達を促す活動の援助(教育)を行います。

(3) 保護者と地域の子育て家庭に対する支援

保護者様や地域の子育て家庭に対して支援を行います。

(4) 保育士の専門性の向上

計画的に研修会に参加し、職員の資質向上に努めます。

(5) 児童及び児童に関わる人々の健康管理の徹底

健康管理を徹底する事により、感染症のリスクを下げ、安心安全な環境で保育を行います。また、新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、他の感染症同様に福祉事業所として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。

令和4年度 事業所内保育所キッズつぼみ 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成28年 4月 1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 19名 |

【 基 本 方 針 】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

【 重 点 項 目 】

- (1) 子育て、子育ての拠点として:新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、地域の方々に園を開放する事はできなかった。感染症の流行に伴い、保健所の指導を受けながら感染症予防対策に努め、保護者様と連携を密にし、早早期発見・早期治療を呼びかける事を継続して行った。
- (2) 地域ニーズ:登米市の動向を視野に入れながら、保護者様のニーズを把握する様に努めた。
- (3) 保護者との連携:個々に応じた保育を行いながら、保護者様とお子様の成長を喜び合い、共に子育てを楽しめる保育に努めた。
- (4) 社会的使命感:事業所内保育所として法人で働く職員が安心してお子さんを預け、働くことができるように努めた。地域の方々には、保育所をご利用していただけるように今後も保育所のPRを継続して行っていく。
- (5) 研修:内部研修に重点をおき、職員の知識向上に努めた。
- (6) 連携:登米市子育て支援課、登米保健所、嘱託医との連携を図り、保護者様に状況をしっかりと周知しながら感染症拡大防止に努めた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 3,848 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	22	23	50	50	60	73	82	94	98	122	122	139	935
1歳児	96	62	104	96	75	91	102	94	95	95	94	106	1,110
2歳児	164	98	138	152	136	151	165	162	137	133	174	193	1,803
計	282	183	292	298	271	315	349	350	330	350	390	438	3,848

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	14	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	21
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	14	15	16	17	18	18	19	19	20	21	21	21	21

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4. 4. 18	ピクニック	季節を感じながら、芝生広場で、開放的に楽しく昼食を食べた。	利用者 13名 職員 8名
R4. 4. 19	クッキング(ハンバーガー)	自分たちで作る楽しさを、お友達と共有しながら行った。	利用者 13名 職員 8名
R4. 5. 26	お楽しみ会(シールラリー)	散歩しながら色々な物を見つけて、カードにシールを貼りながら楽しんだ。	利用者 13名 職員 7名
R4. 6. 1	いちご収穫体験(地域交流)	地域の方のいちご畑をお借りして地域交流をしながら季節の作物に触れて楽しんだ。	利用者 10名 職員 4名
R4. 6. 3	お楽しみ会(歯磨き教室)	むし歯予防デーにちなみ、歯磨きに関するペープサートを見せ、歯磨きの大切さを分かりやすく子どもたちに伝えた。	利用者 23名 職員 9名
R4. 6. 17	クッキング(おにぎり)	自分たちで作る楽しさを、お友達と共有しながら行った。	利用者 7名 職員 3名
R4. 7. 7	七夕会	笹竹に七夕飾りをつけ玄関先に飾った。また、子ども達に分かりやすく七夕の由来の人形劇を見せ、日本伝統行事を伝えた。	利用者 15名 職員 7名
R4. 7. 19	クッキング(トウモロコシの皮むき)	自分で剥く事のできた喜びや、達成感を味わった。また、季節の食材に触れて楽しんだ。	利用者 11名 職員 2名
R4. 8. 19	クッキング(ちぎりサラダ)	旬の食材を使用し、野菜クイズなどを行い、それぞれ自分でちぎった野菜にドレッシングをかけて食べた。	利用者 8名 職員 2名
R4. 8. 26	夏祭り	手作りお神輿担ぎや、踊り、屋台ゲームなどを行った。また、遠山荘の利用者の方々に見て頂き、拍手で応援して頂いた。	利用者 18名 職員 8名
R4. 9. 16	クッキング(ジャカジャカポテト)	切って揚げたジャガイモをビニール袋に入れ、塩を入れて各自振って、フライドポテトにして食べた。	利用者 14名 職員 4名
R4. 10. 7	運動会	保護者と一緒に運動会に参加した。丈夫な体と豊かな心を育てると共に、最後まで頑張る気持ちを育てた。	利用者 18名 職員 9名
R4. 10. 19	クッキング(ツナサンド)	それぞれ食パンにツナを乗せて、パンで挟み自分で作ったサンドイッチを食べた。小食な子ども喜んで完食した。	利用者 12名 職員 3名
R4. 10. 31	お楽しみ会(ハロウィン)	ハロウィンの由来に触れ、それに因んだバックの制作をみんなで行った。また、お化けのマジックシアターを見て楽しんだ。	利用者 17名 職員 8名
R4. 11. 15	お楽しみ会(七五三)	七五三の由来に触れ、千歳飴の制作や、写真撮影をして楽しんだ。	利用者 19名 職員 8名
R4. 11. 18	クッキング(おにぎり)	手洗い・消毒を徹底し、自分で作ったおにぎりをおいしく食べる体験をした。	利用者 14名 職員 4名
R4. 11. 22	登米警察署訪問	勤労感謝の日を意識し、お世話になっている警察の方々にプレゼントを渡した。パトロールカーに乗ったりマイクで声をだしたりと体験した。	利用者 8名 職員 3名
R4. 12. 2	お遊戯会	登米公民館での実施は初めてだったが、感染症対策で広々とできた。どの子ども笑顔で遊戯披露ができた。	利用者 19名 職員 8名
R4. 12. 23	クッキング(ポテトサラダ・ホットドッグ)	クッキングを楽しみ、食への関心を持たせ、食べる事への意欲に繋がった。	利用者 14名 職員 4名
R4. 12. 26	お楽しみ会(クリスマス)	クリスマスの歌やプレゼント、宝探しゲームなどをみんなで楽しんだ。	利用者 18名 職員 6名
R5. 1. 6	お楽しみ会(お正月)	かるた取りや、こま回しなどの伝承遊びを行い、楽しんだ。	利用者 19名 職員 9名
R5. 2. 3	お楽しみ会(豆まき)	豆に見立てたボールでゲームをしたり、クラス毎に制作した鬼の面を付けたりと、節分の雰囲気味わった。	利用者 20名 職員 8名
R5. 2. 17	クッキング(デコプリン)	自分でデコレーションし、食材に触れることで食への興味、関心を高めた。	利用者 14名 職員 4名
R5. 3. 3	ひなまつり会	ひな祭りの由来を知り、ひなあられに見立てたボールでそれぞれの年齢に合ったゲームを楽しんだ。	利用者 18名 職員 7名
R5. 3. 17	クッキング(サンドイッチ・ジャカジャカポテト)	9月にも行った内容なので、子供達は手順を理解し、楽しんでスムーズに行えた。	利用者 7名 職員 2名
R5. 3. 24	大きくなったね会	一年間の子供達の成長を保護者と一緒に振り返りながら、ゲームや親子制作を行い、楽しく過ごした。	利用者 20名 職員 9名

*この他、該当月にお誕生会を実施する。

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4. 4. 8	新任職員研修	管理者	保育士 7名
R4. 4. 14	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士 3名
R4. 4. 15	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士 4名
R4. 4. 22	感染症発生時の方法・手段について	保育士	管理者 保育士 2名
R4. 4. 28	消防設備取り扱い研修	栄養士	管理者 保育士 6名
R4. 6. 24	食中毒予防	栄養士	管理者 保育士3名
R4. 6. 29	水遊びの安全性と危険性について	保育士	管理者 保育士2名
R4. 10. 14	子供の感染症・対策について	遠山荘 看護師	管理者 保育士4名
R4. 11. 2	アレルギー疾患・慢性疾患	保育士	管理者 保育士4名
R4. 11. 9	運動遊びと子供の健康について	保育士	管理者 保育士3名
R4. 11. 9	遊びの土台作りと指導者の役割について	保育士	管理者 保育士3名
R4. 11. 24	気になる子への対応について	理学療法士・言語聴覚士	管理者 保育士4名
R5. 1. 4	人権侵害	管理者	保育士 6名
R5. 1. 11	様式検討について	管理者	保育士 5名
R5. 2. 27	児童行動観察訪問	理学療法士・言語聴覚士 保健師	管理者 保育士2名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4. 6. 3	特別支援コーディネーター	登米市	登米市	職員1名
R4. 6. 3	感染症対策研修会	登米市	登米市	職員1名
R4. 6. 27	登米市幼児教育指導者研修会	登米市	登米市	職員1名
R4. 8. 2	保・幼・こ・小関連研修会	登米市	オンライン	職員1名
R4. 8. 3	恵泉会新任研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R4. 10. 5	事務担当者部会	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R4. 11. 18	恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	オンライン	職員2名
R4. 11. 22	感染症予防オンラインセミナー	宮城県	オンライン	職員1名
R4. 11. 29	令和4年度教育・保育等防犯研修会	登米市	登米市	職員1名
R4. 11. 30	令和4年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R4. 12. 6	小児アレルギーの最新知識と適切な対応	宮城県	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員(保育状況を考慮)
保育会議	利用者の状況について	随時	保育士全員(保育状況を考慮)
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員(保育状況を考慮)

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	研修委員会 マニュアル検討委員会	保育室	委員他
必要時に開催	入所判定委員会	保育室	委員他
必要時に開催	サービス評価委員会	保育室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
無			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
無				

【今後の取り組み】

5月に新型コロナウイルスが感染症法上5類へ移行されることとなった為、これまで自粛してきた園外活動、他施設や地域との交流会、実習生、ボランティアの受け入れ等を行っていき、運動会やお遊戯会等の保護者の参加人数の制限も緩和していく。

今後、保育活動の制限も緩和されるが、感染拡大防止の観点から引き続き手指消毒、消毒清掃、検温、必要に応じてマスク着用等の対策をとり、子ども達の健康を守りつつ、様々な経験を重ねながら、のびのびと活動できるようにしたい。

また、当事業所の特徴を多くの方々に知っていただき、利用人数が少しでも増えるよう必要な広報(PR)活動を積極的に行っていきたい。

令和4年度 特別養護老人ホーム光風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3
2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4) 開 設 年 月 日 昭和51年4月1日
5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

令和4年度も新型コロナウイルス感染に関する対応が、事業を大きく左右しました。感染症に関しては、経験が生かされ施設内感染がなかったことは収穫でした。ただ、利用者の日常生活を取り戻すまでには至らず、特に家族や地域との交流については、十分に行うことができませんでした。

施設経営においては、空床をなくすことが最大の課題でありましたが、特に短期入所の稼働を上げることができました。給湯・入浴設備の入れ替えも行い利用者の安全確保や生活の快適性を確保することができました。

【 重 点 項 目 】

1.感染症や災害への対応力強化

・新型コロナウイルス感染症については、施設内感染は防ぐことができ令和3年度末の感染からの学びが生かされました。他施設への職員派遣も積極的に行い、法人内の連携に努めました。
・災害への対応は、BCP計画に基づき訓練を実施しました。

2.地域包括ケアシステムの推進、地域との連携

・看取り介護の取り組みは、積極的に行うことができました。コロナ禍で地域との連携は不十分な面もありましたが、感染予防を徹底し、短期入所は止めることなくサービスを提供することができました。

3.自立支援・重度化の防止の取り組みの推進

・行事や外出を制限したこともあり利用者の生活の意欲につなげるのが難しい状況でしたが、健康管理に重点を置き、栄養ケアマネジメント強化加算を軸にきめ細やかな食事面での対応を行い、体調維持に努めました。

4.介護人材の確保・介護現場の革新

・人事考課制度の人材育成への活用や内部研修の充実で離職者防止に努めました。今後も労働環境の改善を実施します。見守り機器の設置を拡充し利用者の見守り強化や職員の負担軽減を実施しました。

5.事故防止

・定期的に委員会を開催し事故の検証等を行い、情報共有と事故の再発防止に努めました。センサー等の活用もを行い、重度化や認知症の利用者に対応しました。

6.施設整備

・中間入浴設備の更新、およびA重油を使用した給湯ボイラーを廃止、熱源の効率化を図るためガス給湯器へ切替工事を行いました。また、年度途中で移送用リフトバスが故障使用不能となり、利用者の通院等支障が出ており次年度の早急な対応を行います。

7.法人内他事業所との連携

・新型コロナウイルス感染症対応について、BCP計画に基づき法人内事業所一丸となり、体制を構築し人的・物的支援を他施設におこなうことができました。

8.地域との連携

・感染症対策により地域との交流はほとんどできませんでしたが、学校や保育所など折に触れプレゼントや写真での交流が継続しています。

9.職員の質の向上

・外部研修の参加は難しい状況でしたが、リモート研修等を通じ限られた機会の中でスキルアップにつながりました。法人の資格取得のための研修で介護支援専門員資格、並びに介護福祉士資格合格につながりました。

10.経営安定化

・長期入所の退所者が18名、空床を減らすことは難しい面もありましたが、加算取得や短期入所の稼働率向上で、対応しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,229 名
2. 年間稼働率 94.41 %
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.20
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	210	217	210	186	186	197	217	210	217	176	140	171	2,337
要介護4	759	798	719	758	839	765	743	695	752	758	673	796	9,055
要介護5	461	481	478	483	496	480	516	536	528	477	427	474	5,837
計	1,430	1,496	1,407	1,427	1,521	1,442	1,476	1,441	1,497	1,411	1,240	1,443	17,229

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	1	3	0	1	3	1	1	1	1	3	18
退所者数	2	1	2	1	0	2	3	1	1	3	1	1	18
月末入所者数	49	49	48	50	50	49	49	49	49	47	47	49	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

延べ参加者数 336名

年間実施回数 6 回

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.19	春まつり	外出の機会が少ない為、外を散策し春の空気を味わって頂きました。又、ゲームや職員余興で楽しむ事で、生活意欲の向上に繋げる事が出来ました。	利用者 36名 職員 12名
R4.07.19	納涼会	盆踊りや出店を再現し、利用者様に賑やかに、楽しく過ごして頂きました。気分転換を図ると共に生活意欲の向上に結びつける事が出来ました。	利用者 54名 職員 10名
R4.08.12	盆供養	利用者職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。	利用者 49名 職員 11名
R4.09.20	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝うと共に長年の労に感謝し、健康を祈りました。	利用者 46名 職員 16名
R5.01.05	新年会	新年の準備を行うことで、季節感を味わって頂いた。又1年間健やかに過ごすことが出来るように利用者職員で新年をお祝いすることが出来た	利用者 32名 職員 13名
R5.02.03	節分	利用者様、職員共に豆まきをして邪気を払い、一年間の無病息災を願いました。	利用者 48名 職員 9名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,554 名
2. 年間稼働率 85.15 %
(目標稼働率 90.00 %)
3. 年間平均介護度 3.36
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	8	8	8	18	16	24	20	19	21	25	22	23	212
要介護2	24	18	43	34	40	29	40	39	35	32	7	0	341
要介護3	19	8	11	12	11	10	13	23	19	16	11	17	170
要介護4	15	16	20	20	21	28	26	23	40	30	37	61	337
要介護5	30	46	36	55	73	56	39	36	30	36	28	29	494
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	96	96	118	139	161	147	138	140	145	139	105	130	1,554

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.01	公用車特殊車両取扱・設備設備・防災関係について	主任・介護福祉士	転勤者5名
R4.04.26	看取り研修「オンコール・医療に関する緊急対応等」	准看護師	光風園職員14名
R4.05.11	感染症予防研修	看護師	光風園職員7名
R4.05.17	不審者対応訓練(実践)	副主任	光風園職員16名
R4.05.24	身体拘束廃止研修	介護福祉士	光風園職員10名
R4.05.25	看取り研修(ターミナルケア・介護者の精神的ケア)	准看護師	光風園職員7名
R4.06.07	食中毒予防研修	管理栄養士	光風園職員8名
R4.07.26	口腔ケア研修	看護師	光風園職員11名
R4.07.27	水分補給研修	看護師	光風園職員7名
R4.08.23	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員12名
R4.08.30	「接遇研修」	准看護師	光風園職員7名
R4.09.13	介護事故防止研修	介護福祉士	光風園職員10名
R4.10.11	虐待防止研修	介護福祉士	光風園職員9名
R4.10.26	交通安全研修	施設長	光風園職員11名
R4.11.01	新任職員研修(3日間)	施設長	光風園職員1名
R4.11.22	身体拘束廃止研修	介護員	光風園職員12名
R5.01.17	感染症予防研修(シミュレーション訓練)実習	看護師	光風園職員8名
R5.02.07	介護事故防止(ヒヤリハット)研修	介護福祉士	光風園職員10名
R5.02.14	認知症研修	介護福祉士	光風園職員7名
R5.02.28	褥瘡予防研修	看護師	光風園職員8名
R5.03.01	口腔ケア研修	中江歯科 歯科医師	光風園職員8名
R5.03.07	身体拘束廃止事例検討研修	介護福祉士	光風園職員8名
R5.03.28	プライバシー保護研修	生活相談員	光風園職員7名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4..7.4～9.30まで	令和4年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Eラーニング	職員1名
R4..7.21～8.26	介護支援専門員 専門Ⅱ 更新研修	宮城県ケアマネージャー協会	オンライン	職員1名
R4.08.10	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.09.02	令和4年度 社会福祉施設中堅・監督職員研修～コーチングの基本～	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.09.27	令和4年度 アサーティブコミュニケーション研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.10.12	令和4年度 老人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.10.13	令和4年度 恵泉会人事考課者現任研修	社会福祉法人恵泉会	本部2階研修室	職員1名
R4.10.14	令和4年度 恵泉会職員フォローアップ研修	社会福祉法人恵泉会	オンライン	職員1名
R4.10.19	高齢者の食の楽しみと安全性の両立のために	ナースの星	オンライン	職員1名
R4.10.25	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	ハッセル	職員1名
R4.11.30	令和4年度 東和・登米地区ネットワーク会議	登米市東和・登米地域包括支援センター	オンライン	職員1名
R4.12.07	令和4年度 リーダーのためのコーチング研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.12.08	令和4年度 経営・管理職研修	社会福祉法人恵泉会	本部2階研修室	職員1名
R4.12.09	令和4年度 成年後見制度研修会	登米市	南方庁舎大会議室	職員1名
R5.02.06	令和4年度 特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	毎月第4火曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	毎月1回月初め	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	毎月第2火曜日	介護・看護・相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	ケア会議時・随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	毎月1回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項について協議	月1回～2ヶ月に1回	各部会代表者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	火曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個人々の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員のスキルアップのため内部研修を開催しました	火曜日	委員
マニュアル検討委員会	マニュアルを見直し、必要に応じデータ更新しました		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討と業務内容の見直し	火曜日	施設長と委員
個別ケア検討委員会	利用者の個々の状況に応じた支援方法の確認と個別援助計画の確認		
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討と事故後の事故検証	火曜日	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画に沿った訓練を実施、検証しました	随 時	施設長と委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
無			
計			0名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
無				
計				0名

【今後の取り組み】

1. 地域との連携—法人創立50周年を迎え歴史を振り返り、あらためて地域や利用者に感謝をつたえ、次につなげる良い機会となるよう取り組みます。
2. 基本的柱、重点項目の継続—介護保険改正までの最終年度となります。重点項目については、その基本的柱、1.感染症や災害への対応力強化、2.地域包括ケアシステムの推進、地域との連携、3.自立支援・重度化防止の取組の推進、4.介護人材の確保・介護現場の確信、を踏襲し令和5年度も継続取り組みます。
3. 事故防止—認知症や重度の利用者が増え、常にリスクと隣り合わせになり職員の緊張は切れることがありません。重大事故につながることもあり今後も事故防止の取り組みは重要です。
4. 施設整備—圏域の農村地帯の利用者は、多床室を希望する傾向にあり、老朽化した光風園も大切な資源として継続しなければなりません。必要な改修や購入を最低限計画的に行うことが必要です。
5. 法人内他事業所との連携—コロナウイルス感染症で構築された事業所間の連携を継続し、大規模法人の強みを生かす必要があります。
6. 家族地域との連携—コロナ禍でできなかった交流や普通の生活を取り戻せるよう取り組みます。
7. 経営の安定化—経費増大が課題です。空床のコントロールを適正に行い、目標の稼働率を達成するとともに、適正な支出となるよう経費削減に努めます。

令和4年度 特別養護老人ホーム松風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 登米市豊里町笑沢153-62
2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日 昭和58年4月1日
5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続性の確保」に取り組みます。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援していきたい。

そして、すべての利用者楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日々の過ごし方が出来る様、職員と利用者が「想いを一つに、幸せを感じて」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組んでいきます。

【 重 点 項 目 】

- 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)
 - 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
 - 利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援しました。
 - 地域イベントへの参加について、とよさと*おうち花火大会や豊里地区市民文化祭への作品出品等を行いました。
 - 常に利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援
 - 利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行います。
 - リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めました。
 - ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できました。
 - 施設サービスの策定・実施・評価を行いより良いサービスの向上に努めました。
- サービス向上に向けた取り組み
 - ケアパレット・介護ロボットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
 - ケアパレット・介護ロボット導入により、介護業務の効率化・最適化が図れました。また介護ロボットにより、利用者の方の状態がパソコンで表示され、健康状態の把握ができました。11月には映像確認ができる見守りシステムが導入され、利用者の安全・安心と介護体制の強化が図れました。
 - 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できるように医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
 - 短期入所生活介護利用の際、医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受け入れも対応出来ます。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中心施設としての役割を果たすよう努めました。
 - 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につかせます。
 - 医療・福祉関係の資格を有さない職員の該当者はありませんでしたが、認知症についての内部研修を行うことにより職員全体の対応力向上を図りました。
 - 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら介護事故防止に努めます。
 - 事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めました。
 - 常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めました。

- (5) 介護サービスの質の評価と科学的介護の取り組み(科学的介護推進体制加算)を実施し介護サービスの質の向上を図ります。
- ・サービス評価等により、施設における問題点を把握し、サービスの質の向上が図れるように取り組みました。
 - ・科学的介護の取り組み(科学的介護推進体制加算)について、科学的介護情報システム(LIFE)へのデータ提出とフィードバック情報の活用により、全国の利用者と比較し現状を把握することができました。

3 介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

- (1) 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・ハラスメント担当者を配置し対策の強化を図りました。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策としての新しい研修の形としてオンラインでの研修に多く参加出来ました。
- (2) 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- ・法人内で実施している研修について、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン研修等での講師派遣により、次世代の人材育成に努めました。
- (3) 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。
- ・新型コロナウイルス感染症防止のため、施設への受け入れはできませんでした。今後は、WEB対応等の工夫をし、実習生、各種ボランティアの需要が増えるよう魅力のある施設に努めていきます。

4 地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- (1) 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営に取り組みました。また信頼できる事業運営を行えるように継続していく必要があります。
- (2) 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し、認知症カフェ企画・運営会議を開催し、情報交換に努めました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、実施できませんでしたが、活動を再開する方向で、準備してまいります。
- (3) 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
- ・法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力し、支えあう体制を強化することで、安定経営に努めていきます。
- (4) 地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結ぶ。また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の対応を行います。
- ・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアル策定し訓練を行いました。11月に夜間想定避難訓練が行われ、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会や庚申地区町内会の方に見学していただき、一緒に消火訓練を行いました。

5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- (1) 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・感染症委員会にて感染症の動向について確認し、また新型コロナウイルス感染症対策について外部から認定看護師を派遣して頂き、感染発生時のゾーニング指導を受け、研修、訓練の実施も行うことが出来ました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続すると共に、十分に感染予防策を講じながら、対面での面会も視野に入れ対応します。
- ・利用者・家族の理解を得ながら窓越し面会やiPadでの面会を継続し問題なく行うことが出来ました。

6 制度の安定性・持続可能性の確保

- (1) 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、既に作成した業務継続に向けた計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
- ・感染症や自然災害の発生時における業務継続計画を作成し研修を実施しました。また委員会等で定期的に計画の見直しを行いました。

- (2) 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
 ・毎月の事業収支、利用状況を会議で周知しました。稼働率は概ね達成し、省エネは毎月の使用量をみて職員に周知しています。
- (3) 中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。
 ・中長期の事業目標、収支・施設整備・新規事業等については、会議を通して全職員に周知し共有しています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,531 名
2. 年間稼働率 96.06 %
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.29

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護2	24	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	359
要介護3	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
要介護4	617	646	655	713	694	617	616	654	651	651	588	687	7,789
要介護5	593	660	637	613	636	686	651	630	657	604	565	626	7,558
計	1,384	1,492	1,472	1,512	1,516	1,483	1,453	1,464	1,494	1,441	1,321	1,499	17,531

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	4	1	2	0	2	0	3	1	2	0	2	2	19
退所者数	3	1	1	0	2	3	0	2	2	1	2	1	18
月末入所者数	49	49	50	50	50	47	50	49	49	48	48	49	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.20	春祭り	職員紹介(担当)後、職員によるアトラクションを楽しみました。	利用者 22名 職員 16名
R4.05.3.4.5	菖蒲湯	菖蒲を湯に浮かべ無病息災の縁起を担ぎ、季節を感じていただきました。	利用者 49名 職員 6名
R4.06.13	屋外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 4名 職員 3名
R4.06.18	ゲーム大会	魚釣りゲームを楽しみ気分転換を図っていただきました。	利用者 10名 職員 2名
R4.07.07	七夕会	七夕飾りを見て楽しみながら願い事を発表し季節を感じていただいた。	利用者 19名 職員 3名
R4.07.13	夏祭り	スイカ割、水ヨーヨー、くじ引き等夏を感じていただき楽しんでいただきました。	利用者 40名 職員 16名
R4.08.19	おうち花火	豊里町主催行事に参加、園庭にて手持ち、吹上花火を懐かしく楽しんでいただきました。	利用者 11名 職員 8名
R4.08.22	盆供養	香林寺住職が来園し、故人の冥福を祈りました。	利用者 7名 職員 3名
R4.09.09	お月見会	十五夜に因んだ由来を聞きながら中秋の名月を祝いました。	利用者 14名 職員 1名
R4.09.11	長寿を祝う会	利用者の長寿に敬意を表して祝い、職員によるアトラクションを楽しんでいただきました。	利用者 26名 職員 21名
R4.09.30	野外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 6名 職員 1名

R4.10.12	芋煮会	野外で芋煮を行い季節を感じていただきました。	利用者 50名 職員 3名
R4.10.30	野外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 26名 職員 21名
R4.10.31	ゲーム大会	ペットボトルをカゴに投げ入れるゲームを楽しんでいただきました。	利用者 8名 職員 3名
R4.11.07	焼き芋会	利用者が一緒に下準備を行い、季節行事である焼き芋会を楽しんでいただきました。	利用者 50名 職員 5名
R4.11.15	百寿を祝う会	百歳を迎えた方へ記念品を贈呈し皆で祝福しました。	利用者 50名 職員 4名
R4.11.20	脳トレゲーム大会	脳の活性化を図ると共に、皆さんと一緒に和気あいあいとゲームを楽しみ、親交を深めていただきました。	利用者 18名 職員 2名
R4.12.20.21 .22	ゆず湯	ゆず湯に浸かり、身体を温め疲れを癒していただきました。	利用者 50名 職員 5名
R4.12.23	クリスマス会	利用者と職員と一緒にクリスマスの雰囲気を感じ、楽しい時間を過ごしていただきました。	利用者 49名 職員 5名
R4.12.26	正月飾り会	年末の恒例である正月飾りを昔を懐かしみながら行っていました。	利用者 11名 職員 4名
R5.01.11	新年会	新年のお祝いと本年も良い日々を送れるよう、新年会を通して皆様楽しんでいただくと共に良い年初めにさせていただきました。	利用者 23名 職員 13名
R5.01.29	お正月ゲーム	お正月遊びを通して、季節を感じていただくと共に利用者様の親睦を深めていただきました。	利用者 16名 職員 3名
R5.02.03	節分	年男、年女の利用者・職員により邪気を払い、無病息災を願いました。	利用者 28名 職員 6名
R5.02.19	レクリエーション ゲーム大会	利用者同士交流を深め、ゲームで体を動かしながら気分転換を図っていただきました。	利用者 17名 職員 3名
R5.03.03	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂きました。	利用者 20名 職員 2名
R5.03.17	百寿を祝う会	百歳を迎えた方へ記念品を贈呈し皆で祝福する。	利用者 17名 職員 11名
R5.03.22	彼岸供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者 3名 職員 22名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,357 名
2. 年間稼働率 92.95 %
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 3.25
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	5	9	6	3	3	3	3	7	3	3	15	3	63
要介護2	53	33	30	37	28	39	23	26	41	32	28	37	407
要介護3	25	22	14	10	45	22	27	24	31	37	37	26	320
要介護4	10	31	22	17	14	24	47	24	28	20	18	7	262
要介護5	29	33	33	44	33	23	18	13	16	12	22	29	305
計	122	128	105	111	123	111	118	94	119	104	120	102	1,357

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.12~6日間	入浴機器操作について	介護福祉士	職員3名
R4.04.12~6日間	法令遵守・コンプライアンス研修	施設長	職員25名
R4.04.24	(新人研修)リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員1名
R4.04.29	(新人研修)高齢者虐待研修	介護福祉士	職員1名
R4.04.29	(新任研修)身体拘束研修	介護福祉士	職員1名

R4.05.09	腰痛予防について	看護師	職員7名
R4.05.21	公用車の操作方法について	介護福祉士	職員2名
R4.05.24～4日間	科学的介護推進に関する評価について	生活相談員	職員19名
R4.06.13	オムツ交換について	介護福祉士	職員6名
R4.06.15	(新人研修)感染症研修	看護師	職員1名
R4.06.18	業務継続計画・感染症対策(シュミレーション)について	准看護師	職員9名
R4.06.27	(新任研修)業務継続計画(BCP)等について	生活相談員	職員1名
R4.07.11	自然災害発生時における業務継続計画について	生活相談員	職員11名
R4.07.11	褥瘡予防について	准看護師	職員6名
R4.07.19	リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員6名
R4.08.08	口腔ケアについて	看護師	職員7名
R4.09.12	移乗介助について	介護福祉士	職員6名
R4.09.15	見守り機器(アームス)点検・使用方法について	生活相談員	職員9名
R4.10.17	急変時の対応について	准看護師	職員8名
R4.10.14	感染症について	看護師	職員9名
R4.10.21	リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員7名
R4.11.17	歯科講習	歯科医院	職員14名
R4.11.19	業務継続計画・感染症対策(シュミレーション)について	准看護師	職員7名
R4.12.18	体位交換について	介護員	職員7名
R4.12.24	リスクマネジメントについて	介護福祉士	職員4名
R4.01.16	認知症について	介護福祉士	職員7名
R5.01.20	高齢者虐待・身体拘束廃止について	介護福祉士	職員7名
R5.01.28	介護記録の記入について	介護福祉士	職員7名
R5.02.25	急変時の対応について	准看護師	職員12名
R5.02.25	メンタルヘルス研修	施設長	職員8名
R5.03.10	消防機器の取り扱いについて	生活相談員	職員4名
R5.03.21	排泄介助について	介護福祉士	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.04.22	令和4年度人事考課者研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4.07.10	令和4年度安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	石巻市	職員1名
R4.6.10・24・7.8・29	令和4年度第1回介護福祉士養成実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R4.06.29	コミュニケーション技術・対人援助技術研修Ⅰ・Ⅱ	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R4.07.06	令和4年度クレーム対応研修(基本編)	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R4.7.21・28・8.16・26	令和4年度介護支援専門員 専門Ⅱ更新研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R4.08.03	令和4年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4.09.16	2022年度メンタルヘルス講習会	福利厚生センター	オンライン研修	職員1名
R4.09.27	令和4年度アサーティブコミュニケーション研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R4.8.22・9.8・26	令和4年度登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R4.09.08	令和4年度恵泉会経営・管理職研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4.10.13	令和4年度人事考課者研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4.10.14	業務継続計画(BCP)策定セミナー	ミネルヴァベリタス株式会社	オンライン研修	職員1名
R4.10.19	危険物取扱者保安講習会	登米市消防本部	登米市	職員1名
R4.11.10	虐待と権利擁護について	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン研修	職員1名
R4.11.14	令和4年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4.11.17	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国保連	オンライン研修	職員1名
R4.11.18	令和4年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市	職員2名
R4.11.18	認知症の方の意思決定支援とは	(社)東北福祉会	オンライン研修	職員1名
R4.11.23	ずれ力を軽減するケア技術の理論と実践	パラマウントベッド	オンライン研修	職員2名
R5.01.13	令和4年度業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R5.02.06	令和4年度特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市	登米市	職員1名
R5.02.24	令和4年度登米市栄養士会全体研修会	登米市栄養士会	登米市	職員1名
R5.02.28	令和4年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	オンライン研修	職員1名
R5.03.03	介護現場における生産性向上推進フォーラム	厚生労働省	オンライン研修	職員1名
R5.03.07	介護事業者のためのBCP作成セミナー	厚生労働省	オンライン研修	職員1名
R5.03.24	認知症患者の摂食嚥下と食支援	(株)クリニコ	オンライン研修	職員4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
連絡調整会議	松風園、百楽荘の連絡調整	第1水曜日	施設長、主任、副主任
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び諸課題の検討	第3水曜日	職員
ケア会議	利用者のサービス内容及びケア内容の検討	第3水曜日	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
サービス担当者会議	サービス計画に基づき、適切なサービスが実施されるよう検討	随時	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長、管理栄養士、給食係、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R5.02.20	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
R5.02.21	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
安全対策検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討・高齢者虐待防止に向けての取り組み	第1金曜日	施設長、各委員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出席者
R4.06.03	令和4年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R4.09.05	令和3年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R4.12.01	令和3年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R3.02.27	令和3年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
無			
計			0名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
無				
計				0名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

- ・ 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
- ・ 利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行います。

- 2 サービス向上に向けた取り組み
 - ・ケアパレット・介護ロボット等を活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
 - ・中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
 - ・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけます。
 - ・介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら介護事故防止に努めます。
 - ・介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、ケア計画改善、介護サービスの質の向上を図ります。
- 3 介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み
 - ・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
 - ・法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
 - ・社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。
- 4 地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み
 - ・住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
 - ・地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
 - ・安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
 - ・地域(庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会)との災害協定を結ぶ。また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の対応を行います。
- 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組
 - ・感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
 - ・新型コロナウイルス感染症については、「2類」から「5類」に引き下げられるも、高齢者施設では、クラスターの発生から利用者の生命を脅かし、介護支援・稼働率も顕著に低下するなど影響が大きいと見られ、引き続き感染症対策を十分行い、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組んでいきます。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続すると共に、十分に感染予防策を講じながら、対面での面会も視野に入れ対応します。
- 6 制度の安定性・持続可能性の確保
 - ・業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
 - ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
 - ・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和4年度 豊里デイサービスセンター百楽荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市豊里町笑沢153-78
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成19年4月1日
5. 利 用 定 員	30名

【 基 本 方 針 】

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図ると共に、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続性の確保」に取り組みます。

施設運営にあっても、恵泉会基本理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援していきます。

そして、すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日々の過ごし方が出来る様、職員と利用者が「想い一つに、幸せを感じて」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組んでいきます。

【 重 点 項 目 】

1 「幸せを感じて」いただく取組み(自立支援・重度化防止)

- ・ 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により行動制限等規模を縮小しての支援となりました。
- ・ 利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所介護サービス計画書の策定・実施・評価をしました。

2 サービス向上に向けた取組み

- ・ ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減を図ることができました。
- ・ 作業療法士による個別機能訓練(個別機能訓練加算Ⅰイ)を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ることができました。
- ・ 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようになっていきます。
- ・ 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りましたが、介護事故防止には十分とは言えないのでリスクの検証を更に深め介護事故防止の徹底を図れるように継続して行く必要があります。
- ・ 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組(科学的介護推進体制加算)を実施し介護サービスの質の向上を図りました。

3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取組み

- ・ 職員が意欲と自信を持って働ける様にハラスメント対策の強化を図りました。また積極的に研修参加を図り、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努め、できる限りWEBを利用し介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めました。また、webを利用する等研修に参加しました。
- ・ 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成に努めました。

4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたりました。
- ・ 社会福祉法人の使命の一つとして、継続して食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくしました。

- ・ 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同での開催は新型コロナウイルス感染拡大による影響で開催はできませんでしたが、他事業所と連携を図りながら活動を再開する方向で準備しています。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し、支え合う体制を整えています。

5 感染者や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施しました。
- ・ 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援体制を整えています。
- ・ 地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結び、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の訓練等を地域の方々と連携して行いました。

6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修、訓練を計画しましたが、職員全員への周知が不十分であるため、研修、訓練の実施を進めていきます。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取組を進めました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,873 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 84.66 % (通所介護+総合事業)
4. 年間平均介護度 2.18 (通所介護)
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	190	191	186	191	160	134	149	168	155	138	121	132	1,915
要介護2	245	239	259	256	245	228	280	280	276	252	253	308	3,121
要介護3	117	105	86	90	100	94	109	102	116	118	118	166	1,321
要介護4	71	56	75	80	82	70	67	66	67	78	69	74	855
要介護5	2	0	4	12	7	2	5	16	11	5	7	0	71
計	625	591	610	629	594	528	610	632	625	591	568	680	7,283
事業対象者	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	51
要支援1	2	5	5	3	4	8	8	8	10	7	8	10	78
要支援2	42	44	44	42	42	39	43	33	35	31	31	35	461
計	48	54	53	49	51	51	56	45	49	42	43	49	590
合計	673	645	663	678	645	579	666	677	674	633	611	729	7,873

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	4	6	3	1	4	2	5	0	3	1	32
契約終了者数	5	2	0	1	3	0	1	3	1	2	2	4	24
月末契約者数	64	63	67	72	72	73	76	75	79	77	78	73	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.08~13	お花見	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する。	利用者 41名
			職員 12名
R4.05.05~07	ミニ運動会	お玉でリレーやほっかぶり競争を行い、身体を動かす。	利用者 75名
			職員 27名
R4.07.05~07	七夕会	七夕飾りを眺めながら七夕釣りゲーム等をして楽しむ。	利用者 76名
			職員 28名
R4.08.18	夏祭り	スイカ割りや抽選会を行い、季節感を味わっていただく。	利用者 26名
			職員 9名

R4.09.12~14	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする。	利用者	75名	
			職員	17名	
R4.10.13	芋煮会	施設内にて野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっていた。	利用者	25名	
			職員	9名	
R4.11.02~05	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める。	利用者	####	
			職員	34名	
R4.11.10~25	リンゴ園見学	市内の果樹園にてリンゴ狩りを楽しむ。	利用者	41名	
			職員	24名	
R4.12.22~24	クリスマス忘年会	クリスマスツリーを眺めながら職員の余興を観たり、くじ引きを行い楽しむ。	利用者	78名	
			職員	23名	
R4.12.28	餅つき	杵と臼で餅つき、みずの木に飾り付けを行い正月の準備を行う。	利用者	28名	
			職員	8名	
R5.01.09~11	新年会	新年を祝い、干支うさぎの置物作りを楽しんで頂く。	利用者	84名	
			職員	24名	
R5.02.02~04	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て豆まきを行い、厄払い福を招く。	利用者	79名	
			職員	23名	
R5.03.02~03	ひな祭り会	ゲームを行ったり、雛饅頭や甘酒を召し上がって頂きながらひな祭りを祝う。	利用者	51名	
			職員	16名	
実施回数			34回	延べ参加者数	1,036名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者数
R4.4.12~22	法令順守（コンプライアンス研修）	施設長	11名
R4.04.27	公用車リフト操作手順	介護福祉士	11名
R4.05.06	送迎介助について	介護福祉士	4名
R4.05.23	ポジショニングについて	作業療法士	5名
R4.06.02	実習受け入れについて	介護福祉士	2名
R4.06.22	口腔ケアについて	准看護師	4名
R4.06.27	食中毒予防について	管理栄養士	4名
R4.7.21	認知症について	介護福祉士	4名
R4.8.31	高齢者虐待防止	施設長	3名
R4.9.1~4	感染症について（新型コロナウイルス感染症対策）	准看護師	8名
R4.09.22	体位交換について	介護福祉士	4名
R4.09.22	身体拘束について	介護福祉士	4名
R4.11.18	着脱について	介護福祉士	4名
R4.11.30	感染症について（PPEの種類と着脱について）	准看護師	5名
R5.01.13	入浴介助について	介護員	3名
R5.02.13	介護事故対策について	介護福祉士	4名
R5.03.25	褥瘡予防について	准看護師	5名
延 べ 参 加 者 数			85 名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.06.29	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	Web・登米市	職員1名
R4.09.28	接遇研修	ソエルクラブ	Web・登米市	職員1名
R4.10.24	メンタルヘルス研修	ソエルクラブ	Web・登米市	職員1名
R4.11.10	令和4年度高齢者権利擁護・虐待対応研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	Web・登米市	職員1名
R4.11.14	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者・事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	Web・登米市	職員1名
R4.11.19	認知症の方の意思決定支援とは	社会福祉法人東北福祉会	Web・登米市	職員1名
R4.12.12	口腔ケアについて	登米市在宅医療・介護連携勉強会	登米市	職員1名
R5.01.20	2022 認知症介護セミナー	認知症介護研究・研修仙台センター	Web・登米市	職員1名
R5.02.07	高齢者肺炎予防研修会	石巻地域肺炎ネットワーク	Web・登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加者
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等話し合い業務の徹底を図る	第1水曜日	施設長・総括主任・主任・副主任
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び嗜懸案の協議	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	2ヶ月に1回	生活相談員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	参加者
随時	居宅介護支援事業所介護支援専門員主催サービス担当者会議出席	利用者自宅	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加者
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	随時	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止している。	0名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	人数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止している。		0名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

- ・利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援します。
- ・利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減に努めます。
- ・作業療法士による個別機能訓練(個別機能訓練加算 I イ)を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- ・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにします。
- ・介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- ・介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、ケア計画の改善、介護サービスの質の向上を図ります。

3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修参加を促し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・ 社会福祉法人の使命の一つとして、食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくします。
- ・ 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症については、「2類」から「5類」に引き下げられるも、高齢者施設では、クラスターの発生が利用者の生命を脅かし、介護支援・稼働率の影響も顕著に低下するなど影響が大きいため、引き続き感染症対策を十分行い、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組んでいきます。
- ・ 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等を行います。
- ・ 地域(庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会)との災害協定を結び、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の訓練等を地域の方々と連携して行います。

6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BPC)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。

令和4年度 特別養護老人ホーム萩風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
 4) 開 設 年 月 日 平成2年4月1日
 5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

【 基 本 方 針 】

サービスにおいては、新型コロナウイルス感染症等を予防しながらの事業継続に重点を置く1年となりました。BCPを見直し、適宜感染対策を進めてまいりましたが、施設内で感染が発生し、利用者の皆様、ご家族様に多くのご迷惑と不安を与えることとなりました。感染対策を継続する中で、面会や地域交流などの制限が必要となり、施設内の活動が中心となる中で、利用者皆様の機能維持、向上に努めながら、設備については、個浴槽設置が完了し、利用者の方に満足していただいております。経営管理については、入院者や新型コロナウイルス感染症発生時の短期利用一時休止、エネルギー価格高騰による電気使用料金等の費用増加など見込みを下回る結果となりました。

【 重 点 項 目 】

- ① 感染症や災害への対応力強化
 - ・BCPの整備、感染予防のためのルールづくりを行い、感染予防を行って参りましたが、発生後の拡大は予想を上回りうまく機能することができませんでした。
 - ・消防計画にそって、計画に様々な場面を想定した訓練を実施することが出来ました。また、各災害協定による訓練実施も行う事ができました。
- ② 地域包括ケアシステムの推進
 - ・入所判定委員会を計画通り行い、在宅生活が困難となった方の施設入所支援を行う事ができました。
 - ・地域課題の抽出や地域との連携した取り組みに関しては十分に行う事ができませんでした。
- ③ 自立支援・重度化防止の取組の推進…サービスの質の向上
 - ・利用者満足度調査、家族満足度調査を実施し、サービスに反映させる事ができました。
 - ・会議への利用者参加など声を聞く機会を増やすことで意向にそったサービスの提供につなげました。
 - ・褥瘡予防委員会においてケア方法、ポジショニングなど共通意識を高め、褥瘡予防、改善に取り組みました。
- ④ 介護人材確保・介護現場の革新
 - ・見守り機器やケアパレットの活用などにより、職員に係る負荷を少なくすることが出来ました。
 - ・介護職員初任者研修を受講し、職員の質向上を図ることが出来ました。
- ⑤ 制度の安定性・持続可能性の確保
 - ・改正を理解し、適正な加算取得、運営基準を遵守することが出来ました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,143 名
 2. 年間稼働率 93.93 %
 (目標稼働率 98.00 %)
 3. 年間平均介護度 4.24
 4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	210	217	210	217	231	240	248	231	212	203	203	264	2,686
要介護4	660	731	708	692	669	660	676	609	598	571	545	551	7,670
要介護5	570	567	502	548	568	586	616	540	588	556	516	630	6,787
計	1,440	1,515	1,420	1,457	1,468	1,486	1,540	1,380	1,398	1,330	1,264	1,445	17,143

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	2	0	0	2	1	0	0	2	2	5	2	16
退所者数	2	0	1	1	1	0	1	3	3	2	2	1	17
月末入所者数	48	50	49	48	49	50	49	46	45	45	48	49	-1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.20	桜まつり	感染症予防対策での開催となりご家族の参加はなく、職員の余興と利用者のリハビリを兼ねた踊りで楽しめました。	利用者 43名 職員 5名
R4.5.(2.3)	菖蒲湯	菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈願し入浴されました。	利用者 30名 職員 9名
R4.08.04	夏祭り	感染症予防対策での夏祭りを開催しました。夏季にちなんで西瓜わりやゲーム、職員による余興を取り入れ楽しめました。	利用者 42名 職員 14名
R4.08.12	盆供養	例年地域の住職へ読経依頼を行っていましたが見合わせ、利用者及び職員のみで故人の冥福を祈っています。	利用者 5名 職員 3名
R4.09.14	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加での実施しています。アトラクションとして職員による催し物が披露されました。	利用者 49名 職員 13名
R4.12.14	クリスマス忘年会	クリスマスにちなんだゲームや職員の余興を行いました。その後1年を振り返りながら茶話会を行いおやつバイキングを楽しみました。	利用者 44名 職員 10名
R4.12.(23.24)	ゆず湯	新型コロナウイルス集団感染に伴い中止しています。	利用者 0名 職員 0名
R5.01.11	新年会	新型コロナウイルス集団感染に伴い中止しています。	利用者 0名 職員 0名
R5.02.03	節分	感染症予防に注意を払い利用者間の密を避け短時間で開催しました。施設長のみ袴を身につけ棟内に豆をまき邪気を払いました。	利用者 0名 職員 6名
R5.3.18～24	彼岸供養	彼岸の期間は多目的室を開放。故人の冥福を祈っています。	利用者 5名 職員 2名
実施回数		10回	延べ参加者数 280名

【短期入所者生活介護サービス】

- 年間延べ利用人員 1,379 名
- 年間稼働率 75.56 %
(目標稼働率 95.00 %)
- 年間平均介護度 3.09
- 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	4	6	4	4	4	4	4	2	0	0	0	0	32
要介護2	36	47	54	53	42	38	38	38	31	16	47	37	477
要介護3	42	41	39	30	37	34	32	34	35	6	39	38	407
要介護4	31	20	25	35	35	28	28	21	3	0	19	11	256
要介護5	20	20	20	19	20	23	32	3	14	6	24	6	207
計	133	134	142	141	138	127	134	98	83	28	129	92	1,379

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.04	新任職員研修	施設長 他	2名
R4.04.14	終末期ケア及び、関わる職員の心のケア研修	准看護師	10名
R4.05.12	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	15名
R4.05.19	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	6名
R4.06.23	サービス提供に関わる勉強会（記録の方法）	介護福祉士	10名
R4.06.29	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	管理栄養士	9名
R4.06.30	介護技術勉強会（体位交換と移乗）	介護福祉士	7名
R4.07.13	褥瘡対策に関する研修	介護福祉士	9名
R4.07.21	急変時の対応に関する研修	看護師	7名
R4.08.18	事故発生防止のための研修	副主任	10名
R4.08.25	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	5名
R4.08.25	個人情報保護に関する研修	施設長	9名
R4.08.31	介護ロボット活用に関する研修	パラマウントベッドwebセミナー	5名
R4.09.15	介護技術勉強会	副主任	6名
R4.09.22	認知症に関する研修	介護福祉士	8名
R4.10.26	サービス提供に関わる勉強会（PDCAサイクルの理解 他）	副主任	7名
R4.11.10	感染症予防に関する研修	菊風荘 准看護師	10名
R4.11.16	虐待防止研修	介護福祉士	7名
R4.12.08	ハラスメントに関する研修	施設長	7名
R5.02.15	身体拘束等の適正化に関する研修	介護福祉士	9名
R5.02.16	事故発生防止のための研修	介護福祉士	10名
R5.03.09	身体拘束等の適正化に関する研修	介護福祉士	9名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.06.29	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社協	オンライン	職員1名
R4.08.03	令和4年度恵泉会新任職員研修	恵泉会研修委員会	支援棟2階研修室	職員3名
R4. 8. 24. 25	社会福祉施設新任職員研修	宮城県社協	オンライン	職員1名
R4.08.30	安全対策担当者研修	全国老施協	eラーニング	職員1名
R4.10.13	登米市栄養士会病院福祉部会研修会	登米市栄養士会	迫公民館	職員1名
R4.11.14	令和4年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会研修委員会	支援棟2階研修室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月1回・随時	施設長、生活相談員他

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3か月1回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
業務改善委員会	業務効率向上を考え業務変更及び業務分担変更、ロボット介護活用の検討	3か月1回	施設長、生活相談員他

【 今後の取り組み 】

①感染症や災害への対応力強化

- ・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うとともに、研修の実施、訓練(シミュレーション)を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。
- ・新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。

②地域包括ケアシステムの推進

- ・認知症の方への対応力向上のため研修を実施し、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。
- ・地域の実情を把握し、他事業所と連携しながら、必要な方への入所支援を迅速に行います。

③自立支援・重度化防止の取組の推進

- ・入所者毎に褥瘡発生リスクについて評価を行うとともに計画に従い管理を実施します。
- ・各担当が利用者の状況把握を確実にいき、自立、重度化防止に向けた取り組みにつなげます。

④介護人材確保・介護現場の革新

- ・業務全体を見直し、効率化を図ることで、職員にとって働きやすい職場作りを行います。特に記録等についてはペーパーレス化や重複作業などの見直しを進めます。
- ・ハラスメント対策を強化し、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。
- ・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。

⑤安全・安心なサービスの提供

- ・事故発生リスクを把握し、未然に介護事故を防ぎ、利用者皆様に安全と安心したサービスを提供します。
- ・高齢者虐待について、委員会の開催、研修等実施し、防止に向けた取り組みを行います。

令和4年度 中田デイサービスセンター菊風荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成2年3月15日 |
| 5. 利 用 定 員 | 25 名 |

【基本方針の実施内容について】

サービスにおいては、新型コロナウイルス感染症等を予防しながらの事業継続に重点を置く1年となりました。BCPを見直し、適宜感染対策を進めてまいりました。事業所内で新型コロナウイルス感染症発生はありましたが、拡大させることなく事業を継続することが出来ました。外部との交流については見合わせる事となりましたが、活動の充実を図り、個別機能訓練を状態に沿った形で提供することができ、利用者皆様の維持、向上につなげることができました。職員についても介護職員初任者研修への参加や内部研修を充実させることで向上に努めることが出来ました。地域との連携した取り組みについては今後の課題と考えております。

【 重 点 項 目 】

1. 感染症や災害への対応力強化
 - ・職員の体調管理(検温・抗原検査)を徹底し、感染者が発生拡大を予防することができました。
 - ・利用者様の体調把握、利用時の感染対策を講じ、感染者が発生しても拡大させることなくサービスを継続することができました。
2. 地域包括ケアシステムの推進
 - ・地域課題の抽出や地域との連携した取り組みに関しては十分に行う事ができませんでした。
3. 自立支援・重度化防止の取組の推進
 - ・個々の状態、目標にそった個別機能訓練を実施し、重度化防止につなげることが出来ました。
4. 介護人材確保・介護現場の革新
 - ・介護実習を受け入れを行う事ができました。
 - ・介護職員初任者研修に参加し、知識・技術の向上が図れました。
5. 制度の安定性・持続可能性の確保
 - ・改正を理解し、適正な加算取得、運営基準を遵守することが出来ました。

【 利 用 状 況 】

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 6,395 名 |
| 2. 年間稼働日数 | 310 日 |
| 3. 年間稼働率 | 82.52 % (通所介護＋総合事業＋生きがいデイ) |
| | (75.43) % (通所介護) |
| | (7.08) % (総合事業) |
| 4. 年間平均介護度 | 2.65 (通所介護) |
| 5. 月別利用状況 | (延べ利用者数) |

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	100	105	119	110	91	86	70	63	65	75	87	93	1,064
要介護2	185	184	181	172	172	180	177	164	160	139	118	158	1,990
要介護3	89	93	79	100	110	107	132	112	109	95	78	112	1,216
要介護4	115	93	70	86	105	90	86	75	78	81	90	91	1,060
要介護5	55	47	47	52	41	53	43	34	18	42	41	43	516
計	544	522	496	520	519	516	508	448	430	432	414	497	5,846
事業対象者	4	4	4	3	5	4	4	5	4	4	4	5	50
要支援1	4	5	4	5	5	4	4	5	4	4	4	4	52
要支援2	50	48	41	39	39	40	41	41	27	22	26	33	447
計	58	57	49	47	49	48	49	51	35	30	34	42	549
合計	602	579	545	567	568	564	557	499	465	462	448	539	6,395

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	2	0	0	1	2	0	1	4	1	2	15
契約終了者数	0	1	2	1	3	2	1	3	1	2	1	2	19
月末契約者数	61	61	61	60	57	56	57	54	54	56	56	56	-4

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.5.23～ R4.5.25	ミニ運動会	春の運動会を開催。三日に分けて2種類ずつの競技を紅組と白組に分けて競い、優勝旗授与、記念品を配布しました。	利用者 58名 職員 24名
R4.7.7	七夕会	先月に作成した七夕飾りを飾り、歌を唄ったり、ゲームを行いました。	利用者 26名 職員 8名
R4.8.5	夏祭り	色々な模擬店や、職員の余興などを披露しました。	利用者 22名 職員 10名
R4.9.15	長寿を祝う会	長寿を祝う会開催し、最高齢、百寿、米寿、皆勤賞へ表彰している。その後、職員による余興、運転手による余興を披露しました。	利用者 26名 職員 10名
R4.10.6 R4.10.8	ミニ運動会	秋の運動会を開催。三日に分けて2種類ずつの競技を紅組と白組に分けて競い、優勝旗授与、記念品を配布しました。	利用者 68名 職員 24名
R4.11.22 R4.11.23	焼き芋会	ドラム缶で火を焚き、利用者様にサツマイモをアルミホイルで包んでいただき、芋を焼いている。おやつ時間に焼いたものを切って提供。試食を行いました。	利用者 32名 職員 18名
R4.12.1 R4.12.20	クリスマス飾りつけ クリスマス忘年会	12月初めにクリスマスツリーの飾り付け。会の当日はサンタクロースからプレゼントを渡したり、職員によるいろいろな余興を披露しました。	利用者 36名 職員 17名
R5.1.5～ R5.1.7	新春お楽しみ会	福笑いや紅白的あて、羽子板を作ったゲーム等、お正月の伝統的な遊びを工夫し行いました。	利用者 60名 職員 9名
R5.2.3 R5.2.4	節分会	職員が鬼に扮し、年男や年女の方に袴を着ていただいたり、利用者様に豆まきを行っていただきました。レクリエーションでは鬼たたきゲームを行いました。	利用者 38名 職員 16名
R5.2.3 R5.2.4	ひな祭りゲーム	ひな祭りを模した様々なゲームを企画し行いました。	利用者 42名 職員 12名
実施回数	10回	延 べ 参 加 者 数	556名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.14	終末期ケア及び、関わる職員の心のケア研修	准看護師	1名
R4.05.12	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	5名
R4.05.19	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	4名
R4.06.23	サービス提供に関わる勉強会（記録の方法）	介護福祉士	1名
R4.06.29	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	管理栄養士	1名
R4.06.30	介護技術勉強会（体位交換と移乗）	介護福祉士	1名
R4.07.13	褥瘡対策に関する研修	介護福祉士	1名
R4.07.21	急変時の対応に関する研修	看護師	1名
R4.08.18	事故発生防止のための研修	副主任	1名
R4.08.25	コンプライアンス及び、ハラスメントに関する研修	施設長	1名
R4.08.25	個人情報保護に関する研修	施設長	1名
R4.08.31	介護ロボット活用に関する研修	パラマウントベッドwebセミナー	1名
R4.09.15	介護技術勉強会	副主任	1名
R4.04.04	新任職員研修	施設長 他	1名
R4.09.22	認知症に関する研修	介護福祉士	1名
R4.10.26	サービス提供に関わる勉強会（PDCAサイクルの理解 他）	副主任	1名
R4.11.10	感染症予防に関する研修	菊風荘 准看護師	1名
R4.11.16	虐待防止研修	介護福祉士	1名
R4.12.08	ハラスメントに関する研修	施設長	1名
R5.02.15	身体拘束等の適正化に関する研修	介護福祉士	1名

R5.02.16	事故発生防止のための研修	介護福祉士	1名
R5.03.09	身体拘束等の適正化に関する研修	介護福祉士	1名

(2) 外部研修

今年度、未実施。

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関する検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	係2名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	係3名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	係3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	随時	係2名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制の検討、褥瘡予防対策の検討。	随時	係2名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

(2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
4月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
5月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
6月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
7月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
8月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
9月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
10月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
11月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
12月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
1月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
2月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名
3月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	0名

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延べ人数
6月20～24日	迫支援学校	介護体験実習	1	1名

【今後の取り組み】

1. 感染症や災害への対応力強化
 - ・感染症予防委員会・防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うとともに、研修の実施、訓練(シミュレーション)を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。
 - ・新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。
2. 地域包括ケアシステムの推進
 - ・認知症の方への対応力向上のため研修を実施し、よりよいサービスにつなげ居心地のよい場所を提供します。
 - ・地域とつながりを密に、行事への招待や介護相談窓口の設置。また、ミニデイなどへ職員を派遣します。
3. 自立支援・重度化防止の取組の推進
 - ・ひとりひとりの意向や状態にそった機能訓練を実施し、在宅生活の継続につなげます。
 - ・楽しく、意欲的に取り組める活動を提供します。
4. 介護人材確保・介護現場の革新
 - ・業務全体を見直し、効率化を図ることで、職員にとっても働きやすい職場作りを行います。特に記録等についてはペーパーレス化や重複作業などの見直しを進めます。
 - ・ハラスメント対策を強化し、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。
 - ・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。
5. 安全・安心なサービスの提供
 - ・車輛事故、違反の防止のための取り組みを実施し、安全な送迎体制を整えます。
 - ・サービス提供時の事故を予防して、利用者に安心して過ごせる場所作りを行います。

令和4年度 特別養護老人ホーム迫風園 事業報告

【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4) 開設年月日 平成5年4月1日
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	10名
計	60名

【 基本方針 】

特別養護老人ホームは、全国的に見て、居住系サービスの整備等により待機者が減少してきて、地域によっては利用者の奪い合いが出てきている状況であります。当地域においても同様なケースが見られる傾向となっており、選ばれる施設にしていかなければ生き残れない時代が既に来ております。恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識しながら、今年度は、稼働率の安定を保ち、介護・支援のあり方を見直し、利用者が楽しく快適に過ごしていただくとともに、業務の効率化を検討し、職員も働けて良かったと思う施設にしていきます。そして、それが継続的にできるようシステム作りに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返していることから、その対応にも十分留意し、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組みます。

【 重点項目 】

1. 利用者が快適に過ごせる取り組み
 - ・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
 - ・医療との連携により看取り介護をガイドラインに沿って実施し、利用者にとって最善の方針をとりました。
 - ・利用者の尊厳や人権を守るため、虐待防止や身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助しました。
 - ・生活のメリハリや充実感を保つよう、音楽療法や各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施しました。
 - ・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討しました。
 - ・人手不足や忙しさに囚われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込むことはできませんでした。
 - ・事故報告のため、安全安心な介護の仕方を検討し、検証しました。
2. 業務の効率化の取り組み
 - ・見守り介護ロボットやインカムにて、安全安心な介護を行っていくとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめるような適切・効果的な使用を検討し、効率化を図るよう努めました。
 - ・今後必要と思われるロボット機器の検討にも繋げました。
 - ・介護全般を見直し、業務の細分化や集約化を図りました。
3. 安定した経営と運営の取り組み
 - ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを図り努力しました。
 - ・そのために効果的な行動を取ったかを検証しましたが、マニュアル化までではできませんでした。
 - ・各関係機関からの情報や老人協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応しました。
4. 開かれた施設作りへの取り組み
 - ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保はできませんでした。
 - ・認知症カフェとRUI Café(オレンジカフェ)、認知症セミナー等はコロナ禍にて開催できませんでした。
 - ・コロナ禍にて、家族を招待し長寿を祝う会等の行事や気軽に面会できるような対応ができませんでした。
 - ・コロナ禍にて、行事や面会等難しい場合が予想されますので、利用者の状況が的確に家族に伝わり安心していただけるよう努めました。
 - ・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校とも連携し災害時対応時に協力体制ができるよう努めました。

5. 職員のスキルアップの取り組み

- ・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるような役割を担いました。
- ・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場に努めました。

6. 感染対応への取り組み

- ・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をしました。
- ・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、すみやかに対応できるよう研修訓練を実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,238 名
2. 年間稼働率 94.45 %
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.06
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
要介護3	330	341	330	332	310	289	292	264	255	273	280	285	3,581
要介護4	772	778	708	772	744	713	734	738	753	744	678	744	8,878
要介護5	349	352	387	403	413	421	434	394	402	384	376	403	4,718
計	1,451	1,502	1,455	1,507	1,467	1,423	1,460	1,396	1,410	1,401	1,334	1,432	17,238

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	1	1	0	2	1	1	2	2	2	1	15
退所者数	0	1	2	0	1	3	0	2	3	1	1	1	15
月末入所者数	49	49	48	49	48	47	48	47	46	47	48	48	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
4月22日	さくら祭り	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止し、職員にアトラクション(マジックショー)を実施している。	利用者 38名 職員 6名
7月3日	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節感を味わっている。	利用者 12名 職員 4名
7月21日	夕涼み会	夏らしい装飾をした会場の中で、輪投げや射的といったゲームを楽しみ夏の季節と夏祭りの気分を味わっている。	利用者 41名 職員 6名
8月22日	盆供養	職員のみで盆供養が実施された。焼香し手を合わせ物故者の冥福を祈っている。	利用者 0名 職員 4名
9月15日	長寿を祝う会	来賓やご家族、外部アトラクションは呼ばずに利用者様と職員で式典を実施している。	利用者 26名 職員 7名
9月21日	お月見会	季節の果物やすずき、桜紙で作った団子を飾り、秋の風物詩であるお月見会を行い利用者に季節感を味わっていただいている。	利用者 11名 職員 2名
10月26日	芋煮、焼き芋会	芋煮、焼き芋の下準備を行い、屋外にて調理する工程を見学する。秋の味覚を味わい季節を感じていただいている。	利用者 48名 職員 14名
12月21日	クリスマス会	サンタクロースとトナカイがソリに乗り各居室をまわり利用者様にプレゼントをわたしている。クリスマス気分を味わっていただいている。	利用者 47名 職員 6名
12月28日	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者様で実施。お供え餅を丸め、水の木に飾り付けを行っている。	利用者 31名 職員 15名
1月4日	新年会	獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節感を味わっていただいている。	利用者 10名 職員 7名
2月1日	節分・豆まき	年女(利用者)と鬼に仮装した職員が記念写真を撮影した後、鬼が各居室をまわり豆まきを実施。季節感を味わっていただいている。	利用者 47名 職員 14名
3月3日	ひな祭り会	雛壇や桃の花を飾り眺めながらひな祭りの由来を紹介する。抹茶を点ててお饅頭を召し上がっていただきお茶会を楽しんでいただいている。	利用者 26名 職員 5名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 3,201 名
2. 年間稼働率 87.70 %
(目標稼働率 90.00 %)
3. 年間平均介護度 3.20
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	9
要介護 1	21	6	8	6	9	5	5	0	0	11	10	12	93
要介護 2	59	66	92	75	45	46	38	34	43	48	35	37	618
要介護 3	108	129	125	122	101	79	164	62	113	124	110	133	1,370
要介護 4	76	68	64	80	68	60	106	39	65	66	48	54	794
要介護 5	14	22	22	17	5	8	17	16	29	33	52	82	317
計	280	291	311	300	228	198	330	151	250	282	262	318	3,201

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.4.13	新規採用職員研修	施設長	1名
R3.4.27	介護基礎研修(看とりケア)	看護師	4名
R4.5.19	コンプライアンス研修(服務規程)	施設長	5名
R4.5.27	介護基礎研修(移乗・移動)	介護福祉士	1名
R4.6.9	防災研修(発電機の取り扱い)	副主任	13名
R4.6.15	事故防止研修	介護福祉士	6名
R4.7.3	介護基本研修(排泄介助)	介護福祉士	4名
R3.7.13	食中毒研修	管理栄養士	7名
R4.10.12	身体拘束・高齢者虐待研修	介護福祉士	8名
R4.10.19	介護基本研修(食事介助)	副主任	4名
R4.10.19	安全運転・安全衛生研修	施設長	7名
R4.10.22	介護基礎研修(ポジショニング研修)	介護福祉士	4名
R4.10.25	感染症対策研修	施設長	8名
R3.10.26	防災研修(防災釜の取り扱い)	管理栄養士	5名
R4.12.7	感染症予防研修	看護師	7名
R4.12.14	認知症研修	副主任	6名
R5.1.26	防犯研修	副主任	11名
R5.1.27	事故防止研修	介護福祉士	8名
R5.1.28	褥瘡対策研修	看護師	8名
R5.2.1	介護基礎研修(接遇研修)	介護福祉士	8名
R5.2.15	個人情報保護研修	副主任	6名
R5.3.15	救命救急研修	副主任	6名
R5.3.29	見守り機器活用研修	副主任	12名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.5.18	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	石巻市	職員1名
R4.6.7	窒息が起きた時の対応	東北大学	Web	職員2名
R4.7.5	痙攣が起きた時の対応	東北大学	Web	職員2名
R4.7.19	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R4.8.4	高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	宮城県老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R4.8.9	シミュレーションで学ぶ!脳卒中	東北大学	Web	職員2名
R4.8.10	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員2名
R4.10.11	窒息が起きた時の対応	東北大学	Web	職員2名
R4.12.13	シミュレーションで学ぶ!脳卒中	東北大学	Web	職員2名
R5.1.17	転んで頭を打った人の観察と評価法	東北大学	Web	職員2名
R5.1.31	業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R5.2.6	特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市長寿介護課地域包括支援班	Web	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第3木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2水曜日	施設長、管理栄養士、相談員、看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3水曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、管理栄養士、受託職員、生活相談員、看護職員、介護職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随時	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
随時	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止等、リスクマネジメントの検討	第4木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策委員会	感染症予防、褥瘡予防、BCPに関する検討	第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会 (自立支援・重度化防止検討委員会)	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践の検討	第1水曜日	施設長、各委員
業務改善委員会 (介護ロボット活用委員会)	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第1木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災、防犯、BCPに関する検討	第3木曜日	施設長、各委員
拠点連携委員会	併設通所事業所との連携事業の検討(職員会議で実施)	随 時	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
	無		

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
6月15日	東北医科薬科大学	介護在宅医療体験実習代替	3名	3名
7月4日	迫桜高校	介護実習	2名	2名
3月16日	迫桜高校	介護実習	1名	1名
計			6名	6名

【今後の取り組み】

1 利用者が快適に過ごせる取り組み

- ・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築します。また、医療との連携により看取り介護をガイドラインに沿って実施し、利用者にとって最善の方針をとります。
- ・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助できるようにしていきます。
- ・生活のメリハリや充足感を保つよう、音楽療法や各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施していきます。
- ・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうする」という考え方で、職員全体で検討していきます。
- ・人手不足や忙しさに囚われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしていきます。
- ・事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、検証していきます。

2 業務の効率化の取り組み

- ・見守り介護ロボットやインカムにて、安全安心な介護を行っていくとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し、効率化を図っていきます。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行っていきます。
- ・業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を図っていきます。

3 安定した経営と運営の取り組み

- ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や光熱水費等の節約に向けた取り組みを進めます。そのためにどのような効果的な行動を取ったかを検証していきます。
- ・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応していきます。

4 開かれた施設作りへの取り組み

(感染症の流行や発生状況によりBCPに沿って対応変更するが、基本的に下記の取り組みを行う。)

- ・実習やインターンシップ、見学、ボランティアを積極的に受け入れマンパワーの養成と確保に努めます。
- ・認知症カフェの実施。RUI Café(オレンジカフェ)等を開催し、地域とのつながりを持って行きます。
- ・行事等や気軽に面会できるような対応を行い、家族とのつながりを大切にしていきます。
- ・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校及び地域とも連携し、災害時対応時に協力体制ができるよう努めます。
- ・ボランティアを積極的に受け入れることで施設に来ていただき、直接見ていただけることで地域住民の理解と協力をいただけるようにしていきます。
- ・感染症の流行時や発生状況に合わせて、行事や面会等難しい場合は、利用者の状況が的確に家族に伝わり安心していただけるようにしていきます。

5 職員のスキルアップの取り組み

- ・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるようにしていきます。
- ・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場とします。

6 感染対応への取り組み

- ・職員や利用者の健康管理を徹底し、新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症を持ち込まないようにします。
- ・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても、業務継続計画(BCP)に従い必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。
- ・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、施策の変更と併せBCPの見直しと研修及び訓練を通じてすみやかに対応できるように実施します。

令和4年度 迫デイサービスセンター翠風荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市迫町北方字大洞45-3
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成3年4月1日
5. 利 用 定 員	40 名

通所系サービスは、事業所の乱立により利用者の奪い合いになっている状況で、選ばれる施設にしていかなければ生き残れない時代が既に来ております。恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識しながら、今年度は、介護・支援のあり方を見直して、機能訓練はもちろんのこと、利用者のニーズに合わせた魅力的な特徴あるプログラムメニューに取り組みます。そして利用者の皆さんが楽しく過ごしていただくとともに、業務の効率化を検討し、職員も働けて良かったと思う施設となり、それが継続的にできるシステム作りに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返していることから、その対応にも十分気をつけ、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設作りに取り組みます。

【 重 点 項 目 】

①利用者が快適に過ごせる取り組み

- ・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
- ・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助しました。
- ・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図りました。
- ・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施しました。
- ・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討しました。
- ・人手不足や忙しいに囚われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしませんが、コロナ対策で積極的な研修参加はできませんでした。
- ・事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、検証しました。

②業務の効率化の取り組み

- ・介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し、効率化を図りました。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行いました。
- ・業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を図りました。

③安定した経営と運営の取り組み

- ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進め、そのためにどのような効果的な行動を取ったかを検証しましたが、マニュアル化まではできませんでした。
- ・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応しましたが、コロナ対策で情報交換等不十分でした。

④開かれた施設作りへの取り組み

- ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めました。
- ・認知症カフェの実施。RUI Cafe(オレンジカフェ)、認知症セミナー等はコロナ対策で開催できませんでした。
- ・家族が気軽に相談や来園できる体制はコロナ対策で取れませんでした。
- ・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校とも連携し災害時対応時に協力体制ができるよう努めました。

⑤職員のスキルアップの取り組み

- ・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるように役割を担いました。
- ・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場に努めました。

⑥感染対応への取り組み

- ・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築しました。
- ・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、すみやかに対応できるよう研修訓練を実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,710 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 86.37 % (通所介護+総合事業)
(79.20) % (通所介護)
(7.17) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.58 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	139	148	153	160	142	152	147	152	144	146	154	148	1,785
要介護2	257	268	281	279	251	229	254	229	231	235	239	275	3,028
要介護3	291	300	290	259	261	276	271	285	284	251	230	259	3,257
要介護4	88	88	70	86	104	82	98	91	86	88	87	109	1,077
要介護5	82	91	62	46	48	48	47	40	45	41	50	74	674
計	857	895	856	830	806	787	817	797	790	761	760	865	9,821
事業対象者	7	9	8	9	9	9	8	7	9	8	8	9	100
要支援1	26	24	25	24	26	23	25	30	26	19	25	29	302
要支援2	36	37	37	34	30	34	46	45	51	48	41	48	487
計	69	70	70	67	65	66	79	82	86	75	74	86	889
合計	926	965	926	897	871	853	896	879	876	836	834	951	10,710

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	5	2	0	1	3	2	2	1	3	4	4	31
契約終了者数	9	2	2	0	5	1	1	5	4	3	4	0	36
月末契約者数	91	94	94	94	90	92	93	90	87	87	87	91	-5

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.06.06 ～06.08	春のミニ運動会	競技を通して身体機能の維持やリフレッシュを図る。	利用者 107名 職員 34名
R4.07.05 ～07.07	七夕会	七夕ゲームを通して季節感を味わっていただく。	利用者 73名 職員 21名
R4.09.15 ～09.17	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、アトラクションなどを楽しんでいただく。	利用者 101名 職員 34名
R4.10.13 ～10.15	秋のミニ運動会	競技を通して身体機能の維持やリフレッシュを図る。	利用者 98名 職員 35名
R4.11.07	焼き芋会	焼き芋を味わいながら、季節感を味わっていただく。	利用者 39名 職員 11名
R4.09.15 ～09.17	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、アトラクションなどを楽しんでいただく。	利用者 101名 職員 34名
R4.12.19 ～12.21	クリスマス会	職員による余興を鑑賞されたり、職員の扮するサンタクロースからクリスマスプレゼントを貰い、クリスマスを満喫していただく。	利用者 108名 職員 34名
R5.01.10 ～1.12	新年会	余興を見たりお屠蘇を振る舞い、新年を迎えたことをみんなです。	利用者 95名 職員 27名
R5.02.06 ～02.08	節分会	立春を迎え春の喜びを感じながら季節感を味わっていただく。	利用者 104名 職員 32名
R5.03.03 ～03.06	ひな祭り会	立春を迎え春の喜びを感じながら季節感を味わっていただく。	利用者 111名 職員 38名
		延べ参加者数	利用者 937名 職員 300名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.08	新規採用職員研修	管理者兼生活相談員	1名
R4.05.25	コンプライアンス研修	施設長	7名
R4.05.27	防犯対策講習	管理者兼生活相談員	4名
R4.06.17	食中毒予防研修	管理栄養士	7名
R4.06.23	感染症対応(嘔吐物処理)研修	准看護師	5名
R4.07.23	緊急時の対応(救命救急)研修	管理者兼生活相談員	8名
R4.07.29	安全運転講習	介護福祉士	4名
R4.10.17	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	4名
R4.04.08	感染予防研修	管理栄養士	4名
R4.10.21	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	6名
R4.10.28	リスクマネジメント研修	介護福祉士	4名
R4.12.06	冬道の安全運転研修	管理者 介護福祉士	8名
R4.12.13	個人情報保護(プライバシー)研修	管理者兼生活相談員	6名
R5.01.26	身体拘束廃止研修	作業療法士	4名
R5.02.07	腰痛予防体操研修	作業療法士	5名
R5.02.13	感染症対応(嘔吐物処理)研修	准看護師	4名
R5.02.17	感染症対応(嘔吐物処理)研修	准看護師	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.10.03	令和4年度登米市認知症カフェ研修	登米市福祉事務所 長寿介護課	南方庁舎 2階	職員1名
R4.11.14	令和4年度職員フォローアップ研修	恵泉会本部	Web	職員2名
R4.11.18	令和4年度職員フォローアップ研修	恵泉会本部	Web	職員1名
R4.11.22	感染症予防オンラインセミナー	宮城県社会福祉 協議会	Web	職員1名
R4.12.08	財務会計・管理会計研修	恵泉会本部	恵泉会本部 2階	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員 1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他 16名
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	管理者兼生活相談員 1名
給食会議	給食に関する事項等	月1回	給食係 1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	4名
リスクマネジメント・身体拘束廃止検討委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	6名
アクティビティケア・自立支援重度化防止検討委員会	地域交流、重度化防止、利用者ケアの充実について	月1回	4名
感染症・褥瘡対策委員会	新型コロナ、感染症、褥瘡の対応について	月1回	5名
防災委員会	利用者、職員の安全対策、BCPについて	月1回	2名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R4.04.01 ～04.22	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	7名
R4.05.09 ～05.30	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	7名
R4.06.01 ～06.22	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	7名
R4.07.06 ～07.25	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	6名
R4.08.08 ～08.26	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	6名
R4.09.01 ～09.21	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	7名
R4.10.03 ～10.24	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	6名
R4.11.02 ～11.16	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	4名
R4.12.05 ～12.19	高橋高子様・佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	6名
R5.01.16 ～01.20	佐々木とも子様 大里正子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	2名
R5.02.07 ～02.	佐々木とも子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	1名
R5.03.06 ～03.27	佐々木とも子様・千葉真子様(社協ボランティア友の会)	利用者支援補助	4名
計			63名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R4.06.15	東北医科薬科大学	介護・在宅医療体験実習	1名	1名
R4.06.27 ～07.01	宮城県迫桜高等学校	通所介護実習 I	2名	10名
R4.08.08 ～08.12	宮城県社会福祉協議会	義務教育職員免許法の特例による「介護等の体験」	1名	1名
計			4名	12名

【今後の取り組み】

①利用者が快適に過ごせる取り組み

- ・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築します。
- ・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助できるようにしていきます。
- ・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図っていきます。
- ・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施していきます。
- ・会議やミーティングにて、既存の考え方に囚われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討していきます。
- ・人手不足や忙しさに囚われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしていきます。
- ・事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、検証していきます。

②業務の効率化の取り組み

- ・介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し、効率化を図っていきます。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行っていきます。
- ・業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を図っていきます。

③安定した経営と運営の取り組み

- ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や光熱水費等の節約に向けた取り組みを進めます。そのためにもどのような効果的な行動を取ったかを検証していきます。
- ・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応していきます。

④開かれた施設作りへの取り組み

- （感染症の流行や発生状況によりBCPに沿って対応変更するが、基本的に下記の取り組みを行う）
- ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
- ・認知症カフェの実施。RUI Cafe(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持っています。
- ・家族が気軽に相談や来園できる体制ができるよう取り組みます。
- ・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校とも連携し災害対応時に協力体制ができるよう努めます。
- ・ボランティアを積極的に受け入れることで施設に来ていただき、直接見ていただけることで地域住民の理解と協力をいただけるようにしていきます。

⑤職員のスキルアップの取り組み

- ・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるようにしていきます。
- ・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場とします。

⑥感染対応への取り組み

- ・職員や利用者の健康管理を徹底し、感染症を持ち込まないようにします。
- ・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても業務継続計画(BCP)に従い必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。
- ・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、施策の変更と併せ感染対策委員会にて検討し、BCPの見直しと研修及び訓練(シミュレーション)を通じてすみやかに対応できるように実施します。

令和4年度 特別養護老人ホーム南風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市南方町高石6番地43
2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日 平成6年5月1日
5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	54 名
短期入所生活介護	16 名
計	70 名

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を継続し、ワクチン接種、職員対象の抗原キットによる検査など積極的に進め、重点項目を主に事業の取り組みを進めたが、令和4年6月に空調不良、令和4年11月に施設内感染により大きく稼働率を下げた。その状況の中でリスク低減と利用者確保を図った。

サービス向上として、職員資質・専門性の向上のため計画的な内部研修、OJT研修を実施し知識技術の向上を図った。

【 重 点 項 目 】

1. サービスの質の向上の取り組み

自立支援・重度化防止の取り組みとして排泄ケア計画・口腔ケア計画・栄養ケアマネジメント計画・褥瘡予防ケアマネジメント計画をそれぞれ進め、個別援助計画に反映させ、ケアを実践し、ケアスタッフ会議においてモニタリングと評価検討を年12回実施した。またADL評価、LIFEによるフィードバックを受け個別援助計画の検討を6ヶ月に1回実施し、他職種協働で取り組みを進めた。

生きがいサービス活動として、生花を年11回、書道を年6回、音楽を年11回、創作を年12回、レク活動(出前会、お茶会、焼き芋会など延べ84名参加)年11回、外出を年4回実施した。コロナ禍において楽しみある企画を工夫して実施した。

寝たきり防止等・重度化防止の取り組みとして、排泄ケアに係るスクリーニングを行い、利用者個々のケア内容についてケアスタッフ会議、個別援助会議において検討し、個別援助計画のとおり実践した。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

認知症ケアへの対応力向上と認知症ケア加算の算定要件に必要な人員体制の整備のため、認知症介護実践者リーダー研修1名、認知症介護実践者研修1名を受講させ、サービス提供体制の整備を進めた。資格取得者は認知症介護実践リーダー2名、認知症介護実践者2名となった。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

予防衛生委員会(感染対策委員会)において、感染状況、感染予防対策の検討を月1回行った。感染予防における研修、宮城県の事業を活用し、専門家による研修会を実施し、感染防止、BCPに基づき実践した。令和5年11月中旬から約1ヶ月間、クラスターが発生、利用者はもちろん職員の多くが罹患したが、法人内職員応援等もあり対応することが出来た。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

新型コロナの影響により登米総合産業高校からの実習受入、職場体験等の実習はなかった。研修教育においては、外部研修にはオンライン方式で受講した。内部研修は計画的に進め、特に時間の合間を見てながら人数による介護技術OJT研修を計画的に進めた。また人材育成に必要な介護福祉士実習指導者を講習会1名が受講し修了する。全職員へのコンプライアンス研修を実施し、基本理念、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図った。

介護支援専門員、介護福祉士をそれぞれ1名が資格取得し、介護職員初任者研修を1名が修了した。

5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

業務改革、働き方改革の一環として、全職員年5日の年次有給休暇を取得した。月1回の業務改善委員会において、見守り介護ロボットのデータ活用、業務効率等の検討評価を行った。

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」は、新型コロナの影響で実施しなかった。

7. 継続的な事業運営の取り組み

感染予防対策を実施してきたが、令和4年11月に新型コロナウイルス感染症が発生、施設内で感染拡大クラスターとなる。保健所の指導、法人内職員の応援により対応した。稼働率は、その影響の他、6月における空調設備不良による利用控え、年間通じての入退所者や入院者が多く、稼働率を下げる大きな原因となった。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 18,087 名
2. 年間稼働率 91.77 %
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.14
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	266	270	247	248	235	228	229	230	191	198	224	222	2,788
要介護4	779	821	826	836	863	803	837	793	793	873	827	884	9,935
要介護5	491	466	477	438	427	436	468	480	421	421	393	446	5,364
計	1,536	1,557	1,550	1,522	1,525	1,467	1,534	1,503	1,405	1,492	1,444	1,552	18,087

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	1	0	2	3	2	0	1	3	2	2	18
退所者数	1	0	0	2	3	1	4	0	2	2	0	3	18
月末入所者数	52	53	54	52	51	53	51	51	50	51	53	52	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.20	春まつり	感染予防の為、規模縮小での開催。「春の小川」を合唱し、桜を眺めながら園庭の散策を実施。職員による「能・ニューチューブダンス」をご覧頂く。	利用者 53名 職員 12名
R3.05.03 ～5.06	菖蒲湯	端午の節句にちなみ、昔からの風習に習って湯船に菖蒲を浮かべ健康と無病息災を願う。その効果により腰痛や神経痛を和らげ心身共にリラックスして頂く。	利用者 28名 職員 13名
R4.07.06	七夕交流会	感染予防の為、他事業所との交流会は実施せず。短冊に願い事を書いて頂き飾り付け、かき氷を職員により作成し提供する。	利用者 51名 職員 8名
R4.07.29	夕涼み会	盆踊りや神輿担ぎ、スイカ割りを行い、気分転換を図って頂くと共に、夏の涼を感じて頂く。	利用者 63名 職員 14名
R4.08.19	盆供養	住職を迎え読経・焼香を行い物故者の供養を行う。	利用者 13名 職員 5名
R4.09.13	長寿を祝う会	永年の労に感謝し、職員による余興を鑑賞しながら共に祝う。	利用者 63名 職員 25名
R4.10.19	秋のレクリエーション (あやめ園との交流会代替)	運動の秋にちなみ利用者全員で簡単なゲームを行い心身の活性化に繋げていく。	利用者 35名 職員 11名
R3.12.15 ～18	ゆず湯	寒くなってくる季節のため、昔からの風習に習って湯船に柚子を浮かべて入浴して頂く。	利用者 57名 職員 23名
R4.12.23	クリスマス忘年会	クリスマスプレゼントの贈呈と、スライドショー上映。その後、職員による余興を実施。	利用者 34名 職員 15名
R5.01.11	新年会	新年の雰囲気を感じながら一年の健康を願う。食堂前にて初詣とおみくじを引いていただき、職員による獅子舞の余興を行い、無病息災を祈る。	利用者 32名 職員 11名
R5.02.03	節分	健康と長寿を願い、第一食堂にて豆まきを行う。	利用者 59名 職員 8名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 4,075 名
2. 年間稼働率 69.78 %
(目標稼働率) 85.00 %
3. 年間平均介護度 3.23
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	64	68	51	48	34	43	58	30	6	22	25	25	474
要介護 2	63	73	75	68	79	137	111	60	50	127	68	71	982
要介護 3	117	87	59	61	42	56	35	7	22	51	43	61	641
要介護 4	84	92	111	153	112	107	136	53	35	69	79	59	1,090
要介護 5	57	97	100	90	97	84	57	20	27	80	84	89	882
その他	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
計	385	417	396	420	364	427	397	176	140	349	299	305	4,075

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.10、16、17	安全対策研修	南風園介護福祉士	8名
R4.04.25～27	業務管理体制研修	南風園施設長	28名
R4.04.20	新任職員研修:介護事故防止	南風園安全対策担当者	4名
R4.05.03	新任職員研修	南風園施設長	1名
R4.05.30	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	南風園介護福祉士	6名
R4.05.30	褥瘡予防研修	南風園看護師	7名
R4.06.22	介護事故防止研修(前期)	南風園介護福祉士	5名
R4.06.29	感染症蔓延予防研修(前期)	南風園管理栄養士	4名
R4.08.09	医療研修(前期)	南風園副主任看護師	6名
R4.08.26	安全衛生管理研修	南風園施設長	8名
R4.08.30	認知症高齢者介護基本研修	南寿荘副主任介護福祉士	6名
R4.09.12	バイタルサインと記録の記載についての研修	南風園副主任看護師	7名
R4.09.26	BCP研修(防災)	南風園介護福祉士	9名
R4.10.26	BCP研修(感染)	南風園介護福祉士	8名
R4.10.28	介護予防研修	南寿荘作業療法士	6名
R5.01.18	交通安全教室	南風園施設長	3名
R5.01.25	感染症蔓延予防研修(後期)	南風園看護師	7名
R5.2.23.24 3.8	介護事故防止研修(後期)	南風園安全対策担当者	17名
R5.02.27	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	南寿荘准看護師	6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.06.10,24 R4.7.8,29	令和3年度介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R4.07.21	令和4年度安全運転管理者講習	登米祝祭劇場	登米市	職員1名
R4.07.27 R4.8.12,23, 29	令和4年度介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	仙台市	職員1名
R4.09.08	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	動画配信	職員1名
R4.10.03	令和3年度登米市認知症カフェ研修会	登米市	登米市	職員1名
R4.10.5,6,17,18 R4.12.12	令和4年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大崎市	職員1名
R4.10.14,28 R4.11.11,25	令和4年度第2回介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R4.11.22	要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修会	宮城県歯科医師会	eラーニング	職員1名
R4.11.22	感染症予防オンラインセミナー	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.01.27	認知症介護セミナー	社会福祉法人東北福祉会	動画配信	職員1名
R5.1.19,20,23,25 R5.3.17	令和4年度宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	職員1名
R5.02.06	令和4年度特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市	オンライン	職員1名
R5.2.15,16	令和4年度社会福祉施設新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・相談員・相談員・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
苦情処理リスクマネジメント委員会	家族・利用者の苦情・に対しリスクを考慮しながら予防と防止対策を図っている。	毎月第1木曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
サービス向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、サービス評価事業に取り組んでいる。	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行っている。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去や環境の整備を行っている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努めている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及び、研修等を行っている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備している。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
マニュアル検討委員会	施設サービスを適切に提供できるよう各種マニュアルの作成、見直しを行っている。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

1) 自立支援・重度化防止の取り組み

①ADL評価・興味関心チェックシートを基に、個別援助計画に反映し実践する。定期的に個別援助計画会議を開催し評価見直しを行い、自立支援に資するケアの実践を進めます。

②認知症状の把握と分析を定期的に個別援助計画会議においてすすめ、自己決定、自己選択等に配慮したケアと自立支援を念頭に個別介護の実践を進めます。

③健康維持、管理においては、口腔衛生の保持が重要であるため、嘱託医・歯科衛生士の指導の他、口腔ケア研修により知識、ケア技術等を研修にて習得し、口腔ケアを実践します。ケアスタッフの統一したケアができるよう、OJTやその内容の記録、実践の確認等により介護力の向上の取組を進めます。

④利用者満足度の向上を目的とする仕組みについては、興味関心シートのほか行事後のご意見を参考に適時ミーティングや職員会議、ケアスタッフ会議にて検討し、利用者満足度向上の取り組みを進めます。

2) 寝たきり防止等・重度化防止の取り組み

①利用者の尊厳維持、自立支援・重度化防止の推進、廃用や寝たきりの防止のため、機能訓練や日々の利用者状態に応じて起床を促し、生活リズムを整え、楽しみを持ちながら日中活動を進めます。

②日々の排泄状況の確認や排泄スクリーニングを実施し、状態を把握した上で、必要で適切な対応、排泄に係る要介護の状態を悪化させない取り組みを進めます。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、認知症対応への不安は大きいと、地域の受け皿として取り組みます。

1) 認知症への対応力向上に向けた取り組み

①認知症について理解の下、利用者主体のケアを行い、認知症利用者の尊厳の保障を実現するために認知症ケアに関する専門研修の受講し、その人員配置及び加算取得に向けた取り組みを進めます。

②無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、認知症対応力を向上させ、認知症ケア実践の体制作りを行います。

③認知症の特性に応じた介護予防研修により、知識技術の習得、サービスの質の向上をすすめます。また認知症介護マニュアルを実践し、特性に応じたケアや予防に資する取り組みを進めます。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します
1)感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、予防衛生対策委員会(感染対策委員会)を通し、利用者家族、職員への啓蒙、研修訓練を実施します。

2)新型コロナウイルス感染症の感染を予防、感染経路の遮断という観点と、つながりや交流が利用者の心身の健康に与える影響という観点から、地域における発生状況等を踏まえ、可能な限り安全に面会(窓越し・リモート方式)が実施できるようにします。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

1)外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論、実践の学びを深めます。

2)認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員においては、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。

3)日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。

4)人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

1)インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、ケアパレット・iPad導入により、業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を進めます。

2)サービス向上委員会(業務改善委員会)において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。

3)マニュアル検討委員会において、既存のマニュアルの見直しの他、新たに必要なマニュアル、手順書を作成し

4)介護事故防止のため必要な情報収集を多くし適切な対応策を検討します。

5)利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行います。

6)年次有給休暇5日以上の実績な取得と労災事故ゼロの取組(安全衛生研修、腰痛予防、危険箇所の把握と改善)をすすめます。

7)ストレスマネジメント(職場ストレス評価)を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識し、組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境改善に取り組みます。

6. 地域貢献・地域連携の取り組み

1)地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症についての理解と啓蒙、専門性の向上、介護情報の発信を目指します。認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制づくりに取り組みます。

2)学校教育における職場体験学習、専門学校や大学における介護実習やその他ボランティア等の受入を行い、介護人材の育成、施設機能を開放し、役割を地域住民へ周知していきます。

3)地域災害相互協定(覚書)について

①登米市(災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書)

②宮城県老人福祉施設協議会(災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害時相互支援

③恵泉会(施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定)

④地区(高石地区)との災害時相互協定に向けた取り組み。

7. 継続的な事業運営の取り組み

1)業務継続に向けた取り組みとして、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、策定した業務継続に向けた計画(BCP)の適宜見直し、研修・訓練を実施します。

2)算定できずにいる加算の取得を目指す。特に認知症ケアについては、専門性が高いことから研修修了者を増やし、取り組める体制の整備を構築します。

3)毎月の事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践します。

4)年間収入見通し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率を評価分析、総合的に検討します。

令和4年度 南方デイサービスセンター南寿荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市南方町高石6-8 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成6年5月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 32 名 |

2025年には団塊の世代が75歳以上、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、現役世代が急激に減少し、高齢化の問題はますます深刻になります。南方地域の要支援・要介助者数は、2030年まで増加し、その後緩やかに減少(ピークアウト)していきます。人口減少する一方、高齢者人口が増加するという情勢を踏まえ、当事業所においても地域で支える仕組み、支援体制(地域包括ケア)の構築、「地域共生社会」の実現に向け、その観点立った取り組みを推進してきました。「自立支援・重度化防止」という地域課題や社会的要請に応えるべく、職員の資質、専門性の向上、業務改善、地域貢献や地域連帯、継続可能な事業運営、サービス提供体制の基盤強化を進め、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに向けて取り組んでいきます。

【 重 点 項 目 】

- サービスの質の向上の取り組み
 - 運動器機能や認知機能にかかるプログラムを取り入れながら、内容も週毎に替えて毎日集団リハビリを実施した。その効果測定としてADL評価を6ヶ月に1回行い効果がありました。
 - 生きがいサービス(レク活動・創作活動・園芸活動)は、月毎のメニューに取り入れ、年間を通じて取り組み、楽しみのある活動を工夫をしました。
 - 口腔ケアの必要な方へ個別ケアとして取り組み、家族やケアマネジャーと連携し状況について共有した。健康教室においては、口腔衛生の保持について利用者と共に理解を深めた。年間通じて誤嚥性肺炎を起こす利用者はいませんでした。
- 地域包括ケア推進への取り組み
 - 認知症対応力向上のための取り組みとして、資格のない介護職員に対しては認知症介護基礎研修を受講しました。また、認知症介護実践者研修修了者には認知症実践者リーダー研修を受講し、認知症介護の体制整備とともに認知症対応力を養いました。
 - 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「みなみかぜ」を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施できませんでした。
- 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み
 - 日々の健康観察、室内及び送迎車両内の喚起、手指消毒、共有物品の消毒等感染リスクの回避に努めたが、令和4年11月中旬、感染者発生により職員罹患し、1週間事業休止に至りました。
 - 感染症及び自然災害発生時に事業を休止する事のないよう、BCP(事業継続計画)の見直しをした。また策定した事業継続計画に基づき、県事業による講師を招き研修会を開催しました。
- 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
 - 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、外部研修の参加は困難でしたが、オンラインでの研修に積極的に参加しました。
 - 研修委員会を通じて、内部研修を企画、開催(のべ23回開催、のべ80名参加)により、知識と技術の習得、理論実践を深めました。
 - 認知症介護実践者リーダー研修1名修了、認知症介護基礎研修1名修了しました。
 - 恵泉会職員研修大会において、施設発表を行いました。
 - マニュアル検討委員会では、現マニュアル検証と見直しを行いました。
- 地域貢献・地域連携の取り組み
 - 社会福祉法人として食事代無料化とし、利用者負担の軽減をしています。
 - 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、幼児・児童・生徒との定期的な開催はできませんでしたが、収束後も良好な交流会が保てるよう、互いに記念となるプレゼント交換を行いました。
 - 新型コロナウイルス拡大に伴い、見学やボランティアの積極的な受け入れができませんでした。
- 継続的な事業運営の取り組み
 - 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や節電の取り組みを進めた。新型コロナウイルス感染症に利用者のみならず職員も罹患したが、事業休止を1週間で通常稼働に戻した。事業休止にしたことで、稼働を下げ、収入も下げました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,694 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 77.56 % (通所介護+総合事業)
(71.76) % (通所介護)
(5.80) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.31 (通所介護)
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	199	162	142	144	116	141	156	90	131	125	106	127	1,639
要介護2	281	257	282	287	222	241	234	166	210	190	195	224	2,789
要介護3	109	114	128	136	161	179	182	117	162	153	155	160	1,756
要介護4	95	72	68	54	57	57	60	36	55	57	49	46	706
要介護5	11	11	26	25	15	19	17	16	18	22	24	25	229
計	695	616	646	646	571	637	649	425	576	547	529	582	7,119
事業対象者	8	0	0	0	0	3	4	3	7	8	7	8	48
要支援1	16	44	11	12	13	13	12	11	15	18	18	18	201
要支援2	24	17	46	45	32	33	32	21	18	15	20	23	326
計	48	61	57	57	45	49	48	35	40	41	45	49	575
合計	743	677	703	703	616	686	697	460	616	588	574	631	7,694

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	3	2	1	2	2	2	1	0	1	0	3	17
契約終了者数	0	7	1	0	2	4	0	0	5	4	0	0	23
月末契約者数	73	70	71	70	68	66	67	69	67	64	64	64	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
 - (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.9.14~16	長寿を祝う会	社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いする。	利用者 76名 職員 28名
R4.12.22~2	クリスマス会	職員による余興をご覧頂き、一緒に身体を動かされたり楽しい雰囲気味わうと共に今年一年を振り返る機会に繋げる。	利用者 72名 職員 26名
R5.1.9~11	新年会	新年のお祝いをすると共に、お屠蘇や獅子舞をご覧になり楽しまれ、張りの有る生活に繋ぐ。	利用者 76名 職員 26名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.4.10.16.17	安全対策研修	介護福祉士	1名
R4.4.25.26.27	業務管理体制研修	施設長	12名
R4.4.28	通所介護の送迎業務について	介護福祉士兼生活相談員	1名
R4.4.24 R4.6.7	感染症研修(嘔吐処理について)	准看護師兼機能訓練指導員	11名
R4.5.30	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(前期)	介護福祉士	2名
R4.5.31	褥瘡予防研修	看護師	2名
R4.6.22	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	1名
R4.6.29	感染症蔓延予防研修(前期)	管理栄養士	1名
R4.7.26	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	6名

R4.8.9	医療研修(前期)	看護師兼介護支援専門員兼機能訓練指導員	1名
R4.8.26	安全衛生管理研修	施設長	1名
R4.9.12	バイタルサインと記録の記載についての研修	看護師兼介護支援専門員兼機能訓練指導員	2名
R4.9.26	BCP研修(防災)	介護福祉士	1名
R4.10.26	BCP研修(感染)	介護福祉士	1名
R4.10.28	介護予防研修	作業療法士兼機能訓練指導員	1名
R4.12.21.27	緊急時の対応(意識消失について)	准看護師兼機能訓練指導員	8名
R5.1.14.17.18	緊急時の対応(食事中での窒息について)	准看護師兼機能訓練指導員	10名
R5.1.18	交通安全教室	施設長	1名
R5.1.25	感染症蔓延予防研修(後期)	看護師	1名
R5.2.23.24 R5.3.8	介護事故防止研修(後期)	介護福祉士	2名
R5.2.24	介護技術研修(おむつ交換について)	介護福祉士兼生活相談員	4名
R5.2.27	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	准看護師兼機能訓練指導員	1名
R5.3.18.21.22	医療研修(服薬について)	准看護師兼機能訓練指導員	10名
実 施 回 数		23 回	延べ参加者数
			80名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R411.18	令和4年度恵泉会職員フォローアップ研修	社会福祉恵泉会	オンライン	1名
R5.1.19.20 R5.1.23~25 R5.3.17	令和5年度宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市	1名
R5.2.7.8	認知症介護基礎研修(eラーニング)	社会福祉法人東北福祉会	オンライン	1名
実 施 回 数		3 回	延べ参加者数	3名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3火曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備する。	毎月第1金曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	家族及び利用者の苦情に対応し、リスク(介護事故等)を考慮して対策を行う。	毎月第3金曜	施設長、看護師、生活相談員、介護員
サービス向上委員会	サービス提供のための過程や結果を検討し、サービスの質の向上に努める。	毎月第3金曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	利用者の自由と人権、尊厳を守るため、身体拘束ゼロの実現をめざす。	毎月第3木曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
研修委員会	介護等における基礎知識の習得、及び専門的知識、技術の向上を図る。	毎月第4木曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
褥瘡予防・予防衛生対策委員会	感染予防や食中毒の予防、研修などを行い、リスクに備えた環境作りを行う。	毎月第3木曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
マニュアル作成委員会	各種マニュアルの作成と見直しを行う。	毎月第1金曜	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員

【施設機能の開放】

1. 地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容
R4.5.25	東郷小学校	手作りポスターとひまわりのプレゼントを渡す
R4.7.26	南方保育所	手作りの折り紙や装飾品、メッセージカードプレゼントを渡す
R5.1.16	南方幼稚園	手作りポスターのプレゼントを渡す

(2) 実習

* 実習生の受け入れ実績はありませんでした。

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

1) 生活支援の基本、利用者満足の上の取り組み

- ①利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションが実践できるよう、サービス向上委員会において利用者個々の意思疎通の課題を分析し、支援内容について検討し取り組みをすすめます。
- ②活動や行事等について、利用者から意見や感想を聞き取り、記録や報告書に利用者意見欄を設け周知するほか、サービス向上委員会において内容について評価検討し、必要があれば改善するよう取り組みます。
- ③年度当初に利用者へ事業計画の説明を行い、実施報告書や写真等具体的に見える化し、理解を深めていただくよう取り組みます。
- ④口腔ケアの個別計画を立案し、実践を進めます。ケアスタッフ会議やサービス向上委員会においてケア内容の検討を行い、その記録と必要時にはご家族やケアマネジャーへ報告し協働の取組みを進めます。
- ⑤認知症の周辺症状のある利用者に対して、分かりやすく説明しながら、不安無く過ごしていただけるよう配慮したケアを実践すると共に、サービス内容について検討していきます。

2) 自立支援・重度化防止の取り組み

- ①心身機能維持の取り組みは、機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を取り入れた集団リハビリ体操を実施します。また、生きがいサービス(レク活動・創作活動・趣味活動等)においても機能訓練の一環としての取り組みをすすめます。心身機能維持や向上の効果測定にはADL評価(バーセルインデックス)を6ヶ月に1回実施し、個別ケアへの取り組みをすすめます。
- ②総合事業対象の運動器機能向上(転倒予防)の訓練を実施し、筋力低下の防止、身体機能維持、介護予防の取り組みをすすめます。その評価は体力測定(5m歩行・UP&GO・開眼片足立ち・握力)を6ヶ月に1回実施します。
- ③要介護者対象の個別機能訓練を実施。ADL(身体機能)・IADL(生活機能)の自立、自ら望む生活を目標設定、計画介入により心身機能の維持や向上をすすめます。
- ④生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ心のサポートの取り組みは、外出訓練(外食・社会見学・買物・社会適応訓練等)と四季折々の年間行事の中で実施します。
- ⑤健康教室、栄養教室を実施。病気の理解、感染予防、食生活について理解を深め、健康意識を高める取り組みをすすめます。
- ⑥科学的介護の推進により、厚生労働省データベース「LIFE」への情報提供、分析フィードバックされた情報を基にケア内容について検討します。ケア内容についても手順書やマニュアルの整備をすすめます。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることにあつては、認知症への対応不安は大きいと、地域の受け皿としての取組をすすめます。

 - 1) 認知症への対応力向上に向けた取り組み
 - ① 認知症の理解と周辺症状に合わせた介護技術の習得のため、認知症実践者研修、認知症実践リーダー研修を積極的に受講し、認知症ケア実践の体制作りをすすめます。無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、認知症ケア実践力を高め、認知症ケア実践の体制作りをすすめます。
 - ② 認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指します。
 - ③ 認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方の認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制が組める取組を検討していきます。
3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をすすめます。

 - 1) 感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みは、予防衛生対策委員会（感染対策委員会）を通し、利用者家族、職員への励行、研修訓練の実施をすすめます。
 - 2) 新型コロナウイルス感染症については、「2類」から「5類」に引き下げられるも、高齢者施設では、クラスターの発生から利用者の生命を脅かし、介護支援・稼働率の影響も顕著な低下のため、引き続き感染症対策を十分行い、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組んでいきます。
4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
 - 1) 外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深めます。
 - 2) 認知症ケア専門研修、認知症介護基礎研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
 - 3) 日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等を確認し、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
 - 4) 人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）により、法人全体で職員の資格取得に向けた取組をすすめます。施設内においては、研修マニュアル、研修計画に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へフィードバックすることで教える力を身につけさせる等、研修委員会ですすめます。
 - 5) 介護福祉士実習指導者講習の受講、実習指導者を配置し受入体制を整え、登米総合産業高校福祉科介護実習、職場体験実習の受け入れ、実習生の介護福祉に関する専門知識技術の習得と介護福祉士資格取得に向けた支援をすすめます。また、ボランティア受入を積極的に行い、施設機能と役割について周知していきます。
5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み
 - 1) サービス向上委員会（業務改善委員会）において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。
 - ① マニュアル委員会を設け、既存のマニュアルの見直しの他、必要なマニュアル、手順書を作成します。
 - ② 介護事故防止のため事故検証に必要な情報収集を多くし適切な対応策を検討します。
 - ③ 利用者満足度調査の実施（年2回）、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析評価、改善を行います。
 - 2) 年次有給休暇5日以上の実績取得と安全衛生の取組（腰痛予防、危険箇所の把握と改善）を研修等ですすめます。
 - 3) ストレスマネジメント（職場ストレス評価）を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識し、組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境改善に取り組めます。
6. 地域貢献・地域連携の取り組み
 - 1) 地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指す。認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方の認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め支援や協力体制づくりに取り組みます。
 - 2) 地域災害相互協定（覚書）について
 - ① 登米市（災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書）
 - ② 宮城県老人福祉施設協議会（災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害時相互支援協定）
 - ③ 恵泉会（施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定）
 - ④ 地区（高石地区）との災害時相互協定の取り交わしに向けた取組をすすめます。
 - 3) 食費無料について

社会福祉法人の使命・役割は、社会や地域への貢献。社会福祉法人恵泉会が運営するデイサービスにおいては食費無料とし、要介護者・低所得の高齢者が福祉サービスを受けやすくする取組を継続します。
 - 4) 地区ボランティアとの連携、幼老交流として地区の保育園・幼稚園・小学校と交流会を通じて利用者の地域における社会参加や交流促進をすすめます。

7. 継続的な事業運営の取り組み

- 1) 業務継続に向けた取り組みとして、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、策定した業務継続に向けた計画(BCP)の適宜見直し、研修・訓練を実施します。
- 2) 算定できずにいる加算の取得(ADL維持等・認知症ケア)を目指し、体制作りをします。

令和4年度 地域密着型特別養護老人ホーム東和 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1) 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地 |
| 2) 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3) 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成21年4月1日 |
| 5) 事 業・利用定員 | |

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20 名
短期入所生活介護	空床
計	20 名

新型コロナウイルスの影響で、外部研修への参加が難しい中、内部研修を充実させ、職員のスキルアップに努めました。ご家族には定期的に利用者様の状況を電話や郵送でお知らせし、オンライン面会も実施しご家族及び利用者様に喜ばれました。空床が生じた際は在宅介護の負担軽減のため速やかに短期利用に活用し、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指しました。

【 重 点 項 目 】

1. ユニットケア施設の機能を生かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう常に利用者と共に寄り添えるケアの充実に努めます。
利用者様の個別性を大切にし、24時間シートを活用し、個別ケアの実践を心がけました。居室を自宅からの馴染みの物で整えたり、食堂の配置を工夫し、居心地の良い場所作りを行いました。集団ケアではなく、一人一人の意思を尊重したケアを心がけ実践しました。
2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、低栄養利用者の予防・改善に努めます。
利用者様の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行ってきました。また、3ヶ月に1回の採血を実施し、低栄養利用者には栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、食形態の変更や補食の検討、食器の工夫を行い、食事を召し上がって頂ける環境にも配慮し、食べる喜びを感じて頂けるようなケアを行いました。また、家族と連携を図り、低栄養気味であった利用者様の嗜好調査を行い、食事摂取に繋げ、低栄養予防に努めています。
3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決と再発防止に努めます。
新型コロナウイルス感染防止対策で面会が制限され、エルダー通信として定期的に利用者様の近況報告に写真を添えて郵送する等工夫した。このような取り組みによりご家族にも安心して頂き、今年度も苦情はありませんでした。今年度は事故が1件発生しておりその都度リスクマネジメント委員会を中心に対策を立て事故防止に努めています。又、何かあればご家族にその都度連絡と報告を行い、信頼関係の構築に努めています。
4. 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防に努めます。
一年を通して、新型コロナウイルス感染防止対策の為、職員のマスク着用、換気、消毒を徹底して行いました。そのことによりインフルエンザの感染も予防出来ました。嘔吐、下痢の処理及び消毒方法を内部研修で行い、感染拡大させない知識を身に付け実施してきました。嘔吐処理については書面での研修だけでなく、全職員実践にて対応方法を再度確認しています。
5. 介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。
介護ロボットについては1台のみの導入となっており、その有効性については残念ながら低い状況です。有給休暇の促進については全職員が5日以上の有給休暇を取得できており、モチベーションアップに繋がっています。
6. 法人が開催する資格取得研修に講師を派遣し、次代を担う人材育成に努めます。また、施設内外の研修に積極的に参加し、介護人材確保と共に離職率低下に努めます。
法人が開催する資格取得研修はオンラインでの実施となり、当施設からも研修講師として職員を派遣しました。研修委員会が中心となり内部研修も計画的に行われ、各職員のスキルアップに繋がりました。また、新任職員が初任者研修を受講し、専門的な知識を身に付けることが出来ました。また、ユニットリーダー実地研修へ職員1名が参加しており、新しい知識を習得してきています。

7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組むことと、地域包括ケアシステムの一助となる様努めています。
- 新型コロナウイルスの影響により、例年行われていた地域行事への参加や、施設を開放しての避難訓練などは実施できませんでしたが、地域貢献活動として花壇の除草作業及び小学校周辺のゴミ拾いを行い、来年度の取り組みに向けたアンケート調査も行うなどしながら、出来る範囲で地域との関りを継続できています。
8. 防災計画に基づいた避難訓練、通報訓練など各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
- 消防計画にのっとり、避難訓練、通報訓練を行いました。風水害対策マニュアルの見直しもを行い、避難場所である萩風園と避難方法について話し合い、合同の避難訓練を実際に行い、有事に備え体制を整えています。
9. 利用者の個別性を十分に理解し、基本的人権を尊重し全職員がプライバシーの保護や倫理的のコンプライアンスの徹底に努めます。
- 全職員対象の内部研修を行い、施設長が講師となり、法令遵守について学び、人権尊重の大切さを十分に理解し、虐待防止の徹底に努めました。また、来年度へ向けて権利擁護委員会を立ち上げ、建設的なケアの方針や運営体制が作れるように工夫していきます。
10. ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。
- 24時間シートを活用し、在宅での延長上に施設での生活が出来るよう努めました。また、出来ることは自分で行って頂くことにより、ADLの低下を防ぐことのみでなく、自分でできることの喜びを感じて頂けるようなケアに努めています。
11. 事業所の経営状況と地域の状況やニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成する。その計画をすべての職員で共有し、短期計画の実践を積みかさねながら、将来の事業展開へ確実につなげていきます。
- 登米市との関連性もあるため、中長期計画は作成しませんでした。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,066 名 (短期含む)
 2. 年間稼働率 96.8 % (")
(目標稼働率 97.0 %)
 3. 年間平均介護度 4.08 (長期のみ)
 4. 月別利用状況 (短期含む) (延べ利用者数)
- | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 要介護1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護3 | 150 | 152 | 150 | 141 | 129 | 150 | 181 | 180 | 188 | 186 | 168 | 186 | 1,961 |
| 要介護4 | 214 | 239 | 239 | 265 | 247 | 171 | 168 | 174 | 186 | 203 | 216 | 246 | 2,568 |
| 要介護5 | 226 | 219 | 207 | 190 | 203 | 232 | 237 | 240 | 217 | 212 | 168 | 186 | 2,537 |
| 計 | 590 | 610 | 596 | 596 | 579 | 553 | 586 | 594 | 591 | 601 | 552 | 618 | 7,066 |
5. 入退所状況 (長期のみ)
- | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 新規入所者数 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 退所者数 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 |
| 月末入所者数 | 19 | 20 | 19 | 20 | 20 | 18 | 19 | 20 | 19 | 20 | 20 | 20 | ± 0 |

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.05.03～05	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 20名 職員 6名
R4.09.18	長寿を祝う会	入居者様の長寿をお祝いし記念品やお祝い金を贈呈する。	利用者 19名 職員 10名
R4.12.22～24	ゆず湯	冬至の伝統行事であるゆず湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 20名 職員 6名
R5.02.06	冬のお楽しみ会	密集を避け、ユニット毎にお菓子を食べながらお茶会を行う。	利用者 14名 職員 4名

○ユニット行事(1丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.05.13 R4.06.10	外出ドライブ(5.6月)	5月は登米支所前の藤棚を見学ドライブ実施する。 6月は東和米川方面の新緑を眺めドライブ実施する。	利用者 3名 職員 5名
R4.07.07	七夕茶話会	季節を感じられるようなデザート会食を実施する。一度解散し、日暮れ後職員玄関前にて線香花火を行い、夕涼みする。	利用者 9名 職員 3名
R4.09.23	秋のリース作り	秋のモチーフを使用し、ユニットに飾るリース作りを行う。	利用者 3名 職員 1名
R4.12.04	秋のお茶会	紅葉ドライブ中止となり、代わりに秋らしいお菓子と共にお茶会を行う。入居者様より俳句を詠んで頂き、皆に披露する。	利用者 9名 職員 4名
R4.12.27	水の木作り	古くからある風習のひとつ、水の木作りを行い、皆で一年を振り返る。ミズキにもち米を練って付けている。	利用者 4名 職員 5名
R5.03.16	出前	外出の機会がとれないため、出前を取り普段と違った雰囲気ですべて楽しんで頂く。	利用者 4名 職員 3名
R5.03.16	記念撮影会	地元の仕出し店よりうなぎの出前を実施した際、楽しく食事する姿を記念に撮影する。	利用者 4名 職員 3名

○ユニット行事(2丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.06.21	おやつ出前	出前で好きなおやつを選んで頂き、皆さんで味わいながら茶話会を行う。	利用者 6名 職員 2名
R4.07.02	七夕会	七夕飾りを利用者様、職員一緒に飾りつけし、季節を感じて頂く。	利用者 6名 職員 3名
R4.08.08	出前うなぎの会	夏バテしないよううなぎを出前し召し上がっていただく。	利用者 12名 職員 3名
R4.12.18	クリスマス会	ロールケーキなどにデコレーションして頂き、クリスマス気分を味わって頂く。	利用者 7名 職員 3名
R5.01.15	新年会	お正月にちなんだ遊び(福笑い)をしながら新年をお祝いする。	利用者 6名 職員 4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 52 名

2. 年間平均介護度 4.69

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	7
要介護4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
要介護5	5	2	10	4	0	22	0	0	0	0	0	0	43
計	5	2	10	4	5	22	2	0	2	0	0	0	52

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.11.12.14	施設設備研修	事務員	職員14名
R4.04.29	感染予防(PPE)研修	看護師	職員2名
R4.05.20~21.30	介護事故防止研修(夜間緊急時対応)	看護師、他	職員14名
R4.05.25~27	医療研修・口腔ケア研修	看護師	職員12名
R4.06.18.29~30	公用車運転操作研修	介護福祉士	職員12名
R4.06.20.22.24 7.1	食中毒予防、脱水予防研修	管理栄養士	職員12名
R4.07.14~15 08.04	法令遵守研修	施設長	職員14名
R4.07.29 08.07 09.12	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員13名
R4.09.03	褥瘡予防研修・感染予防研修(ポジショニング)研修	看護師	職員4名
R4.09.08	経営者研修および管理職研修	あすの監査法人	職員1名
R4.09.22.28~30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	施設長	職員15名
R4.10.13	恵泉会人事考課者現任研修	恵泉会職場研修委員会	職員1名
R4.12.05.07.11 R5.01.15	感染予防(吐物処理、PPE)研修	看護師	職員13名
R5.01.20~21.23	介護事故防止研修	准看護師	職員14名
R5.01.25~27	認知症高齢者基本研修	介護福祉士	職員14名
R5.02.08~10.24	プライバシー研修	生活相談員	職員14名
R5.02.17.23.27	医療研修	看護師	職員14名
R5.03.09~10	防災基本研修	事務員	職員13名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.05.18~19.22.26	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R4.05.26	OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.06.02.04.06	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R4.06.08	社会福祉施設事務担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.06.09~10	社会福祉施設新任職員研修1班	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.09.02	社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.09.13	宮城県権利擁護推進研修②	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R4.10.12	宮城県老人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.10.25	安全運転管理者講習	安全運転管理者会	水の里ホール	職員1名
R4.12.09	成年後見制度研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R4.12.21	新型コロナウイルス感染症対策研修	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.01.31	業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R5.02.06	特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R5.02.07	高齢者肺炎予防研修会	宮城県東部保健福祉事務所(まほ)	オンライン	職員1名
R5.02.28~03.03	ユニットリーダー研修(実地研修)	日本ユニットケア推進センター	らふたあビルズ(岩手県)	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月日曜日	ユニットリーダー・介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来訪者数
	※コロナのため受け入れなし		

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
	※コロナのため受け入れなし			

【今後の取り組み】

1. 新型コロナウイルスやインフルエンザその他の感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い感染予防に取り組みます。
2. 24時間シートを活用し、個別ケアの充実と、重度化防止を目標に生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、ADL低下の予防に取り組みます。
3. 地域の特性を活かし、社会福祉法人の運営する施設として地域における社会資源と地域づくりの拠点機能を構築し、地域に貢献できる開かれた施設になるよう働きかけていきます。
4. 災害時における安全対策の取り組みを徹底し、利用者の安心安全な生活を確保します。

令和4年度 東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成14年10月15日
5. 利 用 定 員	35 名

利用者の皆様の尊厳を重視し、心身の状態を確認しながら通所介護サービス計画書を作成し、自立支援を目指してきました。安心・安全に過ごしていただけるようリスクの予防や分析を行い、再発防止に努め、職員も施設内外の研修に参加し、自己研鑽に努め質の高いサービスを提供することで利用者の方々の在宅生活を支え、家族の身体的及び精神的負担軽減も図りました。また、市町村や地域の保健・医療・福祉サービス関係者と綿密な連携を図りながら、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持に努めました。今後も地域に根差し、施設の機能を最大限に活かし、スポット利用も柔軟に受け入れながら、より良く利用していただけるよう努めていきたいと思っております。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

- ① 利用者の身体状態の改善・維持や自宅での生活を継続するための支援を行い、利用者が地域において可能な限り自立した生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの役割と推進に努めていきます。

在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、通所介護サービス計画書より個々の機能維持に努めてきました。また、個人の機能や生活に合わせた関わり、ご家族との関係を構築してきました。

- ② 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、利用者が自立した生活を送れるよう支援してまいります。

サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った通所介護サービス計画書の作成に努めてきました。

看護師による機能訓練を毎利用時に行い機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者様に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げてきました。

2. サービス向上に向けた取り組み

- ① 食事代を無料とし、利用者の負担軽減を図りながら利用者の生活を支えています。

食事代を無料とすることにより、利用者負担の軽減を図り、利用し易くなっております。

3. 介護人材確保・職員の資質向上への取り組み

- ① 施設内外の研修等に積極的に参加し、職員の知識やスキルの向上を図ることで、質の高いサービス提供ができるよう努めます。

施設内の研修では、研修の時間帯を工夫し、多くの職員が研修に参加することで職員の知識技術の向上を図りました。また、外部への研修にもオンライン等も活用し、積極的に参加し、自己研鑽を図りました。

- ② 常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得の促進など、職員の働きやすい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保につなげていきます。

会議等にて業務の見直しを図り、業務の効率化を図りました。また、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、職員健康診断や腰痛検査等の実施により、異常の早期発見と健康維持に努め、働きやすい職場環境になるよう配慮してきました。

4. 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ① 施設設備の開放や地域住民との交流機会を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。

施設前の除草作業を定期的に取り組みました。また、美化活動として米谷小学校前の道路の除草作業を行っております。

5. 事業運営の安定化と持続性の確保

- ① 利用者の健康状態をきちんと把握し、安全安心に利用して頂けるよう感染症の予防に努めます。
手洗いや、手指消毒、棟内、車輛の消毒を行い感染症の予防に努めました。職員、利用者共罹患される方もいましたが、感染症の拡大はされませんでした。
- ② 利用者の安全を確保するために全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。
ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングや委員会で改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止に努めてきました。
- ③ 事業所の経営状況と地域のニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成する。その計画を全ての職員で共有し、短期計画の実践を積み重ねながら、将来の事業展開へ着実に繋げていきます。
新型コロナウイルス感染により、計画の構築は難航し、今後、短期計画より中長期計画に繋げていきます。

6. 災害への備え

- ① 自然災害に備え、防災設備を点検把握し、避難訓練を行い、利用者の安全、安心を確保します。防災設備を点検し、排煙窓の修理を行っております。各備品、設備等の把握を職員に周知し、避難訓練も定期的実施し、利用者の安全、安心の確保に繋げております。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 9,015 名
 2. 年間稼働日数 310 日
 3. 年間稼働率 83.09 % (通所介護+総合事業)
 (76.43) % (通所介護)
 (6.65) % (総合事業)
 4. 年間平均介護度 2.54 (通所介護)
 (総合事業)

5. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	74	78	83	81	92	86	70	81	73	83	88	101	990
要介護2	253	268	280	255	266	281	289	262	282	242	253	252	3,183
要介護3	215	216	214	262	313	308	309	298	263	235	214	250	3,097
要介護4	86	78	76	76	84	50	56	43	48	43	21	20	681
要介護5	25	26	25	23	30	27	32	38	33	26	28	29	342
計	653	666	678	697	785	752	756	722	699	629	604	652	8,293
事業対象者	8	8	14	11	7	14	12	11	12	12	12	14	135
要支援1	13	12	18	13	15	13	18	15	17	16	15	18	183
要支援2	41	39	35	42	34	34	42	28	28	26	24	31	404
計	62	59	67	66	56	61	72	54	57	54	51	63	722
合計	715	725	745	763	841	813	828	776	756	683	655	715	9,015

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	6	5	4	14	2	1	2	4	3	5	0	11	57
契約終了者数	4	4	1	2	4	10	0	4	6	2	5	10	52
月末契約者数	84	85	88	100	98	89	91	91	88	91	86	87	+5

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R4.07.06 ～07.08	七夕会	七夕の由来を知ったり、七夕の歌や他の歌を楽器を使用して行っている。また、レモンティーを提供して楽しんでいる。	利用者 職員	81名 20名
R4.08.18 ～08.20	夏祭り	コロナの影響を踏まえ、盆踊りとかき氷の提供のみ実施となっている。小規模ながら夏祭りの雰囲気を楽しめたと好評だった。	利用者 職員	90名 25名
R4.09.15 ～09.17	長寿を祝う会	ジュースで乾杯を行い、職員による踊りや歌のアトラクションを楽しんでいる。	利用者 職員	95名 24名
R4.10.12	芋煮会	新型コロナウイルスの流行にて、調理は出来ませんでしたが、お昼に芋煮を皆さんで食べ、季節を感じていただきました。	利用者 職員	30名
R4.10.13 ～10.15	ミニミニ運動会	紅白に分かれて玉入れやうちわでボールを隣に渡すゲーム等行っている。利用者全員に頑張ったで賞の賞状を渡している。	利用者 職員	89名 26名
R4.12.15 ～12.17	クリスマス会	職員によるアトラクション「かさじぞう」やハンドベルを行ってクリスマスの雰囲気を楽しんで頂いている。	利用者 職員	72名 25名
R5.01.12 ～01.14	新年会	新年の抱負とご挨拶を行いながらお屠蘇をお配りしている。	利用者 職員	78名 24名
R5.02.03 ～02.04	節分ゲーム	年男、年女の利用者6名が袴を着て記念撮影を行っている。職員の扮した鬼目がけて豆まきが実施されている。	利用者 職員	50名 12名
R5.03.03 ～03.05	ひな祭りゲーム	ひな人形を飾り、桃の節句を祝い、職員によるアトラクションを楽しんでいる。。	利用者 職員	50名 15名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.12～26	施設設備研修	事務員	職員12名
R4.04.21～06.1	感染予防(PPE)研修	准看護師	職員11名
R4.5.26～6.18	介護事故防止研修	看護師・介護福祉士	職員8名
R4.05.28・6.28	介護基本研修	介護福祉士	職員10名
R4.06.20～24	食中毒予防研修	管理栄養士	職員12名
R4.07.14～11.8	法令遵守研修	施設長	職員13名
R4.07.29・30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	介護福祉士	職員9名
R4.08.22～26	DVDオムツのあて方研修	白十字(DVD)	職員11名
R4.09.22～30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	施設長	職員13名
R4.09.23・10.31	ポジショニング研修	看護師	職員11名
R4.10.06・12	救命救急(心肺蘇生法)研修	看護師	職員12名
R5.01.20～23	介護事故防止研修	准看護師	職員11名
R5.01.25～27	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	職員11名
R5.02.08～24	プライバシー研修	生活相談員	職員12名
R5.02.22～23	感染予防研修	看護師	職員11名
R5.02.17～27	医療研修	看護師	職員12名
R5.03.09・10	防災基本研修(BCP)	事務員	職員12名
R5.3.16	防災教育	迫防災(外部講師)	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R4.05.27	社会福祉施設職員研修「コミュニケーション技術・退陣援助技術研修」I	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.10.17	宮城県権利擁護推進研修③	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R2.10.19	自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R4.10.21	福祉サービス事業者のためのクレーム対応研修(実践編)	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.11.21	登米市認知症対応研修会	登米市	オンライン	職員1名
R4.12.12	登米市在宅医療・介護連携推進勉強会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3月曜日	施設長・デイサービス職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・栄養士・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していない。

(2) 実習 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していない。

【今後の取り組み】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

①利用者が可能な限り自宅や地域において自立した生活が送れるよう、季節行事や活動をとおして身体状態の維持・改善に努めます。

②利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、自立した生活が送れるよう支援していきます。

2. 利用者の尊厳の尊重

①利用者の意向をお聞きしたり、状態を把握しながらその人らしく生活して頂けるよう丁寧に対応させていただくと共に、行事、活動をとおして社会資源等も活用しながら支援させていただきます。

②データ管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

3. サービス向上に向けた取り組み

①認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、医療機関・各関係機関と連携を図りながら利用者の在宅生活を支えると共に、家族の身体的及び精神的負担の軽減も図ります。

②食事代を無料とし、負担軽減を図りながら利用者の生活を支えていきます。

③認知症の介護基本研修に参加し、認知症高齢者への理解を深め、その人らしい生活の実現に努めます。

4. 介護人材確保・職員の資質向上への取り組み

①施設内外の研修を計画し職員の階層別に取り入れたり、不足しているものを学びながら知識、技術、質の向上やキャリアアップに努めます。

②常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得(最低5日以上)の促進、産休育休、病休制度等、職員の働きやすい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋がっていきます。

③マニュアルや相談し易い体制を確立し、研修等も行いながらハラスメント対策を実施し、働きやすい職場作りを行います。

5. 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み
 - ①施設設備の開放や地域住民との交流を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。
 - ②災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害時)の対応を行います。

6. 事業運営の安定化と持続性の確保
 - ①利用者の健康状態を把握し、安全、安心に利用して頂けるよう感染症の予防に努めます。
 - ②利用者の安全確保の為に研修を行ったり、全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。
 - ③感染症や災害の発生に備え、防災設備や感染予防対策セットを点検整備します。また、業務継続計画(BCP)に則り、緊急時にも事業を継続できるよう職員への周知と訓練を行い、利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。
 - ④新型コロナウイルス感染症に関しては5類への変更が決定していますが、利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせ対応します。
 - ⑤職員全員が経営意識を持ち、利用状況(稼働率)や省エネを数値化し、事業の安定化に向けた取り組みを行います。

令和4年度 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会
 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会
 4) 開設年月日 平成14年10月1日
 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
生活支援ハウス	10名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10名

住み慣れた自宅に一日でも長く住んでいたいという願いは誰もが抱いています。しかし、その自宅で生活していくことが難しい時もあるのが実情です。ここ支援ハウスでは、個々の入所理由に対応し、快適な住環境、バランスの取れた食事の提供等を行い安心して生活できるよう支援しています。今年の冬は雪が少ない分、寒さが厳しかったが、寒さを心配することなく春を迎えられることに安堵されています。新型コロナウイルス感染症の流行も3年目となりましたが、今年度は感染者が出てしまい、不安や心配もありましたが、広がることなく、最小限に抑える事ができました。また、今年度は新規利用者の方がおり生活環境に慣れるまで時間が掛かりましたが、安心して生活をされ過ごされていました。今後も登米市及び各関係機関と連携を図り、利用者に安全と安心を提供していきます。

【 重 点 項 目 】

- 共同生活を送りながらも、個性を大切に生活を送れるよう支援します。
個室により個人のプライバシーは守られながら、食事や入浴を共にすることで連帯感が生まれ安心した生活を送ることが出来ています。
- 感染症の予防に努め、適切な対応策を図り、安心して暮らせる環境を作ります。
マスク着用徹底や手指消毒、施設内消毒、食堂のパーティション設置など感染リスクを減らす取り組みをしています
- 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。
緊急入所の対応など、登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り柔軟に対応しています。

【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 790名
- 年間稼働率 21.64%
(目標稼働率 50.00%)
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立	60	17	0	0	0	0	0	14	30	72	56	17	266
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	62	62	56	48	228
要支援2	15	0	0	0	31	0	0	0	30	31	22	0	129
要介護1	0	14	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0	136
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	31
計	75	31	30	31	62	30	0	14	153	165	134	65	790

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	0	0	1	0	0	1	5	0	0	0	8
退所者数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4	8
月末入所者数	2	2	2	2	2	2	2	3	8	7	6	2	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.12.01 ～R5.03.31	塗り絵クラブ	例年大型の貼り絵を制作していたが、新型コロナウイルス対策として密となる活動を避け、個別の塗り絵などの活動に変更している。	利用者 8名 職員 2名

【その他の利用者サービス】

* 介護家族支援レスパイト事業

1. 年間延べ利用日数 0 日

2. 月別利用状況 (延べ利用日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.11.12.14	施設設備研修	事務員	職員1名
R4.04.29	感染予防(PPE)研修	看護師	職員1名
R4.05.20～30	介護事故防止研修(夜間緊急時対応)	看護師・介護福祉士	職員1名
R4.05.25～27	医療研修・口腔ケア研修	看護師	職員1名
R4.06.18.29～30	公用車運転操作研修	介護福祉士	職員1名
R4.06.20.22.24.7.1	食中毒予防、脱水予防研修	管理栄養士	職員1名
R4.07.14～15 8.4	法令遵守研修	施設長	職員1名
R4.07.29 08.7 09.12	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	介護福祉士	職員1名
R4.09.03	褥瘡予防研修・感染予防研修(ポジショニング)研修	看護師	職員1名
R4.09.22.28～30	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	施設長	職員1名
R4.12.05.07.11 R5.01.15	感染予防(吐物処理、PPE)研修	看護師	職員1名
R5.01.20～21.23	介護事故防止研修	准看護師	職員1名
R5.01.25～27	認知症高齢者基本研修	介護福祉士	職員1名
R5.02.8～10.24	プライバシー研修	生活相談員	職員1名
R5.02.17.23.27	医療研修	看護師	職員1名
R5.03.09～10	防災基本研修	事務員	職員1名
R5.03.16	防災教育	迫防災	職員1名
R5.03.22	防災基礎研修	事務員	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4金曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

【今後の取り組み】

1. 個々のプライバシーを守りながら、共同生活ならではの楽しみを感じられるよう支援します。
2. 感染症の予防に努め、適切な対応対策を図り、安心して暮らせる住環境を作ります。
3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。

令和4年度 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-5
2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4) 開設年月日 平成23年4月18日
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床
計	34名

【 基 本 方 針 】

「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化の防止の取り組みの推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を柱にサービスの提供を行いました。2回の新型コロナウイルス感染症の施設内感染拡大が入居者の生活にも事業へも大きな影響を与えました。感染対策と対応が長期間となり事業の柱である基本的な方針への取り組みが不十分であった時期もありました。しかし、閉鎖された居住空間の中で、職員が工夫し日常の生活を継続しようと努力していた光景は、まさに生活を支える専門職としての姿であり、得られたものもあり、総じてその結果、大きな稼働率の減少もなかったことは収穫でした。

【 重 点 項 目 】

- ・感染症や災害への対応力強化
新型コロナウイルス感染症は、9月と2月に感染拡大がありました。BCP計画に基づき対応し、法人内他事業所より玉突き支援いただき収束することができました。訓練の定期的実施や備蓄品の確保の必要性を再確認しました。
- ・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携
認知症に関する研修の実施、看取り介護は継続し、個別の対応について意識して実践することができました。
- ・自立支援・重度化の防止の取り組みの推進
ライフなどデータの活用を行い、感染症予防に留意しつつ共同生活室での交流やリハビリの実施など寝たきり、重度化防止の取り組みを行いました。
- ・介護人材の確保・介護現場の革新
人材育成に人事考課制度を活用し、きめ細やかな育成に心がけました。Web等を活用した研修機会も確保できました。また、見守り機器等の有効活用とNSコールシステムの入替えにより職員の負担軽減も行いました。
- ・事故防止
通院や処置が必要な事故が何件かありました。起きた事故については検証を重ね周知しました。
ユニット施設の特長で職員一人に対応する場面も多く、職員の介護技術の向上と専門知識を高めるための研修を継続して行っています。
- ・法人内他事業所との連携
新型コロナウイルス感染症対策における法人内事業所の支援は、横のつながりを確認することができました。大規模法人の特性を生かした良い取り組みで継続が必要です。
- ・地域との連携
地域の小学校や中学校、婦人部との交流はできませんでしたが、次年度は交流の再開を検討します。
- ・職員の質の向上
法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣しました。次年度も継続できるような職場として支援します。

【 利 用 状 況 】

- 1 年間延べ利用人員 11,840 名
 2 年間稼働率 95.41%
 (目標稼働率 98.00%)
 3 年間平均介護度 4.01
 4 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	180	186	180	186	186	180	186	180	186	181	163	179	2,173
要介護4	492	498	495	523	527	510	558	534	550	552	483	527	6,249
要介護5	247	262	287	261	272	260	279	268	263	198	196	260	3,053
計	949	977	992	1,001	1,016	980	1,054	1,012	1,030	962	870	997	11,840

5 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	2	2	1	1	1	0	0	0	1	0	2	11
退所者数	1	2	3	0	1	0	0	0	0	2	1	1	11
月末入所者数	33	33	32	33	33	34	34	34	34	33	32	33	±0

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.04.15	春まつり	季節を感じていただきながら入居者の交流を図り、楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 30名 職員 13名
R4.10.07	長寿を祝う会	長寿を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈る。記念撮影も行っています。	入居者 33名 職員 6名

【短期入所者生活介護サービス】

- 1 年間延べ利用人員 101 名
 2 年間平均介護度 4.29
 3 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
要介護5	4	18	5	0	0	0	0	0	0	0	28	18	73
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	25	18	5	0	0	0	0	0	0	2	33	18	101

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.26	防災設備について	生活相談員	介護職員4名
R4.06.19	オンコールについて	看護師	介護職員6名
R4.05.13/05.20	介護事故防止研修	介護福祉士、生活相談員	介護職員19名
R4.05.27/06.03	看取りについて	副主任	介護職員8名
R4.06.24/06.26	感染症予防について	准看護師	介護職員9名
R4.06.17/06.22	食中毒について	管理栄養士	介護職員8名
R4.07.19	人権について	人権擁護委員(外部)	介護職員6名他3名
R4.08.09	防災設備について	生活相談員	介護職員1名
R4.08.17	コンプライアンスについて	施設長	介護職員4名他2名
R4.08.23	接遇について	介護福祉士	介護職員3名
R4.08.27	認知症基礎について	介護福祉士	介護職員3名
R4.09.30	健康管理や病気・薬の副作用について	准看護師	介護職員4名
R4.10.21	接遇研修振り返りについて	介護福祉士	介護職員4名
R4.10.28	認知症基礎研修振り返りについて	介護福祉士	介護職員4名
R4.10.23/10.30	感染症予防について	看護師	介護職員8名
R4.11.20	褥瘡予防について	看護師	介護職員3名
R5.01.31	介護予防について	介護福祉士	介護職員4名
R5.01.31	口腔ケアについて	介護福祉士	介護職員4名
R4.02.13	身体拘束廃止について	介護福祉士	介護職員3名
R4.02.14	ゾーニング研修	看護師	介護職員3名
R5.03.07	プライバシー保護について	生活相談員	介護職員5名
R5.03.04	移乗について	介護福祉士	介護職員4名他1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.08.10	令和4年度 アンダーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	看護師
R5.02.28	誤嚥を防ぐ職支援マネジメントについて	アボットジャパン合同会社	オンライン	管理栄養士

2 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	第3火曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	第3水曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	4回/年	施設長・相談員・看護師・介護職員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
随時	担当者会議(ケアプランの確認、見直ししています)	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

3 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
施設指名委員会	見積り合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人事務局に内申を行います。	随時	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討をしています。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策しています。	第2火曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善しています。	随時	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。	随時	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行っています。	第1火曜日	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	第4水曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー
ターミナル検討委員会	入居者や家族に対し、最期までより良い支援を継続することを基本とし、体制の整備、看取り介護、振り返り、体制の改善を行います。	第4火曜日	各委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	導入機器が安全且つ有効に活用され、介護事故等が減少していることの確認、必要な分析、検討を行います。	第1火曜日	各委員

【施設機能の開放】

1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

(1) 地域交流

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		受け入れ実績ありません。	

(2) 視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		受け入れ実績ありません。	

(3) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
		受け入れ実績ありません。		

【今後の取り組み】

・創立50周年の取り組み

創立50周年にあたり、これからの第一歩にむけ記念行事を開催します。法人の歴史を再確認しお祝いし、利用者、職員・地域住民に感謝を伝えます。

・感染症や災害への対応力強化

BCP計画の見直しを行うとともに、基本の研修や環境整備、備蓄品の確保、訓練の定期的実施を行います。法人内施設、及び地域住民との連携等継続し実施します。

・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携

住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、サービスが切れ目なく提供されるよう認知症対応力強化、オレンジカフェの取り組みを推進します。

・自立支援・重度化の防止・見取りケアの実施の推進

各加算を取得し、寝たきり・褥瘡予防・重度化防止の推進します。食事面からのアプローチに力を入れます。また、見取りケアを行い住み慣れた場所で最期まで過ごしたいという希望をかなえます。

・介護人材の確保・介護現場の革新

人事考課制度の活用とさらなる充実を目指します。Web等を活用した個人の経験や能力に合わせた研修機会の確保。法人の初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し育成につなげます。介護現場で見守り機器等を導入、事故防止や介護職員の負担軽減を行います。

・介護事故・虐待防止

研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、利用者との関係を構築し介護事故・虐待防止に努めます。

・法人内他事業所との連携

安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作ります。

・地域との連携

感染症等を勘案しつつ、地域の関係団体との定期的な交流が再開できるよう検討します。

令和4年度 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷 事業報告

【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米川字寺内28-22
2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4) 開設年月日 平成23年4月18日
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床
計	34名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷では、法人理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、利用される方が、入居後もその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう自己実現の支援を行い、入居者の心身機能の維持を目指し取り組んでいます。また、入居者の意志及び人格を尊重し、常にその人の立場に立って支援が行えるように職員研修を通じ、個々のスキルアップに努めています。

更に、ユニットケアの特質を活かし、入居者の方の個性を生かし、それぞれの生活リズム、スタイルに沿ってきめ細かい配慮をすることによる支援を展開し実施することができました。

地域行事への参加や地域の方々との交流の場を大切にし、人と人との関係が営まれる支援を行い、この地域で暮らしよかつたと思えるよう、地域や家庭との結びつきを重視した施設づくりを掲げ取り組みましたが、コロナ感染症流行に伴い交流や参加について感染予防の観点から制限を行ったため、地域行事への参加は行わず、家族との面会のみ対応しております。

【 重点項目 】

1. 施設サービス計画に基づき、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、入居者個々の生活に合わせたケアを重視した取り組みを行うとともに、ターミナルケア(看取り)についても、引き続き取り組みます。また、介護保険制度において新たに始まった科学的介護について取り組んでおります。
2. 介護業務のICT化に取り組み、介護支援システムや介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に業務改善(効率化・最適化)に取り組んでいます。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を目的にほっとカフェ(認知症セミナー等)を企画し米川地区住民を対象にチラシを配布し啓発活動を行っております。
4. コロナ感染症対策として、宮城県、登米市など地域の感染状況を把握し入居者、職員の感染症予防を始め、策定したコロナ感染症対策業務継続ガイドラインや感染症防止マニュアルを活用、運営を行っております。
5. 防災対策について、日ごろから防災を意識し防災委員会を組織し定期的に防災訓練を行うとともに、職員への防災教育と設備の点検を実施、災害発生に備えると共に7月19日の大雨による二股川、鱒淵川の越水の際について対応を行っています。また、災害発生時には、登米市の福祉避難所として施設する用意をしています。
6. 各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努め人材育成に向けて施設内研修を中心に研修を行うとともに、認知症介護実践者研修、認知症介護リーダー研修へ職員を派遣、復命報告を行うなど認知症に係る研修を実施しております。

【 利 用 状 況 】

- 1 年間延べ利用人員 11,745 名
- 2 年間稼働率 94.64 %
(目標稼働率 98.00 %)
- 3 年間平均介護度 3.97
- 4 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	273	279	270	279	279	241	217	240	248	255	275	310	3,166
要介護4	450	453	456	496	465	442	547	460	465	480	492	558	5,764
要介護5	270	240	222	233	299	270	265	268	236	186	140	186	2,815
計	993	972	948	1,008	1,043	953	1,029	968	949	921	907	1,054	11,745

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	2	1	1	2	1	0	0	2	3	0	13
退所者数	2	1	2	0	1	2	0	2	3	0	0	0	13
月末入所者数	32	32	32	33	33	33	34	32	29	31	34	34	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.07.29	夏祭り会	3ユニット合同で行い、かき氷、綿あめ、ゲームコーナーを回り、夏祭りの雰囲気を感じて頂いています。	利用者 33名 職員 10名
R4.09.15	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をお祝いしています。	利用者 32名 職員 15名
R4.10.28	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理しているところから見学し会食を楽しんで頂いています。	利用者 26名 職員 7名
R4.12.28	正月飾り作り	ユニット毎にみずの木に飾り付けをして新年の準備をしています。	利用者 23名 職員 6名
R5.02.03	節分・豆まき	厄を祓い無病息災を願い豆まきを行っています。	利用者 31名 職員 9名
R5.02.28	お楽しみ昼食会	郷土料理である“はっと汁”を作り、昼食時に入居者へ提供し食べています。	利用者 34名 職員 10名
R5.2.9～ 2.11	DVD鑑賞会	DVD観賞を通して水かぶりに行った気分を味わって頂いています。	利用者 17名 職員 3名

【その他の利用者サービス】

- 1. 年間延べ利用人員 21 名
- 2. 年間平均介護度 1.57
- 3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	15名
要介護2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3名
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
要介護4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3名
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
計	0	0	6	0	0	0	0	0	0	15	0	0	21名

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.04.01	新任職員研修(服務規程等について)	施設長	職員 1名
R4.04.12	新任職員研修(ユニットケア・感染予防等)	ユニットリーダー	職員 1名
R4.04.07	見守り機器の取扱いについて	ユニットリーダー	職員19名
R4.04.07	災害・緊急対応について	ユニットリーダー	職員 8名
R4.04.15	手洗いについて	准看護師	職員 7名
R4.04.25	コンプライアンスについて	施設長	職員11名
R4.04.25	腰痛予防について	看護師	職員11名
R4.05.06	認知症ケア技法(ユマニチュード・話し方)	介護福祉士	職員 7名
R4.05.23	食中毒予防について	管理栄養士	職員 6名
R4.06.03	事故防止研修「転倒防止等について」	ユニットリーダー	職員 8名
R4.06.27	ユニットケアについて	ユニットリーダー	職員 8名
R4.07.14	フォーレの管理について	看護師	職員 5名
R4.07.25	身体拘束廃止および虐待防止研修	介護福祉士	職員 4名
R4.07.26	看取りについて	医師	職員17名
R4.09.26	接遇研修	介護福祉士	職員 7名
R4.09.29	高齢者の口腔ケアについて	歯科医師	職員 8名
R4.10.13	ガウンテクニックについて	准看護師	職員 4名
R4.10.24	メンタルケアと自律訓練法	介護福祉士	職員 4名
R4.10.24	プライバシー研修	介護福祉士	職員 4名
R4.12.26	事故防止研修	介護福祉士	職員 4名
R5.01.12	褥瘡について	准看護師	職員 6名
R5.01.12	感染防止対策について	准看護師	職員 8名
R5.01.23	看取りについて	看護師	職員 4名
R5.02.09	虐待の芽を摘むために不適切ケアの見直し	ユニットリーダー	職員 6名
R5.02.27	吐物処理について	准看護師	職員 7名
R5.02.27	服薬について	看護師	職員 6名
R5.03.09	救命救急・緊急時対応研修	ユニットリーダー	職員 7名
R5.03.27	ベッド上でポジショニングについて	ユニットリーダー	職員 8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.04.14	LIFE導入とフォードバック票の活用	㈱ライズマン	オンライン開催	職員1名
R4.5.11～R4.6.6	主任介護支援専門員更新	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン開催	職員1名
R4.5.26～27	甲種防火管理者新規講習	日本防災・防災協会	豊里公民館	職員1名
R4.05.27	床ずれ対策用具の上手な選定・活用方法	パラマウントベッド	オンライン開催	職員1名
R4.7.4～R4.9.30	安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン開催	職員2名
R4.08.03	新任職員研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R4.08.29	メンタルケア・自律訓練法	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R4.09.13	要介護施設従事者等による高齢者虐待	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン開催	職員1名
R4.9.20以降5日間	認知症介護実践リーダー研修	宮城県介護支援センター	大崎市	職員1名
R4.10.13	嚥下調整食分類2021について	登米栄養士会	迫公民館	職員1名
R4.11.08	褥瘡予防 ケア方法と福祉用具の選び方	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R4.11.10	虐待と権利擁護について	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン開催	職員1名
R4.11.22	感染症予防オンラインセミナー	宮城県社会福祉協議会	オンライン開催	職員1名
R4.11.30	LIFE活用セミナー	NDソフトウェア(株)	オンライン開催	職員1名
R5.02.28	ケアマネジャーからの情報提供・他	登米市	オンライン開催	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	業務課題、問題の検討、24Hシートの見直し	随時	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討	第3木曜日	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討	第4月曜日	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明	2ヶ月毎	施設職員、登米市、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討	随時	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討	第3月曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、医師、介護員、SV

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討、改善計画の確認	第3木曜日	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修計画し実行	第2木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡予防対策検討委員会	感染症・褥瘡の予防対策について検討	第2木曜日	施設長、各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	第1木曜日	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直し作成	第1木曜日	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災、災害に関すること	第1木曜日	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	3ヶ月毎	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	第2木曜日	施設長、各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	随時	施設長、各委員、購入担当者
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	第2木曜日	施設長、各委員、ユニット職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
		コロナ感染症流行のため中止しています。	
合計			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
		コロナ感染症流行のため中止しています。		
計				

【今後の取り組み】

- 各種研修への参加は基より、認知症に関連する研修等（認知症基礎研修・実践者研修・リーダー研修）への参加を継続し次世代を築く職員の人材育成を行います。また、ユニットリーダー研修へも職員を派遣しリーダーの育成と資質向上に努めていきます。
- 施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、個別援助計画、24時間シートなどのツールを用い、入居者個々の生活に合わせた介護を重視し支援を行うとともに、ターミナルケア（看取り）についても、継続していきます。
- 昨年より取り組んでいる介護業務のICT化を推し進め、介護支援システムや介護ロボット等を活用し、業務改善（効率化・最適化）に取り組み、職員の負担軽減を図ります。
- 新型コロナウイルス感染症については、「2類」から「5類」に引き下げられるも、高齢者施設では、クラスターの発生から利用者の生命を脅かし、介護支援・稼働率の影響も顕著な低下のため、引き続き感染症対策を十分行い、事故防止や災害対策も合わせ、安心安全な施設づくりに取り組んでいきます。
- 令和5年度で策定最終年度を迎える「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画（BCP）」「自然災害発生時の業務継続計画（BCP）」の見直しを行い、より実効性のある物に仕上げ実践していきます。

令和4年度 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成5年3月15日 |
| 5. 利 用 定 員 | 45 名 |

○事業内容

- [1] 通所介護
- [2] 介護予防通所介護
- [3] 日常生活支援総合事業通所型サービス(第1号通所事業)
- [4] 基準該当生活介護(障害デイサービス)
- [5] 登米市生きがい対応デイサービス

- (1) 「笑顔」「思いやり」「安心」のある支援、施設・人をつくる。
- (2) 質の高いサービス提供。
- (3) 施設機能解放・地域社会への貢献。
- (4) 利用者の安定確保・健全な経営。

【 重 点 項 目 】

1. 在宅生活の継続・・・個別機能訓練加算 I イを取得し、機能維持向上に向け利用者のやる気にも繋がりました。加算取得者で施設入所などによる終結者が居たものの、新規加算取得者を24名増やしています。年度末で加算取得者は53名でした。今後も加算取得者を増やし、レスパイト機能のみならず在宅生活を継続するために精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指します。
2. オレンジカフェ「えん」の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に伴い開催自体が難しい状況でした。新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の状況にもよりますが、地域交流の一環として開催方法を工夫しながら実施していきます。
3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・新型コロナウイルス感染症の状況で触れ合うといった交流は難しい状況でしたが、中庭で行うキッズつぼみの運動会を見物したり、遠山荘のテラスで遊ぶ子どもたちを眺めたり声を聞いているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。新型コロナウイルス感染症の感染状況やその他の感染症の状況にもよりますが、世代間交流として継続していきます。
4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・市に提出した介護事故(転倒)が1件あり、右耳の裂傷、内出血にて縫合し大事には至らなかったのですが、精神的なものもあり、その後利用せず終結となっています。介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い今後の再発防止に努めていきます。また、公用車(車両)の事故として4件あり、2件は送迎時の後方不注意による物損事故、1件は道路の路肩に駐車中に木の枝が車両の左フロント部分に落下し助手席側のサイドミラー等が破損、1件は走行中左側の異音にてディーラーに持ち込み点検に向かう三陸道にて左前タイヤ足回りの破損による事故。日頃の点検の見直し、徹底を行い安全な運転、送迎業務に努めていきます。
5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めています。稼働率を上げ収入を増やすことを目指しましたが、新型コロナ感染症による影響や施設入所などによる終結により、稼働率、収入ともになかなか伸びない状況でした。重度の利用者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得やリハビリの重点化だけでなく、職員の介護技術の向上と施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することで利用者の獲得をねらいます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,334 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 81.25 % (通所介護+総合事業)
(77.84) % (通所介護)
(3.41) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.39 (通所介護)
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	215	247	242	216	216	241	231	214	222	204	174	226	2,648
要介護2	340	360	354	357	329	317	314	294	306	290	218	278	3,757
要介護3	225	207	234	240	206	173	210	224	218	185	156	182	2,460
要介護4	93	110	118	129	146	140	151	142	138	133	96	127	1,523
要介護5	44	28	23	37	27	44	42	47	36	39	30	73	470
計	917	952	971	979	924	915	948	921	920	851	674	886	10,858
事業対象者	12	12	15	12	11	14	12	13	12	12	11	15	151
要支援1	10	13	14	11	10	13	13	12	11	7	6	14	134
要支援2	18	14	15	12	11	17	16	18	21	14	14	21	191
計	40	39	44	35	32	44	41	43	44	33	31	50	476
合計	957	991	1,015	1,014	956	959	989	964	964	884	705	936	11,334

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	3	4	5	3	4	3	1	3	3	3	3	37
契約終了者数	2	5	2	5	2	3	4	0	1	5	5	3	37
月末契約者数	106	104	106	106	107	108	107	108	110	108	106	106	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 39名 職員 11名
R4.07.07	七夕会	寸劇、レクリエーション	利用者 40名 職員 12名
R4.07.07	七夕カフェ	カフェ3日間実施	利用者 115名 職員 32名
R4.08.26	夏祭り	職員余興、出店、抽選会	利用者 37名 職員 14名
R4.09.20	長寿を祝う会	職員余興、年祝い紹介、祝い品贈呈	利用者 42名 職員 12名
R4.10.20	運動会	2日間実施、ボッチャ他	利用者 79名 職員 25名
R4.12.20	クリスマスカフェ	カフェ2日間実施	利用者 78名 職員 20名
R4.12.20	クリスマス会	2日間実施、職員余興、クリスマス体操	利用者 39名 職員 12名
R4.12.22	ゆず湯	ゆず湯	利用者 37名 職員 11名
R5.01.04	新年の行事	お屠蘇配り、新年会、大福笑いゲーム、職員余興	利用者 78名 職員 24名
R5.01.04	ふれあいカフェ	カフェ4日間実施	利用者 156名 職員 43名
R5.02.03	節分レクリエーション	鬼と記念撮影、年男年女紹介、カフェ	利用者 26名 職員 12名

R5.02.14	ふれあいカフェ	バレンタインカフェ3日間実施	利用者 99名 職員 31名
R5.03.01	ひな祭りカフェ	カフェ3日間実施	利用者 108名 職員 32名
R5.03.03	ひな祭り会	ひな祭り体操、桃色フルーツポンチ、甘酒、抹茶	利用者 34名 職員 11名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 393 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 2.82 %
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
身障 デ イ	区分1												0	
	区分2												0	
	区分3												0	
	区分4	25	26	26	23	22	25	29	30	29	21	19	4	279
	区分5													0
	区分6	13	13	13	10	5	13	13	7	13	12	0	2	114
	計	38	39	39	33	27	38	42	37	42	33	19	6	393
合計	38	39	39	33	27	38	42	37	42	33	19	6	393	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.08.05	介護技術研修(移乗)について	介護福祉士	6名
R4.08.18	事例検討会	介護福祉士	9名
R4.09.24	接遇研修	介護員	9名
R5.02.09	業務継続計画研修	介護福祉士	16名
R5.02.20	コンプライアンス研修	施設長	8名
R5.02.21	コンプライアンス研修	施設長	7名
R5.02.24	コンプライアンス研修	施設長	1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.10.25	安全運転管理者等法定講習	登米地区安全運転管理者会	迫町	職員1名
R4.11.09	令和4年度社会福祉施設長資格認定講習課程(4日間)	ロフォス湘南中央福祉学院	神奈川県	職員1名
R4.11.30	東和・登米地区(合同)地域ネットワーク会議(Web研修)	東和・登米地域包括支援センター	Web(遠山荘)	職員1名
R5.01.19	令和4年度精神障害者地域移行支援事業関係者研修会	ポレポレ・地域センター	南方町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	月1回	全職員
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	月1回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	月1回～2ヶ月に1回	生活相談員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	随時	全職員、生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	必要時	リスクマネジメント委員会
サービス向上委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討、改善	月1回程度	サービス向上委員会
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	月1回程度	感染褥瘡検討委員会
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	月1回程度	身体拘束検討委員会
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	月1回程度	褥瘡委員会
研修委員会	サービスの質の向上に向けた検討、改善	月1回程度	研修委員会
給食委員会	給食についての検討	月1回程度	給食委員会、利用者様代表
防災委員会	防災についての検討	月1回程度	防災委員会
マニュアル検討委員会	各マニュアルの見直し、検討	随時	マニュアル委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

※コロナの状況により受け入れていない

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
	合 計		0名

2. 認知症カフェ プチ・ルポ「えん」開催

※コロナの状況により開催していない。

発行日	内 容	講 師	参加人数
	実 施 回 数	0回	延べ参加者人数
			0名

【今後の取り組み】

1. 住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ等を提供します。
2. オレンジカフェの開催、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。
3. 隣接するサービス付き高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」との世代間交流を継続維持し生きがい作りの場を提供します。
4. 介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを行います。
5. 利用者確保を目指すと共に、経費削減に努め、安定経営につなげます。

令和4年度 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211-5
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成21年 3月15日
5. 利 用 定 員	10 名

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することができた。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組んだ。

創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られた。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂いた。季節の移り変わりを感じていただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供できた。交流面に於いては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施されなかった。また、運営推進会議の開催が2回出来、委員の方々より直接話を聞くことが出来た。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供ができた。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者さんの安定した利用とまでは言えず、年間稼働率95.16%と予算執行稼働率達成はできず、前年度を下回る結果であった。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めた。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供ができた。
2. サービス会議やモニタリング等で利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供ができた。
3. 担当者会議において利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることができた。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることができた。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することができた。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供ができた。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことができた。
6. クッキングやタオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事ができた。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ(柔道整復師によるマッサージ)の実施で身体機能の維持が図れた。
7. 新型コロナウイルス感染症の為、地域のボランティアさんを招いて交流は提供できなかった。又、運営推進会議で2回開催することが出来、ほんわかの様子を伝え地域の方々や御家族様にも伝える事が出来た。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めた。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことができた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員	2,951 名
2. 年間稼働日数	310 日
3. 年間稼働率	95.19 % (通所介護・総合事業)
	92.55 % (通所介護)
	2.65 % (総合事業)
4. 年間平均介護度	2.60 (通所介護)

5. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	41	38	40	37	40	37	33	38	34	36	35	28	437
要介護2	76	80	81	81	84	83	83	78	97	93	91	82	1,009
要介護3	68	68	67	68	71	76	80	78	57	44	49	44	770
要介護4	52	46	45	30	42	45	50	51	58	52	50	36	557
要介護5	9	6	9	8	8	8	8	8	8	8	7	9	96
計	246	238	242	224	245	249	254	253	254	233	232	199	2,869
事業対象者	12	13	14	11	4	3	4	5	4	3	4	5	82
要支援1													0
要支援2													0
計	12	13	14	11	4	3	4	5	4	3	4	5	82
合計	258	251	256	235	249	252	258	258	258	236	236	204	2,951

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	4
契約終了者数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	4
月末契約者数	21	21	21	21	20	21	22	22	24	23	22	22	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R4.05.02 R4.05.03 R4.05.04	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂く。	利用者 25名 職員 12名
R4.07.07 R4.07.08 R4.07.09	七夕会	願いを込めた短冊を飾り季節感を楽しみ、レクリエーションを通して脳や体の活性化に繋げる。	利用者 26名 職員 10名
R4.09.19 R4.09.21 R4.09.24	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。敬老祝い膳で御祝い行っている。(3日間)	利用者 33名 職員 12名
R4.12.22 R4.12.24	クリスマス会	三日間会に参加された利用者様が三日間違った景品をもらうことが出来、楽しめる内容にてクリスマス会を行った。クリスマスソングに合わせて合奏も楽しんでいる。	利用者 23名 職員 7名
R5.01.16	新春ゲーム大会	ゲームを通して機能維持向上を図りながら利用者様同士の交流を深めて頂く。	利用者 10名 職員 4名
R5.02.03	節分	一年間の無病息災を願い、豆まきや。恵方巻作りを行い楽しんで頂く。	利用者 10名 職員 3名
R5.03.02	ひな祭り相撲大会	古くからある遊びを通して楽しんで頂きながら上肢及び手指運動を行い、筋力維持向上を図って頂く。	利用者 10名 職員 4名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R4.04.25	職場における腰痛予防・転倒防止に関する研修	介護福祉士	職員3名
R4.04.28	職員研修	管理者	職員2名
R4.07.04	身体拘束廃止・高齢者虐待防止マニュアル研修	管理者	職員2名
R4.08.22	コンプライアンスに関する研修	管理者	職員2名
R4.10.27	食中毒予防研修	介護福祉士	職員1名
R5.02.08	身体拘束廃止・虐待防止に関する研修	管理者	職員4名
R5.02.15	BCPマニュアル確認研修	管理者	職員3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.11.22	令和4年度感染予防WEB研修	宮城県社会福祉協議会	ほんわか	職員1名
R4.12.02	令和4年度新型コロナウイルス感染症対策研修	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R4.12.07	認知症サポーター養成講座	登米市福祉事務所	登米公民館	職員1名
R4.12.12	令和4年度登米市在宅医療・介護勉強会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	2ヶ月に1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	通報順位や通報訓練について	R4.4.13	全職員
	総合防災訓練について	R4.5.18	全職員
	不審者対応訓練について	R4.9.13	全職員
	防災教室(火災想定)について	R4.10.12	全職員
	避難訓練について	R4.11.9	全職員
	非常通報訓練について	R4.12.15	全職員
	防災教室(地震想定)について	R5.1.17	全職員
研修委員会	令和4年度年間施設内外研修計画について	R4.4.13	管理者・生活相談員
	職場における腰痛予防・転倒防止に関する研修・職員研修について	R4.5.18	管理者・生活相談員
	次月の身体拘束廃止・プライバシーに関する研修について	R4.6.7	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のコンプライアンス研修について	R4.7.4	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の食中毒予防に関する研修について	R4.10.12	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のケース記録に関する研修及び言葉遣いについての研修について	R4.11.9	管理者・生活相談員
	今月の外部研修予定について	R4.12.15	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の身体拘束廃止・虐待防止に関する研修について	R5.1.17	管理者・生活相談員
	今月のBCPマニュアル確認研修について	R5.2.15	管理者・生活相談員
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.4.13	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.5.18	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.6.7	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.7.4	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.8.22	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.9.13	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.10.12	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.11.9	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4.12.15	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.1.17	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R5.2.15	全職員

サービス向上委員会	タイムテーブルと研修計画について	R4.4.13	全職員
	デイ利用者別記録一覧について	R4.5.18	全職員
	タイムテーブルの見直しについて	R4.6.7	全職員
	タイムテーブル見直しとほのぼの記入方法について	R4.7.4	全職員
	職員減員に伴う業務の内容について	R4.8.22	全職員
	活動計画書と食事に関することについて	R4.9.13	全職員
	タイムテーブル改正について	R4.10.12	全職員
	サービス提供時間変更に伴うタイムテーブルの修正について	R4.11.9	全職員
	業務内容について	R4.12.15	全職員
	地域貢献活動について	R5.1.17	全職員
	機能訓練加算と月活動計画について	R5.2.15	全職員
褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R4.4.13	全職員
	状況確認と対応について	R4.5.18	全職員
	状況確認と対応について	R4.6.7	全職員
	状況確認と対応について	R4.7.4	全職員
	状況確認と対応について	R4.8.22	全職員
	状況確認と対応について	R4.9.13	全職員
	状況確認と対応について	R4.10.12	全職員
	状況確認と対応について	R4.11.9	全職員
	状況確認と対応について	R4.12.15	全職員
	状況確認と対応について	R5.1.17	全職員
	状況確認と対応について	R5.2.15	全職員
感染症対策検討委員会	感染症予防対策について	R4.4.13	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	R4.5.18	全職員
	感染症予防対策について	R4.6.7	全職員
	感染症予防対策について	R4.7.4	全職員
	感染症予防対策について	R4.8.22	全職員
	感染症予防対策と新型コロナウイルス抗原検査について	R4.9.13	全職員
	感染症予防対策について	R4.10.12	全職員
	感染症予防対策について	R4.11.9	全職員
	感染症予防研修後の報告と対策について	R4.12.15	全職員
	感染症予防に伴う施設内消毒と換気について	R5.1.17	全職員
	新型コロナウイルス5類移行に伴う今後の対応について	R5.2.15	全職員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	R4.4.13	全職員
	身体拘束の現状について(内部研修実施)	R5.2.15	全職員

【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となる。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指す。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指す。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供する。
5. 目標稼働率98%以上を達成する。

令和4年度 恵泉会ヘルパーステーション 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成17年4月15日

利用者個々の持っている能力と、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援した。在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護支援専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めた。

障害者サービスに於いて、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行った。

【 重 点 項 目 】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導をした。また、現在行っている業務内容等の見直しを行った。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護支援専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行った。
3. 外部研修へ参加するほか、施設内研修を毎月実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 4,712 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間平均介護度 2.80 (訪問介護)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	46	49	65	73	76	84	53	69	58	59	58	72	762
要介護2	94	90	92	102	97	97	95	83	93	83	74	87	1,087
要介護3	123	125	124	96	102	121	126	125	129	108	81	90	1,350
要介護4	11	11	21	49	29	29	52	41	38	54	44	39	418
要介護5	66	58	55	69	67	67	66	59	35	32	42	49	665
計	340	333	357	389	371	398	392	377	353	336	299	337	4,282
要支援1	21	19	21	22	15	15	15	13	18	14	14	18	205
要支援2	23	25	24	29	19	14	15	19	14	14	14	15	225
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	44	44	45	51	34	29	30	32	32	28	28	33	430
合 計	384	377	402	440	405	427	422	409	385	364	327	370	4,712

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	5	1	1	0	5	1	0	2	1	0	3	20
契約終了者数	10	5	3	2	2	1	0	2	3	3	2	1	34
月末契約者数	66	66	64	63	61	65	66	64	63	61	59	61	- 14

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,260 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
居宅介護	区分1	4	4	4	4	5	3	3	4	4	4	2	4	45
	区分2	10	8	10	8	10	8	8	8	9	8	8	12	107
	区分3	2	1	1	2	1	0	0	0	0	4	17	39	67
	区分4	29	29	25	14	11	21	22	20	21	12	9	14	227
	区分5	8	9	9	8	3	0	0	0	0	0	0	0	37
	区分6	92	91	80	73	61	70	61	48	58	54	49	40	777
	計	145	142	129	109	91	102	94	80	92	82	85	109	1,260
合 計	145	142	129	109	91	102	94	80	92	82	85	109	1,260	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講 師 (講 演 者)	参 加 者
R4.04.20	論理及び法令順守について	管理者	職員5名
R4.05.19	介護職員の接遇について	介護員	職員5名
R4.06.15	食中毒の予防・蔓延について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員5名
R4.07.15	緊急時・災害時マニュアルの見直し	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員5名
R4.07.25	登録ヘルパー研修会	介護福祉士兼サービス提供責任者	登録ヘルパー3名
R4.07.26	登録ヘルパー研修会	介護福祉士兼サービス提供責任者	登録ヘルパー3名
R4.08.18	高齢者・障害者虐待防止について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R4.09.16	事故発生及び再発防止について	管理者	職員4名
R4.10.11	認知症の理解・ケアの基本について	介護福祉士	職員4名
R4.11.17	感染症の予防について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R4.12.16	身体拘束排除の取り組み	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R5.01.24	介護予防・要介護進行予防について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R5.02.15	プライバシーの保護	介護福祉士	職員4名
R5.02.20	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー6名
R5.03.15	リスクマネジメント/介護現場における事故等防止対策について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.11.22	感染症予防オンラインセミナー	NPO法人 きれいな手	オンライン	職員1名
R5.03.27	令和4年度登米市障害福祉サービス事業者集団指導	宮城県	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議・委員会

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する。	4・6・11・月・随時	

【今後の取り組み】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努める。
2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者による同行訪問にてより良い指導を行う。また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにする。
3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスが提供できるように積極的に研修会に参加し、訪問介護員のキャリアアップに努める。また、登録ヘルパーの確保・育成し、サービス提供の現場に送り出せるようにする。

令和4年度 恵泉会介護支援センターいきいき 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりに関しては、ストレスの多い中、互いにフォローし、適宜面談を行いメンタルケアに努めました。年度中配置換えはありましたが、心身の不調で休職、離職者を出さずに業務を行うことができました。
- ・アセスメント、課題分析の充実に関しては、今年度1名が主任介護支援専門員の更新研修を受講。主任介護支援専門員のケアプランチェックや助言でスキルアップを図り、利用者の自立に向けた固有のニーズの引き出しができるようになっていきます。各自の力量も概ね平均化しています。
- ・各地域包括支援センター、医療機関とも連携を図り、トラブルなく円滑な関係を継続することができました。また、週1回の伝達会議などで、研修内容の復命を行い各職員の知識向上につなげることができました。
- ・医療依存度の高い利用者者を特定事業所Ⅰの事業所として積極的に受け入れ、早期のマネジメントにつなげてきました。また、ターミナル期、退院時の支援も積極的に行ったことで、次年度の加算算定(特定事業所医療介護連携加算)要件を今年度も満たすことができました。
- ・コロナ禍の中、WEBを使って他事業所との合同研修会を実施することで、体不調者を出すこともありませんでした。
- ・困難事例については数件ありましたが、担当のみで抱えることが無いように情報を共有し支援を行うことができました。
- ・初任者研修、介護支援専門員試験対策の講師を派遣し、職員の資格取得へ協力することができました。
- ・令和3年4月の介護保険改定において、高齢者虐待防止の推進、業務継続に向けた取組の強化の改定がありましたが、虐待防止委員会、感染症・災害対策委員会を定期に開催し、研修会の開催などで、各職員の意識向上をはかることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	93	96	91	99	103	95	101	101	99	99	101	107	1,185
女	191	189	200	199	189	189	191	195	194	202	200	196	2,335
計	284	285	291	298	292	284	292	296	293	301	301	303	3,520

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	51	50	51	51	49	46	49	49	51	52	53	50	602
要介護2	83	84	95	91	89	86	83	85	85	87	86	84	1,038
要介護3	72	75	73	79	80	76	77	82	76	81	78	80	929
要介護4	49	45	47	47	46	47	50	50	51	51	54	54	591
要介護5	29	31	25	30	28	29	33	30	30	30	30	35	360
計	284	285	291	298	292	284	292	296	293	301	301	303	3,520

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	55	10	6	12	16	6	11	15	13	10	21	6	181
契約終了者数	5	5	14	10	5	6	8	16	7	15	12	52	155

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	51	54	56	55	56	60	63	62	63	67	67	62	716
訪問入浴	14	23	23	20	17	18	15	15	15	14	19	18	211
訪問看護	53	52	53	53	55	59	55	55	60	60	62	66	683
通所介護	176	180	179	181	183	179	189	193	198	188	184	190	2,220
通所リハ	25	23	25	24	23	23	23	23	23	24	23	23	282
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	194	199	197	196	198	202	204	201	202	204	206	206	2409
短期生活	52	54	48	56	53	58	62	45	48	49	51	53	629
短期療養	3	4	3	3	2	3	3	3	3	2	3	3	35
認知通所介護	3	3	3	4	5	5	5	5	4	4	4	4	49
地密通所介護	32	30	30	33	31	30	31	31	32	35	36	36	387
計	603	622	617	625	623	637	650	633	648	647	655	661	7,621

【認定調査状況】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	11	6	5	6	8	4	12	10	13	9	8	14	106

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要支援2	8	8	6	6	6	6	7	6	5	5	5	5	73
事業対象者	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
計	9	9	7	6	6	7	8	7	6	6	6	6	83

2. 市町村別委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	中田町	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9	
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登米町	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	米山町	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	10
	南方町	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	33
	石越町	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	5
計	9	9	7	6	6	7	8	7	6	6	6	6	83	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	11
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	6	6	5	5	5	4	5	5	4	4	4	3	56
予防認知通所介護	4	4	5	3	3	5	5	5	4	4	4	4	50
計	12	12	12	10	10	11	12	10	9	9	9	8	124

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
計	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R4.04.08	令和4年度新任職員研修	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	1名
R4.06.13	個人情報について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	8名
R4.07.12	「感染症予防マニュアル」について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	9名
R4.09.12	PDCAサイクルについて	恵泉会介護支援センター 施設長	8名
R4.09.12	「コンプライアンス・ハラスメント」について	恵泉会介護支援センター 施設長	8名
R4.10.25	高齢者虐待防止研修	登米市福祉事務所	10名
R4.11.04	他法人との合同研修会(事例検討会)	恵泉会とよま介護支援センター 主任介護支援専門員 介護支援専門員	10名
R5.01.12	自然災害発生時における事業継続計画について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	10名
R5.02.13	認知症初期集中支援チームについて	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	10名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.04.28	新任介護認定調査員研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.5.11 ～6.6	令和4年度主任介護支援専門員 更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員1名
R4.05.27	令和4年度 宮城県社会福祉施設職員研修 「コミュニケーション技術・対人援助技術研修」	宮城県 宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R4.6.22 R4.7.20	令和4年度登米市地域包括支援セン ター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.08.30	令和4年度登米市在宅医療・介護連携 勉強会(薬剤師編)	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.09.02	令和4年度社会福祉施設中堅・監督職 員研修	宮城県 宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R4.10.19	令和4年度自立支援型ケアマネジメントに 資する人材育成講座	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.11.22	令和4年度感染症予防オンラインセミ ナー	宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R4.9.28 R4.11.18	令和4年度登米市内主任介護支援専 門員フォローアップ研修	登米市 登米市地域包括支援センター	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.09	令和4年度成年後見人制度研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.12	令和4年度登米市在宅医療・介護連携 勉強会(歯科衛生士編)	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.13 R4.12.14	令和4年度介護支援専門員実習指導 者研修	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員2名

R4.11.24 ～12.20	令和4年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB開催	職員7名
R5.01.13	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 研修会「事例を使った勉強会」	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	WEB開催	職員2名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者 講 師	開 催 地	参 加 者
R4.04.22	令和4年度人事考課者研修	恵泉会	恵泉会研修室	職員1名
R4.09.08	令和4年度恵泉会経営・管理者研修	あすの監査法人	恵泉会会議室	職員1名
R4.10.14	恵泉会職員研修大会 (研修発表)	恵泉会	WEB動画	職員9名
R4.12.08	令和4年度恵泉会経営・管理職研修	あすの監査法人	恵泉会会議室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週月曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	開 催 地	出 席 者
R5.02.27	令和4年度 米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	木村 操

3. 委員会開催状況

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

居宅介護支援事業所として年度を通して大きなトラブルもなく、支援業務を行うことができました。給付管理件数については、年度当初に比べ増えましたが、重度者や悪性腫瘍末期の利用者を多く担当していることもあり、新規依頼件数以上に死亡終結が上回る月もありました。その中で、職員一人ひとりが医療機関と顔の見える関係を作り信頼ある適切で迅速な支援業務をおこなった結果、特定事業所医療介護連携加算の要件を今年度も満たすことができ、令和5年度も加算算定可能とすることができました。

令和5年度は介護支援専門員が1名減、新任介護支援専門員を含めた2名の人事異動があり、職員ひとりひとりが担当する利用者数も多くなるため、困難ケース等への支援に悩み、ひとりで抱え込むことのないような環境や相談体制を整えていきたいと思っております。また、令和6年度の特定事業所医療介護連携加算取得継続に向けて、今後も医療との繋がりは重要であり、顔の見える良好な関係性を強化し、職員それぞれが加算取得に向けて意識し業務に取り組んでいきたいと思っております。新規受け入れの際は、利用者の意思を尊重したうえで、重度割合を考えながら、必要時には他事業所との調整を図ることで全体数や重度割合が安定した数字を維持できるように協力していきたいと思っております。

令和4年度 恵泉会介護支援センターらくらく 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・互いの業務遂行状況に配慮し、業務調整や相談対応が行えたことで、一人ひとり責任感を持って意欲的に仕事に取り組むことができました。
- ・対人援助技術の研修の開催や、常にバイステックの原則を意識し、利用者・家族との信頼関係の構築に努めました。アンケート結果の満足度や苦情等もないことから良好な関係作りができました。
- ・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行うことができました。モニタリングを通して利用者の身体機能維持向上に向けた支援を継続的に行いました。
- ・高齢者虐待防止委員会、感染症・災害対策委員会発足2年目となり、各委員会の指針策定や長寿介護課を講師に迎え、高齢者虐待に関する研修を開催、知識理解を深めることができました。
- ・在宅緩和ケア、難病等の各疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し利用者個々に対応ができました。認知症については、施設入所を希望するケースが増え課題となっています。介護者のケアも必要となる場合も多く、専門職として今後もさらなる研鑽が必要になります。
- ・少人数での新規対応、毎週の情報伝達会議等課題はあるが、主任介護支援専門員を中心に困難ケースの受け入れ、特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができました。
- ・ICTを活用し定期的な施設内研修の実施、地域ケア会議への参加、他事業所との研修会を実施することで、マネジメント機能の向上を図ることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	38	42	44	43	40	38	40	40	42	42	48	44	501
女	102	98	103	104	97	95	89	101	94	100	96	96	1,175
計	140	140	147	147	137	133	129	141	136	142	144	140	1,676

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	47	46	50	50	49	51	51	54	51	49	51	50	599
要介護2	57	58	61	59	58	56	55	55	56	67	67	62	711
要介護3	25	25	23	23	16	15	14	17	14	15	15	15	217
要介護4	9	9	9	10	9	8	8	12	11	8	7	7	107
要介護5	2	2	4	5	5	3	1	3	4	3	4	6	42
計	140	140	147	147	137	133	129	141	136	142	144	140	1,676

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	9	5	3	4	3	5	6	6	6	5	9	5	66
契約終了者数	2	2	3	25	4	7	3	0	3	4	6	5	64

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	26	27	27	27	28	28	28	27	26	25	28	29	326
訪問入浴	5	5	6	5	6	6	6	7	8	7	8	7	76
訪問看護	8	9	11	10	9	8	9	9	11	12	14	12	122
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	77	81	86	83	75	74	78	80	78	81	83	81	957
通所リハ	6	6	7	5	4	5	2	2	2	2	2	4	47
短期生活	16	20	24	23	22	18	24	13	17	21	18	18	234
短期療養	1	1	1	1	2	1	2	1	0	0	0	1	11
福祉用具	91	94	95	94	84	81	81	86	87	89	90	91	1,063
地域密着通所	28	27	28	29	25	28	29	29	28	28	30	27	336
認知通所介護	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
計	259	271	286	278	255	249	259	254	257	265	273	270	3,176

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	7	6	4	4	3	5	8	3	8	5	7	8	68

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	4	2	2	3	3	3	4	4	4	3	36
要支援2	8	7	7	7	7	7	6	5	6	6	7	6	79
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
計	11	10	12	10	10	11	10	9	11	11	12	9	115

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	5	4	6	4	4	5	5	5	5	5	5	5	58
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	15
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	南方町	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	3	2	23
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	10	12	10	10	11	10	9	11	11	12	9	126	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	6	7	9	8	8	8	7	6	7	7	8	6	87
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	8	10	9	9	9	8	7	8	8	9	7	99

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
通所型サービス	6	7	5	4	4	5	5	4	5	5	5	4	59
計	8	8	6	5	5	6	6	5	6	6	6	5	72

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R4.06.13	個人情報について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	4名
R4.07.12	「感染症予防マニュアル」について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
R4.09.12	PDCAサイクルについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R4.09.12	「コンプライアンス・ハラスメント」について	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R4.10.25	高齢者虐待防止研修	登米市福祉事務所	4名
R4.11.04	他法人との合同研修会(事例検討会)	恵泉会とよま介護支援センター 主任介護支援専門員 介護支援専門員	4名
R5.01.16	自然災害発生時における事業継続計画について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	4名
R5.02.13	認知症初期集中支援チームについて	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.06.22 他1日間	令和4年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.07.21 他3日間	令和4年度介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員1名
R4.08.30	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市 南方庁舎	職員2名
R4.09.02	令和4年度社会福祉施設中堅・監督職研修	宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R4.09.08	令和4年度恵泉会経営・管理職研修	社会福祉法人恵泉会	恵泉会会議室	職員1名
R4.09.28 他1日間	令和4年度登米市内主任介護支援専門員フォローアップ研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.11.22	令和4年度感染症予防オンラインセミナー	宮城県社会福祉協議会	WEB開催	職員1名
R4.12.09	令和4年度成年後見制度研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.12	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.13	令和4年度介護支援専門員実務研修 実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員1名
R4.12.14	令和4年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB動画	職員4名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
R4.09.02	生活圏域地域ケア会議	迫地域包括支援センター	迫公民館	職員1名
R4.09.08	令和4年度恵泉会経営・管理者研修	あすの監査法人	恵泉会会議室	職員1名
R4.10.14	恵泉会職員研修大会	恵泉会研修大会 実行委員会	WEB動画	職員4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
R5.2.27	令和4年度米山・南方地域ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	佐藤智鶴

3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

ケアマネジメントの契約数、給付管理件数、更には介護予防委託件数において、かつてない好業績となりました。新任職員も着任2年目となりスキルアップを果たし新規利用者の受け入れも柔軟になったこと、各関係機関と顔の見える関係作りができていくこと、スピーディーな利用者支援ができていくことが大幅な件数増加に繋がったと推測されます。また、主任介護支援専門員を中心に支援困難なケースへの対応も事業所全体でフォローし関係機関と協働できたことも事業所にとって大きな糧となっています。今後も質の高いケアマネジメントを目指し利用者の身体機能向上に向けた支援を継続することを目標に取り組んでいき、課題となっている認知症ケアについても力を入れ、居宅介護支援の充実を目指します。また、高齢者世帯、単独世帯も増加しており介護支援専門員に求められることが幅広くなっています。地域全体の課題と捉え、関係機関と共に地域課題にも取り組んでいきます。

令和4年度 恵泉会東和介護支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成24年4月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境を作り努め万全の体調で職務を遂行することができました。
- ・ケアプランチェックや情報伝達会議等とおして利用者個々の抱える問題を検討したり、アセスメント、課題分析のスキルを向上させ、利用者の自立を支援する事ができました。
- ・地域包括支援センターやサービス事業所と利用者の情報を共有し利用者支援にあたることができました。また、医療機関とは利用者入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め利用者が地域での生活を継続できるように連携強化することができました。
- ・積極的に研修会に参加し事業所内での伝達研修を実施し専門的な知識の習得に努めることができました。
- ・感染症・災害対策委員会、高齢者虐待防止委員会を設け、指針の策定や研修会を実施し必要な知識の習得と理解を深め、いかなる状況においても業務継続出来るようにBCP作成にあたることができました。
- ・特定事業所として他事業所との研修会を開催し地域の事業所と一緒に資質向上を図り、特定事業所としてのリーダー的役割を果たすことができました。
- ・ケース支援に対して随時相談・支援体制をとり事業所全体で利用者支援を行い、事業所だけでは解決できない事例は地域包括支援センターに随時相談し、地域ケア会議が開催され行政と共に利用者の生活が継続出来るよう支援にあたることができました。

【 利 用 者 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	29	30	32	33	35	31	36	31	32	33	35	33	390
女	109	104	104	99	99	101	102	99	93	96	95	97	1,198
計	138	134	136	132	134	132	138	130	125	129	130	130	1,588

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	33	31	33	33	29	30	28	27	30	30	29	363
要介護2	43	43	46	41	42	45	47	43	42	42	41	45	520
要介護3	31	29	29	31	34	32	34	30	30	31	32	31	374
要介護4	22	18	16	16	15	14	17	17	15	15	16	14	195
要介護5	12	11	14	11	10	12	10	12	11	11	11	11	136
計	138	134	136	132	134	132	138	130	125	129	130	130	1,588

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	2	1	5	3	7	0	1	6	1	4	1	32
契約終了者数	1	2	2	2	2	2	7	6	2	2	4	6	38

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	28	28	29	28	31	32	31	29	31	31	30	25	353
訪問入浴	13	15	14	12	12	12	14	11	12	10	9	7	141
訪問看護	19	19	19	18	17	20	23	20	20	20	20	14	229
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	63	67	67	67	67	68	70	68	67	69	63	60	796
通所リハ	14	15	15	15	15	16	17	16	14	14	14	14	179
福祉用具	81	82	80	78	81	83	84	78	78	77	76	77	955
短期生活	20	22	18	20	18	18	16	19	18	18	23	17	227
短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
認知通所介護	4	4	4	4	6	6	6	5	5	4	4	2	54
地域密着型通所介護	26	24	25	25	16	16	16	16	16	17	17	16	230
計	268	276	271	267	263	271	277	262	261	260	257	232	3,165

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	6	5	3	4	3	2	6	3	6	6	2	7	53

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	30
要支援2	4	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	3	43
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	7	6	6	7	7	7	6	5	5	5	73

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 対象 件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	6	6	7	6	6	7	7	7	6	5	5	5	73
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	6	7	6	6	7	7	7	6	5	5	5	73

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	13
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	25

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2	2	2	31
通所型サービス	3	3	4	3	3	4	4	4	3	3	3	3	40
計	6	6	7	6	6	7	6	6	6	5	5	5	71

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
R4.06.13	個人情報について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	職員4名
R4.07.12	「感染症予防マニュアル」について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	職員4名
R4.09.12	PDCAサイクルについて	恵泉会介護支援センター 施設長	職員4名
R4.09.12	「コンプライアンス・ハラスメント」について	恵泉会介護支援センター 施設長	職員4名
R4.10.25	高齢者虐待防止研修	登米市福祉事務所	職員4名
R4.11.04	他法人との合同研修会(事例検討会)	恵泉会とよま介護支援センター 主任介護支援専門員 介護支援専門員	職員4名
R5.01.16	自然災害発生時における事業継続計画について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	職員4名
R5.02.13	認知症初期集中支援チームについて	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R4.06.22 R4.07.20	令和4年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.07.06	令和4年度クレーム対応研修	宮城県社会福協議会	WEB開催	職員1名
R4.08.30	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.09.28 R4.11.18	令和4年度登米市内主任介護支援専門員フォローアップ研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.11.10	宮城県ケアマネジャー協会登米支部第2回研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	WEB開催	職員1名
R4.12.09	令和4年度成年後見制度研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.10	令和4年度介護認定調査員現任研修	登米市	WEB動画	職員1名
R4.12.13	令和4年度介護支援専門員実務研修実習指導研修	宮城県ケアマネジャー協会	WEB開催	職員4名
R4.12.19	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者・講 師	開 催 地	参 加 者
R4.09.08	令和4年度恵泉会経営・管理者研修	あすの監査法人	恵泉会会議室	職員1名
R4.10.14	恵泉会職員研修大会	恵泉会	WEB動画	職員4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内容	開催地	出席者
R4.06.07	関係者間調整会議	南方総合支所	職員1名
R4.07.12	関係者間調整会議	東和総合支所	職員1名
R4.09.16	生活圏域地域ケア会議	東和総合支所	職員1名
R4.10.14	関係者間調整会議	東和総合支所	職員1名
R4.10.26	関係者間調整会議	東和総合支所	職員2名
R4.11.18	関係者間調整会議	東和総合支所	職員1名
R4.11.21	関係者間調整会議	東和総合支所	職員1名
R4.11.30	令和4年度東和・登米地域ネットワーク会議	WEB開催	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
改善委員会	マニュアル・災害時要援護者台帳の作成・見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	月1回	施設長、管理者、各委員
虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

令和4年度は5名体制から4名体制となり、1人あたりの給付件数が多く推移することができました。包括支援センターをはじめ、家族、医療機関から順調に新規紹介があり受け入れてきましたが、年度後半には新規受入が来ず、地域の方々に対して必要な支援を提供する事ができず今後の課題であると考え、法人内の居宅介護支援事業所と連携を図り支援が出来るよう努めていきます。

コロナウイルス感染症対策を講じケアマネジメントにあたってきましたが、引き続き感染症対策を徹底し安心安全な利用者支援に努めていきます。

各種研修会に参加し専門的知識を習得し利用者の多様なニーズに対応できるようにすること、関係機関との連携を図り特定事業所としての役割を果たしていきます。

職員間のコミュニケーションを大切にしお互いに協力し合える関係を築き効率よく仕事ができる、働きやすい職場環境づくりに努めていきます。

令和4年度 恵泉会とよま介護支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場埠777番地 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成25年5月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・意欲を持って仕事に取り組める職場作りについては、介護支援専門員特有のストレスを溜め込まないよう、何でも気軽に話し合える環境作り心がけました。計画的な年休取得に配慮しながら心身のリフレッシュを図り、体調を崩す職員が一人も出ることなく1年間事業経営ができました。
- ・人材育成については、配属後2年目と経験年数の短い職員が半数を占めたことから、主任介護支援専門員が中心となり、ケアプランチェックや法令に基づいた助言を行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。今年度は保険者によるケアプラン点検が実施され、指摘事項なくケアプランが適正に作成されているとの評価を受けることができました。
- ・各関係機関や団体との連携については、登米市福祉事務所や地域包括支援センター、各サービス事業者等と連携を図り、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れよう地域包括ケアシステム構築に努めました。
- ・研修会の参加については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの外部研修が中止となりましたが、リモート研修により主任介護支援専門員更新研修に1名、介護支援専門員専門研修Ⅰに2名の職員が参加し、専門職としての資質向上に努めました。
- ・各種委員会については、設置が義務化されている感染症・災害対策委員会や高齢者虐待防止委員会を含め、毎月定期的に開催し、BCPの策定や研修会の開催、利用者アンケートの実施等、充実した活動を行うことができました。
- ・地域包括支援センターや他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会を開催することにより、連携を強化するとともにお互いの資質向上を図ることができました。
- ・困難事例への対応については、担当者のみには負担がかからないように随時状況の把握に務めながら、主任介護支援専門員を中心として事業所が一体として支援にあたりました。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	27	27	25	24	22	25	27	24	26	28	35	32	322
女	104	99	103	95	102	96	104	103	107	110	102	111	1,236
計	131	126	128	119	124	121	131	127	133	138	137	143	1,558

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	40	39	39	37	40	37	38	36	36	39	44	41	466
要介護2	59	56	58	60	59	56	57	55	59	61	60	58	698
要介護3	19	18	17	13	16	16	18	19	20	20	17	23	216
要介護4	10	9	10	8	8	10	12	13	15	14	13	14	136
要介護5	3	4	4	1	1	2	6	4	3	4	3	7	42
計	131	126	128	119	124	121	131	127	133	138	137	143	1,558

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	11	4	3	6	3	3	3	7	5	4	5	2	56
契約終了者数	1	6	8	0	4	1	2	1	2	6	2	5	38

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	17	16	15	14	15	15	17	19	20	21	20	19	208
訪問入浴	2	2	1	0	1	2	3	3	3	1	2	2	22
訪問看護	25	26	24	22	22	23	24	26	26	25	25	25	293
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	89	88	87	90	88	87	89	84	89	91	92	90	1,064
通所リハ	10	9	8	8	7	7	8	8	7	7	7	7	93
短期生活	17	16	19	15	16	15	13	15	17	12	17	14	186
短期療養	3	3	3	3	3	3	4	5	2	4	3	4	40
福祉用具	84	83	83	75	77	79	79	87	88	89	87	88	999
認知通所介護	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
地密通所介護	17	19	18	16	17	20	20	21	23	24	25	26	246
計	265	263	259	243	246	251	257	268	275	274	278	275	3,154

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	6	6	2	4	4	4	5	7	4	7	5	10	64

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22
要支援1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
要支援2	4	4	7	5	5	4	5	5	5	5	4	4	56
計	5	6	10	7	8	7	8	8	8	8	7	7	88

2. 市町村別委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 対象 件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	3	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	56
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11
	米山町	0	0	3	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	6	10	7	8	7	8	8	8	7	7	7	88

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	35
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	35

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	10
通所型サービス	5	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6	6	73
計	6	7	7	6	7	7	8	7	7	7	7	7	83

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
R4.06.13	個人情報について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	職員4名
R4.07.12	「感染症予防マニュアル」について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	職員4名
R4.09.12	PDCAサイクルについて	恵泉会介護支援センター 施設長	職員4名
R4.09.12	「コンプライアンス・ハラスメント」について	恵泉会介護支援センター 施設長	職員4名
R4.10.25	高齢者虐待防止研修	登米市福祉事務所	職員4名
R4.11.04	他法人との合同研修会(事例検討会)	恵泉会とよま介護支援センター 主任介護支援専門員 介護支援専門員	職員4名
R5.01.16	自然災害発生時における事業継続計画について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	職員4名
R5.02.13	認知症初期集中支援チームについて	恵泉会介護支援センターいきいき 管理者	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.05.11 ～ R4.06.06	令和4年度主任介護支援専門員更新 研修	宮城県	WEB開催	職員1名
R4.06.16 ～ R4.07.08	令和4年度介護支援専門員専門研修 I	宮城県	WEB開催	職員2名
R4.06.22 R4.07.20	令和4年度登米市地域包括支援セン ター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.08.30	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.09.28 R4.11.18	令和4年度登米市内主任介護支援専 門員フォローアップ研修	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.10.19	令和4年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.11.10	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 研修会(虐待と権利擁護について)	宮城県ケアマネジャー協会 登米支部	WEB開催	職員1名
R4.11.24 ～ R4.12.20	令和4年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部 保健福祉事務所 登米市	WEB動画	職員4名
R4.12.09	令和4年度成年後見制度研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R4.12.13	令和4年度介護支援専門員実務研修 実習指導者研修	宮城県	WEB開催	職員2名
R5.02.28	令和4年度登米市在宅医療・介護連携 研修会	登米市	WEB開催	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
R4.10.14	令和4年度第43回恵泉会職員研修大会	恵泉会	WEB動画	職員4名
R4.12.08	令和4年度恵泉会経営・管理職研修	あすの監査法人	恵泉会会議室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	開 催 地	出席者
R4.11.28	「在宅介護実態調査」説明会	登米市消防防災センター	職員1名
R4.11.30	東和・登米地区合同地域ネットワーク会議	WEB開催	職員1名
R5.02.27	米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方農村環境改善センター	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
改善委員会	マニュアルと災害時要援護者台帳の作成及び見直しに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

令和4年度は年度の途中において職員の配置換えがあり、それに伴って利用者の事業所変更も行ったことから、上期の給付管理件数減少につながってしまいました。下期には新規利用者の獲得も進み、徐々に給付管理件数を増やすことができましたが、最終的には年間で前年比約40件のマイナスとなりました。令和5年度は新規利用者の獲得に努めながら、月平均130件以上の給付管理件数を維持し、安定的に事業経営が継続できるようにしていきます。また、事業の提供にあたっては、居宅介護支援事業所としての公正中立な立場を確保しつつ、法人内の各サービス事業所と連携を図りながら、利用者の紹介や稼働率の向上に貢献できるよう協力していきます。

令和4年度 登米市迫地域包括支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設 置 主 体 登米市
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年4月1日

【 利 用 状 況 】

1. 相 談 事 業

(1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	128	143	122	122	156	124	140	145	115	103	118	113	1,529
来所	39	53	44	29	28	33	45	37	24	37	47	45	461
訪問	163	131	146	187	140	148	161	156	182	186	155	192	1,947
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	330	327	312	338	324	305	346	338	321	326	320	350	3,937

(2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	236	228	223	262	221	236	251	243	253	228	237	258	2,876
家族	41	41	45	28	48	31	58	49	27	67	30	37	502
ケアマネ	22	15	15	18	11	10	8	11	7	6	22	19	164
サービス事業所	0	6	6	3	6	1	5	4	0	1	3	5	40
医療機関	14	3	5	9	16	4	6	7	10	8	13	12	107
民生委員・区長	1	15	3	2	0	8	6	9	4	5	11	5	69
社協	1	1	0	0	4	0	1	4	1	0	2	0	14
行政関係	11	9	12	5	12	9	13	6	16	7	7	12	119
その他	4	9	3	12	8	7	9	6	4	4	3	4	73
計	330	327	312	339	326	306	357	339	322	326	328	352	3,964

(3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	87	91	91	85	91	68	97	83	64	79	85	78	999
	実態把握	2	2	2	4	0	3	1	5	5	14	7	2	47
	認知症関係	4	8	1	5	5	4	5	2	3	5	4	4	50
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	虐待関係	6	0	2	1	2	14	4	5	5	0	0	6	45
	成年後見関係	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8	9
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防 ネット ケア マネジメント	要支援・事業対象者	223	220	212	234	218	213	233	216	231	220	213	236	2,669
	福祉サービス	0	2	0	0	2	0	0	10	4	5	2	8	33
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括的 ケア マネジメント ・ 継続的 ケア ・ トータル ケア	ケアマネジメント支援	8	4	4	5	2	3	1	1	5	3	9	8	53
	困難事例	0	0	0	4	3	0	5	16	4	0	0	0	32
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		330	327	312	338	324	305	346	338	321	326	320	350	3,937
予防 給付 関係	給付管理件数	188	188	196	202	188	192	198	204	205	196	202	200	2,359
	(内委託件数)	22	20	23	25	25	26	28	25	25	25	29	24	297
計		188	188	196	202	188	192	198	204	205	196	202	200	2,359

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.09.08	恵泉会財務会計・管理会計研修	あすの監査法人	職員1名
R5.01.11	法令順守、感染症予防	管理者・看護師	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R4.06.22	令和4年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.06.28	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	ZOOM	職員1名
R4.07.20	令和4年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.07.27	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	登米市民病院	職員1名
R4.07.28	福祉関係者市町村担当者研修	権利擁護センターばあとなあ宮城	ZOOM	職員1名
R4.08.05	令和4年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	ZOOM	職員1名
R4.08.30	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.09.28	主任介護支援専門員フォローアップ研修	登米市・登米市包括支援センター	南方庁舎	職員2名
R4.09.27	市町村及び地域包括支援センター職員等支援者向け研修会	宮城県	ZOOM	職員1名
R4.09.28	主任介護支援専門員フォローアップ研修	登米市・登米市包括支援センター	南方庁舎	職員2名
R4.10.03	認知症カフェ研修	登米市	南方庁舎	職員2名
R4.10.19	令和4年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.11.02	令和4年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.11.18	主任介護支援専門員フォローアップ研修	登米市・登米市包括支援センター	南方庁舎	職員2名
R4.11.22	令和4年度登米市認知症高齢者対応研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R4.11.25	令和4年度宮城県チームオレンジコーディネーター研修	宮城県	南方庁舎	職員1名
R4.12.09	令和4年度成年後見制度研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.12.12	令和4年度在宅医療・介護連携勉強会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.12.20	令和4年度宮城県地域支援推進員情報交換会	登米市	南方庁舎	職員1名
R5.01.12	認知症キャラバンメイト養成研修	石巻市	石巻合同庁舎	職員1名
R5.01.18	地域づくりブロック別研修	厚生労働省	ZOOM	職員1名
R5.02.01	令和4年度依存症関連問題研修	宮城県精神保健福祉センター	ZOOM	職員1名
R5.02.06	令和4年度特別養護老人ホーム連携事業情報交換会	登米市・登米市包括支援センター	ZOOM	職員1名
R5.02.20	令和4年度宮城県認知症初期自立支援研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R5.02.21	PDCAサイクルに沿った取組の推進に資する研修会	厚生労働省	ZOOM	職員1名
R5.02.28	登米市在宅医療連携研修会	登米市	ZOOM	職員1名
R5.03.23	認知症の本人とともに暮らしやすい地域をつくろう	厚生労働省	ZOOM	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第3火曜日	管理者他2名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R4.04.12	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.04.19	認知症カフェ打ち合わせ	迫支所内	職員1名
R4.04.20	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.04.27	包括職種別主任介護支援専門員会議	南方庁舎	職員2名
R4.05.10	和話輪事前打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R4.05.11	包括職種別保健師・看護師会議	南方庁舎	職員1名
R4.05.12	包括職種別社会福祉士会議	南方庁舎	職員1名
R4.05.17	包括職種別主任介護支援専門員会議	南方庁舎	職員2名
R4.05.19	H@FM介護予防啓発収録	H@FM	職員1名
R4.05.20	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.06.08	出前講座(川東友楽会)	佐沼錦西区集会所	職員2名
R4.06.09	認知症サポーター養成講座	第一生命迫営業所	職員2名

R4.06.14	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.06.24	関係者調整会議	迫保健センター	職員1名
R4.06.30	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R4.07.19	包括職種別主任介護支援専門員会議	南方庁舎	職員2名
R4.07.27	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.08.17	生活圏域地域ケア会議	特別養護老人ホームみろく苑	職員2名
R4.08.18	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.08.22	癒しの音楽カフェ	みやぎ生協中田店	職員2名
R4.08.25	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R4.09.02	自立支援型個別ケア会議	迫公民館	職員4名
R4.09.14	アルツハイマーデー街頭活動打ち合わせ	みやぎ生協中田店	職員1名
R4.09.20	癒しの音楽カフェ	長沼ボート場クラブハウス	職員2名
R4.09.20	包括職種別主任介護支援専門員会議	迫保健センター	職員2名
R4.09.21	アルツハイマーデー啓発活動	みやぎ生協中田店	職員2名
R4.09.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.09.29	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R4.10.05	令和3年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名
R4.10.05	福寿大学研修事前打ち合わせ	迫支所内	職員2名
R4.10.11	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.10.13	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R4.10.19	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員2名
R4.10.20	関係者調整会議	南方庁舎	職員2名
R4.10.25	福寿大学第6回学習会	迫公民館	職員2名
R4.10.27	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.10.27	令和4年度認知症サポーターステップアップ養成講座	南方庁舎	職員1名
R4.11.02	関係者調整会議	南方庁舎	職員2名
R4.11.10	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R4.11.10	出前講座(川東友楽会)	佐沼錦西区集会所	職員2名
R4.11.17	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.11.18	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R4.11.24	きらり運営推進会議	なごみの家きらり	職員1名
R4.11.28	認知症初期集中支援チーム員会議	南方庁舎	職員2名
R4.12.01	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R4.12.01	包括職種別社会福祉士会議	南方庁舎	職員1名
R4.12.13	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.12.21	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.01.25	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.01.25	介護予防教室(大網西サロン・ド・モンブラン)	迫西大網第二住宅	職員3名
R5.01.26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R5.02.06	自立支援型個別ケア会議	迫公民館	職員4名
R5.02.14	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R5.02.21	包括職種別社会福祉士会議	南方庁舎	職員1名
R5.02.24	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.02.25	令和4年度登米市社会福祉協議会「地域福祉フォーラム」	登米祝祭劇場	職員1名
R5.02.27	令和3年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名
R5.03.09	令和5年度自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R5.03.10	認知症サポーターステップアップ養成講座	南方庁舎	職員1名
R5.03.14	迫圏域地域ケア会議	迫公民館	職員2名
R5.03.23	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R5.03.28	関係者調整会議	迫支所相談室	職員1名
R5.03.30	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名

令和4年度 サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池馬場埠777
2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日 平成28年2月1日
5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

コロナ禍3年が経過し、健康チェックなどの感染対策を行いながら、入居者と家族・親族の面会・外出・外泊など対面での交流を大切にしてきました。また、恵はあとを会場に新型コロナワクチン接種の実施や日々の感染対策・環境整備など、安心して生活を送っていただけるように努めました。

入居者の皆様では、趣味活動、近隣への散歩・買い物、畑仕事やディサービスの利用など、入居者ごとのライフスタイルを尊重し、それに合った距離感で支援し、継続して元気で明るく暮らしていただけるよう見守りをしています。また買い出しが難しい入居者に対し、月に3回程度、町内のコンビニエンスストアに依頼し、訪問販売の買い物支援を行いました。

開設して7年が経過し、入居者様も年齢を重ね、身体状況の変化などに伴い入院や介護施設への転居が11件ありました。入居者の体調不良時は、バイタルを確認、遠山荘の看護師に相談をし、家族へ連絡するなど、安心と迅速な対応を心がけました。令和4年度の新規入居者は11名でしたが、70代の若い世代の入居が数件あり、平均年齢が少し下がりました。恵はあと運営改善委員会では法人内ケアマネジャーなどから恵はあとへの要望・問題点や今後の課題について意見をいただいたり、地域包括支援センターへパンフレットや料金表を持参し広報活動を行うなど、経営面の改善に努めているところです。

【 重 点 項 目 】

1. 入居者の自主性の尊重
入居者ひとりひとりのライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。
2. 新型コロナウイルス等感染症対策
入居者においては通院・外出・面会等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、感染防止の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗い、部屋の換気などを呼び掛けました。食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温、食堂は低濃度オゾン発生装置とテーブルに飛沫防止パネルを設置しています。面会、外出・外泊では感染対策と健康チェック表での確認を入居者・ご家族にお願いをしながら、交流の機会を大切にしてきました。1月に発生した新型コロナウイルス感染症発生時には、遠山荘看護師に抗原検査や体調の確認など協力をいただき、対応をしました。
3. 健康の保持
入居者より体調不調の訴えがあった場合は、バイタルを測定し、ご家族へ連絡、迅速な対応を心がけました。また、訪問看護・訪問診療への連絡のほか、遠山荘看護師に体調不良の相談や対応をお願いしています。身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族やケアマネジャーなど関係機関に連絡、情報の共有をし、安心に繋がるように努めました。
4. 避難訓練等の実施
地震や火災などの災害に備えて総合防災訓練や夜間想定避難訓練を実施したほか、職員は不審者対応として刺股の使い方や緊急搬送の電話のかけ方・救急救命訓練に参加するなどし、安心安全に向けての取り組みを行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 9,143 名
2. 年間稼働率 69.58 %
3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立	120	93	90	93	93	90	93	117	124	124	112	124	1,273
要支援1	30	62	60	62	62	90	93	90	122	124	112	124	1,031
要支援2	30	31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91
要介護1	333	391	330	324	310	313	285	258	303	359	336	341	3,883
要介護2	210	217	210	248	219	210	219	210	217	217	168	155	2,500
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
計	753	825	750	758	715	733	721	705	797	855	756	775	9,143

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	0	0	0	3	1	0	4	1	0	0	11
退所者数	0	2	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	11
月末入所者数	26	25	25	24	22	25	24	23	27	27	25	25	±0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R4.06.29	消防設備の取り扱いについて	管理者	職員2名
R4.07.01	消防設備の取り扱いについて	生活相談員	職員2名
R4.07.11	コンプライアンスについて	管理者	職員2名
R4.07.13	キッズつぼみ不審者対応訓練(刺股の使い方)	登米警察署	職員1名
R4.09.16	認知症・虐待について	生活相談員	職員2名
R4.10.27	キッズつぼみ救急救命研修	登米市消防署	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月1回	施設長・管理者・生活相談員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R4.04.28	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R4.08.24	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師・生活相談員
R4.09.01	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R4.10.13	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R4.11.22	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R4.12.05	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R5.01.05	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R5.03.15	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師
R5.03.28	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	施設長・管理者・看護師

R4.09.15	運営懇談会(書面にて実施)	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R5.03.14	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	内部研修の計画と実施	年2回	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	年2回	管理者・生活相談員

【今後の取り組み】

1. 住み慣れた思い出深い自宅を離れ「恵はあと」での生活をはじめられた方々に、これからの人生を「恵はあと」に入居して良かったと思っただけのような支援を目指していきます。
2. 入居者、ご家族、担当ケアマネジャーと相談をし、必要に応じて外部サービスとも連携をするなど、安心して長期間住むことができるようにすすめてまいります。
3. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催などにより、自助・共助・公助の仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。
4. 感染症防止について、国や県からの情報や指示のもと、対応します。感染症対策を行いながら、面会・外出・外泊などご家族や地域住民との交流の機会を大切にしていきます。
5. 広報活動の工夫をし、入居率のアップ・安定した経営を目指します。
職員の配置については必要な時間帯にパート職員を配置し、ヘルパーの兼務をするなど効率的な業務を行い経営の改善に努めます。
6. 入退去時の物件状況の確認を入居者と連帯保証人・職員の双方で行い、退去時の原状回復等のトラブルにならないようにしていきます。

令和4年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

【法人総括】

①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
件数	230	841	139	1210	100.0%
転倒	48	141	26	215	17.8%
転落	48	140	9	197	16.3%
誤嚥	2	3	1	6	0.5%
異食	9	14	1	24	2.0%
加害行為	3	22	1	26	2.1%
器物破壊	8	8	10	26	2.1%
投薬ミス	14	34	18	66	5.5%
施設外飛び出し	3	6	9	18	1.5%
送迎・訪問	4	3	14	21	1.7%
設備不良	1	0	0	1	0.1%
連絡ミス	8	0	8	16	1.3%
自傷	1	63	0	64	5.3%
介護・支援ミス	23	198	12	233	19.3%
食事提供ミス	17	18	1	36	3.0%
その他	41	191	29	261	21.5%
(内出血)	(4)	(55)	(0)	(59)	(4.9%)
(擦過傷)	(0)	(56)	(0)	(56)	(4.6%)
(私物返し忘れ)	(2)	(44)	(12)	(58)	(4.7%)
(上記以外)	(35)	(36)	(17)	(88)	(7.3%)
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	230	841	139	1210	100.0%

②苦情処理

	苦情処理
合計	1

I. 受付方法

来所	0
電話	1
訪問	0
文書	0
その他	0
計	1

II. 苦情の分類

ケアの内容	1
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	0
その他	0
計	1

III. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	1
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	1